AGC

ウレタン塗膜防水システム

サラセーヌ®

SARACENU

https://www.saracenu.com

Your Dreams, Our Challenge

住環境や資産を守る
建築防水のリーダー
「サラセーヌ®」

建物を漏水から守り、
長期にわたって保護する防水材の役割は大きなものがあります。
ウレタン塗膜防水システム「サラセーヌ」は、伸長性、耐久性に
優れたウレタンゴムの特性を生かした高機能な建築防水システムとして、
屋上やベランダからテニスコートやプールサイドまで広範囲に使用され、
住環境を守り、建物の長寿命化に貢献しています。
さらに、環境に優しく安全・安心な工法の確立や、
建築物のデザイン性の向上などにも積極的に取り組み、
建築防水のリーダーとして揺るぎない信頼を得ています。

目次

おすすめの防水工法は？

建物部位からさがす 4
工法名からさがす 6

サラセーヌについて

「サラセーヌ」とは 8
「サラセーヌ」とサラセーヌ工業会 9
「サラセーヌ」とAGC 10
「サラセーヌ」の研究開発・製造体制 11
「サラセーヌ」の環境対応 12

クローズアップ

Close Up! 1 環境対応型特化則非該当（特定化学物質 無配合）ウレタン防水材「サラセーヌEZ」 14
Close Up! 2 環境対応型特化則非該当（特定化学物質 無配合）1液ウレタン防水材「サラセーヌSB」 16
Close Up! 3 超耐候性保護仕上材「Tフッ素シリーズ」 18
Close Up! 4 超ロングセラー工法「サラセーヌ通気緩衝AV工法」 22
Close Up! 5 JIS高強度形／高伸長形W認証ウレタン防水材 サラセーヌAZ「サラセーヌ堅鎧システム」 26
Close Up! 6 高速硬化低温硬化型ウレタン防水材「サラセーヌEQ」 28

サラセーヌ防水工法の詳細

通気緩衝AV工法 30
通気緩衝QV工法 32
機械的固定AM工法 36
外断熱・機械的固定AIM工法 38
密着SD工法 42
スポーツ床兼用HD工法 46
勾配屋根用防水仕様 48
公共建築工事標準仕様相当工法 50

・駐車場床防水工法「サラセーヌAD工法」、高強度形サラセーヌAZ「サラセーヌ堅鎧（タフガイ）システム」、高速硬化型「サラセーヌEQ」については、別冊カタログをご覧ください。

製品情報

防水材ラインナップ 54
保護仕上材ラインナップ 58
緊急・災害対策用再帰性反射フィルム：屋上防水・ヘリサインシステム「サラセーヌ ウィルサイン」 64
プライマーラインナップ 66
防水資材 69
製品一覧 84

製品取り扱い上のご注意 90

サラセーヌの施工

新設・防水下地 92
改修・防水下地 93
工法別施工上のご注意 96

各部の納まり図（代表例） 100

ご採用いただいたお客様へ 105

ご注意 ・防火地域および準防火地域においては、建築基準法によってカタログ記載のサラセーヌ工法は勾配30°以内、断熱材50mm以下の耐火構造下地に適用します。
・カタログに記載した仕様以上の厚みを希望される場合は、当社にお問い合わせください。
・工法、仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。

おすすめの防水工法は？

建物部位からさがす

防水工事は建物部位に合わせた工法選択が必要です。

開放廊下／階段室

居住者による歩行頻度が高いため、防水層の摩耗がよく見られる部位です。防水層には耐摩耗性、防滑性に優れ、メンテナンスが容易なことが求められます。




塔屋屋根

屋上に突出しているエレベーター機械室や階段室の屋根で、屋上、ルーフバルコニーと同様に防水上重要な部位です。複雑な形状に合わせたシームレスな防水層を形成することが欠かせません。



屋上／ルーフバルコニー

階下に居室があり、防水上重要な部位です。直射日光や降雨·降雪にさらされるなど外的要因の影響をもっとも受けやすいため、防水層には十分な耐候性、耐久性が必要です。




駐車場は別冊
「サラセーヌAD工法」カタログを
ご参照ください。



笠木（かさぎ）

パラペットや手摺り架台天端などです。劣化によるひび割れは、漏水や手摺りの脱落などの原因となるため、防水層には十分な耐候性、耐久性が必要です。



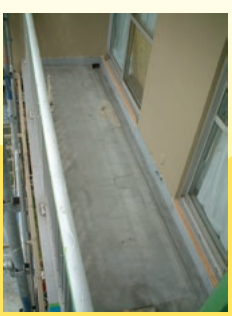
庇（ひさし）

窓やドアなどの開口部の上にある狭い小庇と、屋根に隣接した横に長い大庇があります。建物の挙動によって劣化を受けやすいため、密着性に優れた防水層が必要です。




ベランダ

日光がよく当たる方角にあり、劣化が進みやすいため、防水層には十分な耐候性が必要です。



防水材の選定

ご要望に応じて、最適な防水材をお選びください。

環境対応型・特化則非該当
（特定化学物質無配合） …… サラセーヌEZ　時代に応える環境対応タイプです。
環境対応型・特化則非該当
（特定化学物質無配合・一液）…… サラセーヌSB　詳細は別冊「サラセーヌSBカタログ」をご覧ください。
一般型 …… サラセーヌK　実績豊富な一般タイプです。
環境対応型・特化則非該当・
高強度型 …… サラセーヌAZ　詳細は別冊「サラセーヌ 堅鎧システムカタログ」をご覧ください。
環境対応型・特化則非該当・
高速硬化・低温硬化型…… サラセーヌEQ　詳細は別冊「サラセーヌEQカタログ」をご覧ください。

建物部位別のおすすめ工法



・改修時の下地処理については、93～95ページの「サラセーヌの施工」をご覧ください。詳細はお問い合わせください。
・この表は目安です。条件によっては必ずしも適用できない場合があります。

工法名からさがす

サラセーヌ工法一覧

	仕様			工法名	主な適用部位（目安）				
	環境対応	特化則非該当	断熱性能	工法 - 防水材 保護仕上材	屋上	塔屋屋根	ルーフバルコニー	ベランダ	
通気緩衝工法	●	♥		AV - EZ 50 TJ(TJフッ素)	◎	◎	◎	○	
	●	♥		AV - EZ 50 TW(Tフッ素水性)	◎	◎	◎	○	
	●	♥		AV - EZ 70 TJ(TJフッ素)	◎	◎	◎	○	
				AV - GV 50 T(Tフッ素)	◎(勾配)	○	○	○	
				AV - KK 50 T(Tフッ素)	◎	◎	◎	○	
				AV - K 50 T(Tフッ素)	◎	◎	◎	○	
				AV - KK 70 T(Tフッ素)	◎	◎	◎	○	
	●	♥		QV - EZ 50 TJ(TJフッ素)	◎※5	◎※5	◎※5	○※5	
				QV - KK 50 T(Tフッ素)	◎※5	◎※5	◎※5	○※5	
密着工法	●	♥		SD - EZ 20 TJ(TJフッ素)				◎	
	●	♥		SD - EZ 20 TW(Tフッ素水性)				◎	
	●	♥		SD - EZ 30 TJ(TJフッ素)	○	○	○	○	
	●	♥		SD - EZ 30 TW(Tフッ素水性)	○	○	○	○	
				SD - GV 20 T(Tフッ素)				○	
				SD - GV 30 T(Tフッ素)	◎(勾配)	○	○	○	
				SD - KK 20 T(Tフッ素)				◎	
				SD - KK 30 T(Tフッ素)	○	○	○	○	
	●	♥		HD - EZ 50 TJ(TJフッ素)	○		○		
	●	♥		HD - EZ 50 TW(Tフッ素水性)	○		○		
	●	♥		HD - EZ 70 TJ(TJフッ素)	○		○		
	●	♥		HD - EZ 70 TW(Tフッ素水性)	○		○		
				HD - KK 50 T(Tフッ素)	○		○		
				HD - KK 70 T(Tフッ素)	○		○		
機械的固定工法	●	♥		AM - EZ 30 TJ(TJフッ素)	◎	○			
	●	♥		AM - EZ 30 TW(Tフッ素水性)	◎	○			
				AM - KK 30 T(Tフッ素)	◎	○			
	●	♥	☀	AIM - EZ 30 TJサーモ(TJフッ素サーモ)	◎	○			
	●	♥	☀	AIM - EZ 30 TWサーモ(Tフッ素水性サーモ)	◎	○			
			☀	AIM - KK 30 Tサーモ(Tフッ素サーモ)	◎	○			

※1：「スポーツ床用」とは一般の人がスポーツなどの使用に供する場合を言います。
※2：「歩行用」とは不特定多数の歩行に供する場合を言います。
※3：「軽歩行用」とは特定の人の歩行に供する場合を言います。
※4：「非歩行用」とは点検程度の人の歩行に供する場合を言います。
※5：強風地域での使用は避けてください。(詳細はお問い合わせください)

●がついている工法は、シックハウス症候群対策として、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの4VOCを含まない環境対応材料で構成しています。
♥がついている工法は、特化則非該当製品で構成しています。
☀がついている工法は、断熱性能を付与した工法です。
◎：標準　○：適応可

					用途				防水層の平均厚み(mm)	
	廊下・階段室	大庇	小庇	笠木	スポーツ床用(※1)	歩行用(※2)	軽歩行用(※3)	非歩行用(※4)		
						←		→	2.5	通気緩衝工法
						←		→	2.5	
						←		→	4.5	
						←		→	2.5	
						←		→	2.5	
						←		→	2.5	
						←		→	4.5	
						←		→	2.5	
						←		→	2.5	
	◎	○	◎	◎		←		→	2.0	密着工法
	◎	○	◎	◎		←		→	2.0	
	○	◎	○	○		←		→	3.0	
	○	◎	○	○		←		→	3.0	
	○	○	◎	◎		←		→	2.0	
	○	◎	○	○		←		→	3.0	
	◎	○	◎	◎		←		→	2.0	
	○	◎	○	○		←		→	3.0	
					←			→	5.0	
					←			→	5.0	
					←			→	7.0	
					←			→	7.0	
					←			→	5.0	
					←			→	7.0	
							←	→	3.0	機械的固定工法
							←	→	3.0	
							←	→	3.0	
								← →	3.0	
								← →	3.0	
								← →	3.0	

「サラセーヌ」とは

ウレタン塗膜防水システム「サラセーヌ」は、世界最大のガラスメーカーであるAGCのハイレベルなウレタン総合技術をベースにAGCポリマー建材が開発し、製造・販売している高機能な建築用ウレタン塗膜防水システムのブランドです。
「サラセーヌ」は、伸長性、耐久性に優れたウレタンゴムの特性を活かした高機能な建築防水システムとして、製造・販売開始から30年以上に渡り、日本全国で使用されています。
さらに、全国で6つのサラセーヌ工業会を設立しており、業界全体のレベルアップのために日々邁進しています。

ウレタン塗膜防水材の特長

1 密着性に優れる
ウレタン塗膜防水材は、施工現場で塗布硬化させるため下地になじみやすく、密着性に優れています。
標準仕様として、端末の押え金物は不要です。

2 塗り重ね改修可能
ウレタン塗膜防水材は、塗膜同士の密着性に優れるため、既存ウレタン塗膜防水層の健全さによっては必ずしも撤去しなくても塗り重ねによる改修が可能です。
塗り重ねの場合、既存ウレタン塗膜防水層を撤去しないので産業廃棄物を低減できます。
部分補修も容易です。

3 複雑な形状でも施工容易
塗膜防水材は、複雑な形状の屋根や設備基礎などでも施工が容易です。

4 シームレスな防水層
塗膜防水材は継ぎ目の無い、信頼性に優れた防水層を形成します。
クッション性に優れ、歩行に適しています。

5 多用途や多様な色彩に対応
スポーツや遊戯施設用途に適した工法も用意しています。
模様や色分け、ライン引きなどを自由に設計できます。

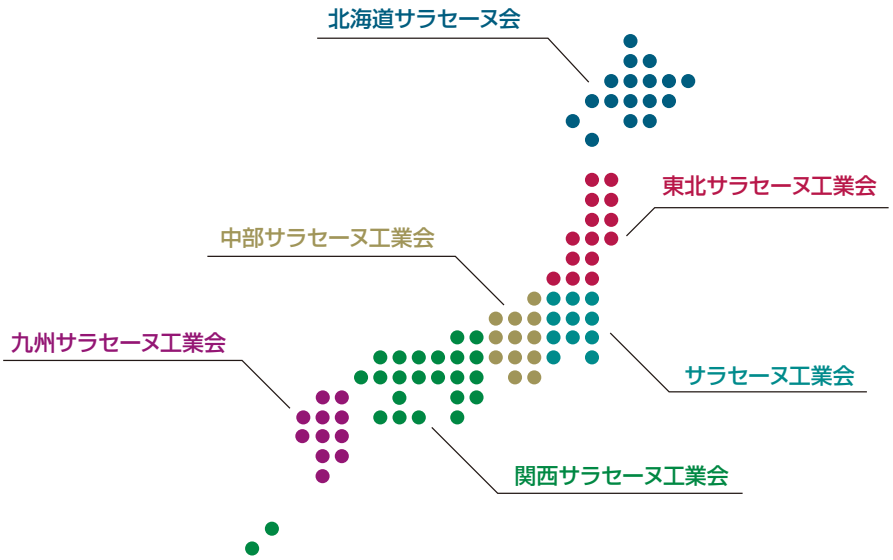
6 保護層が不要
保護コンクリート層が不要なので、屋上の軽量化が図れます。
露出仕様なので維持管理が容易です。

7 躯体の保護
下地と一体化した防水層を形成し、躯体の塩害や中性化の抑制効果があります。
高温・低温環境でも一定の伸び性能を有しています。

「サラセーヌ」とサラセーヌ工業会

全国に6つのサラセーヌ工業会を設立

建築防水は材料・工法・施工技術の三位一体で完成されるシステムです。AGCポリマー建材では、高品質な製品を活かす施工体制を確立するために、全国の防水施工会社、販売店と協力してサラセーヌ工業会を設立。全国6つの工業会が地域に密着した活発な活動を推進し、業界全体のレベルアップと共存共栄の実現に努めています。



サラセーヌ工業会の活動

サラセーヌカレッジの開講

サラセーヌカレッジは会員会社の中堅社員を対象に、建築防水に関わる理論と実践の向上を図り、防水業界全体の発展に寄与できる人材を養成する目的で設立され、平成7年には東京都の職業訓練校に認定されました。講師陣には学界・建築業界のオーソリティを招き、建築・防水の学問的基礎から防水施工、安全衛生管理などの実践的知識や技能にいたるまで、幅広い内容の講義と実習が合宿形式で行われます。



ウレタン塗膜防水技能講習会の開催

防水施工者の技術レベルの向上と技能の判断基準として、国家検定による1級、2級の技能士制度が設けられています。年1回実施される検定に先立ち、工業会では会員会社の受検者を対象に、予備知識を高めるための講習会を行っています。

サラセーヌスクールの開講

サラセーヌスクールは会員会社の社員を対象に、経験豊かな施工技能士の指導のもと、施工技術向上を目的に開催されています。



基礎的なウレタン防水材の扱い方や安全管理を中心とした座学と、材料の混合撹拌や補強クロス張りなどサラセーヌの実技実習が行われます。

技術研修会の開催

定期的に技術研修会を開き、工事管理レベルの向上、作業者の技術レベルの向上、工法の開発・改良などに力を注いでいます。

サラセーヌ通信の発行

各工業会では定期的に会報誌「サラセーヌ通信」を発行し、広くユーザーへのPR活動を行っています。



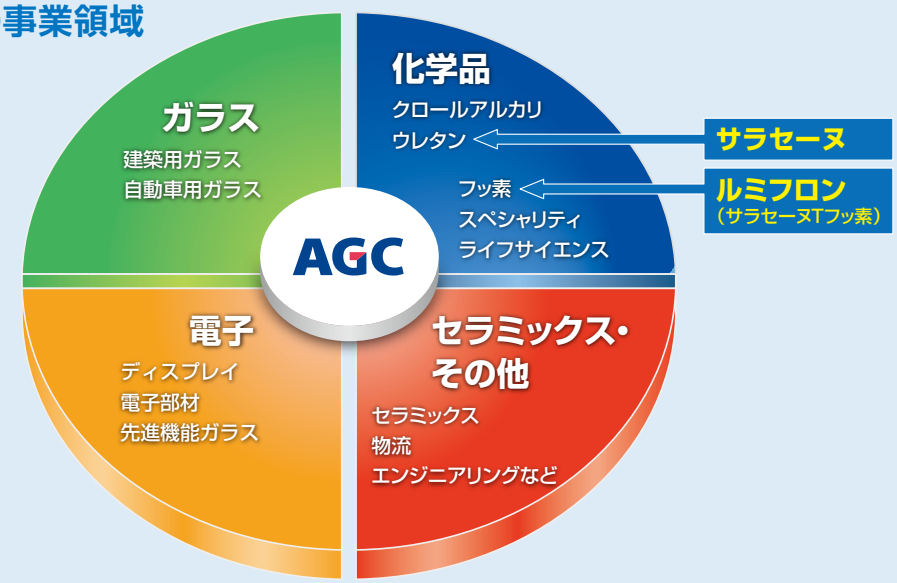
サラセーヌ工業会ホームページ
www.saracenu-association.com

「サラセーヌ」とAGC

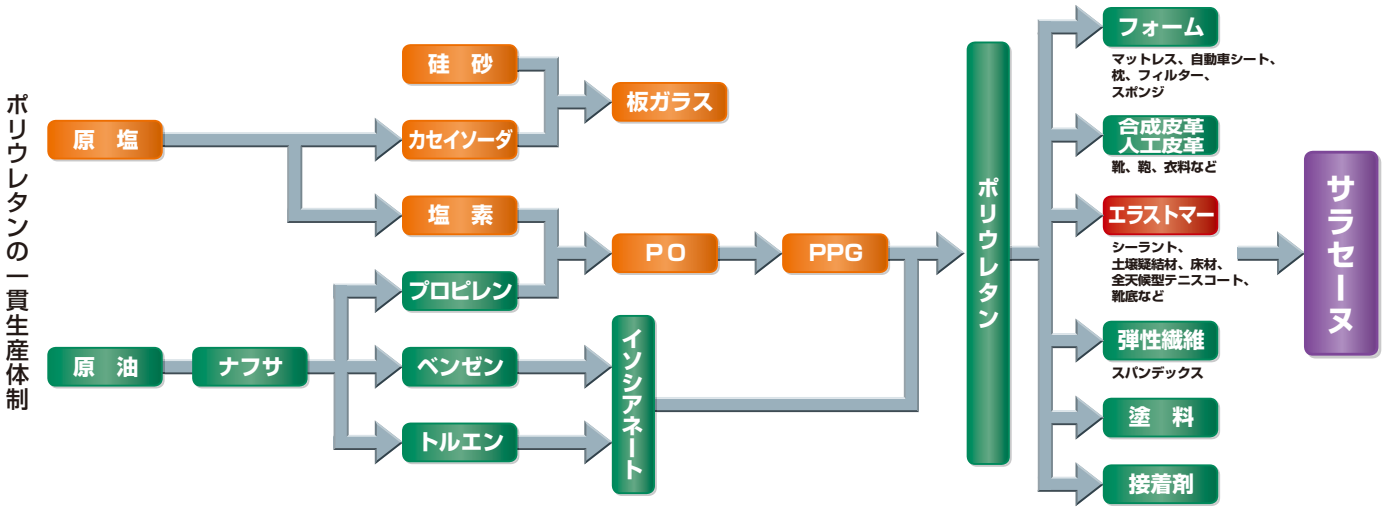
AGCとの関係

AGCポリマー建材は、AGCグループの一員です。
AGCは世界最大のガラスメーカーであると同時に、トップクラスの技術力を活かした様々な化学事業を展開しています。
その一翼を担うウレタン関連製品事業として、AGCポリマー建材とAGCは原料の供給、材料技術の研究開発などで緊密な協力関係を築いています。
さらに、AGCグループとしてISO14001を統合認証取得し、EMS（環境マネジメントシステム）を構築しています。
AGCポリマー建材では、ISO9001認証も取得し、QMS（品質マネジメントシステム）を運用しています。

AGCグループの事業領域



「サラセーヌ」の高品質を支える、ウレタン原料の一貫生産体制



「サラセーヌ」の研究開発・製造体制

技術研究所

AGCポリマー建材では、久喜事業所内に最新のR&D設備を導入した研究棟を設置し、新規技術の研究開発、既存技術の改良に取り組んでいます。開発部門と製造部門の融合により、すばやく、的確にユーザーニーズに応えられる体制を整え、着実な成果を上げています。







久喜事業所

年間生産量2万トンの製造能力を備えた、サラセーヌの製造拠点です。「品質第一」、「徹底した合理化」、「クイックデリバリー」をスローガンに掲げ、製品の品質向上と迅速な供給に努めています。







「サラセーヌ」の環境対応

サラセーヌは環境対策への取り組みを進めています。

Chemistry for a Blue Planet

私たちは化学の力を通じて、安全、安心、快適で、

環境に優しい世の中を創造します。

（AGC化学品カンパニービジョンより）

AGCポリマー建材は、環境問題に正面から向き合い、
環境に優しい製品の提案、提供に努めています。
また、製品ばかりでなく、施工環境改善を目的として
施主・居住者・作業者などあらゆるお客様の健康や生活を守るために、
情報開示や表示などの安全対策を着実に実行しています。
建築基準法におけるF☆☆☆☆への対応や厚生労働省・文部科学省の
環境対応に準じた取り組みも進めています。



「サラセーヌ」の環境対応型特化則非該当製品

居住環境

シックハウスの問題などに係る化学物質の居住環境濃度について、サラセーヌの特化則非該当製品は以下の法規制に対応し、工事中から完工後まで、居住者の方々の安全に配慮しています。

■国土交通省　建築基準法 28条の2：ホルムアルデヒド規制など

下表の製品は全て、日本ウレタン建材工業会の定める「ホルムアルデヒド自主規制表示申請登録要領」の基準を満たし、「F☆☆☆☆」を取得しています。

■厚生労働省　シックハウス対象物質の指定と室内濃度指針値：13物質

下表の製品は全て、対象物質を含んでいないため、濃度基準に抵触しません。

■文部科学省　学校保健安全法 学校環境衛生基準：6物質

下表の製品は全て、対象物質を含んでいないため、濃度基準に抵触しません。

作業環境

労働者の健康を守るため、労働安全衛生法では、有害性な化学物質の取扱いについて、保護具の着用や作業主任者の選定など、規制を設けています。しかしながら、サラセーヌの特化則非該当製品は、対象物質の含有率が規定数値以下または配合していないため、以下の法規制を受けずに安全に作業が行えます。

■特定化学物質障害予防規則(特化則)

下表の製品は全て、特定化学物質であるTDI、MOCAの含有率が規定数値以下または配合していません。

■有機溶剤中毒予防規則(有機則)

下表の製品は全て、水性または弱溶剤型なので、室内環境であっても有機則の規制を受けません。

環境対応型特化則非該当製品 一覧

2024年4月現在

	特化則非該当	有機則非該当	学校環境衛生基準6物質を含まない※1	厚労省13物質を含まない※2	脱TX※3	ホルムアルデヒド放散等級	鉛化合物を含まない
防水材							
サラセーヌEZ	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
サラセーヌEZ立上り用	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
サラセーヌEZ目止め	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
サラセーヌSB	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
サラセーヌSB中粘度	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
サラセーヌSB立上り用	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
サラセーヌEQ	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
サラセーヌEQ ノンサグ	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
サラセーヌAZ	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
サラセーヌAZ立上り用	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
ECO用希釈剤	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
ウレタン硬化促進剤EX	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
保護仕上材							
TJフッ素	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
TJフッ素サーモ	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
TJトップ	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
TJサーモ	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
サラセーヌTフッ素水性	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
サラセーヌTフッ素水性サーモ	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
TWトップ	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
TWサーモ	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
FSトップ	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
TSトップ	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
TSサーモ	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
プライマー／ボンド							
PJプライマー	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
PJ層間プライマー	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
PW-100プライマー	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
PW-60プライマー	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
PW-700プライマー	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○
サラセーヌRWボンド	○	○	○	○	○	F☆☆☆☆	○

※1：対象となる6物質は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジククロロベンゼン、エチルベンゼン、スチレン。

※2：対象となる13物質は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル、フタル酸ジ-n-ブチル、アセトアルデヒド、クロルピリホス、テトラデカン、ダイアジノン、フェノブカルブ、パラジクロロベンゼン。

※3：脱TXとは トルエン、キシレンを含まない製品を指す。

Close Up! 1

環境対応型特化則非該当（特定化学物質 無配合）ウレタン防水材

サラセーヌEZ

「サラセーヌEZ」は、労働安全衛生法 特定化学物質の対象となるMOCA【3.3'ジクロロ-4.4'ジアミノジフェニルメタン】やTDI【トリレンジイソシアネート】、その他の特定化学物質を一切含んでおりません。特定化学物質障害予防規則の取り扱いが不要なウレタン防水材【特化則非該当】です。
さらに、「厚生労働省が定める室内環境基準の対象13物質※1」、「学校環境衛生基準の対象6物質※2」も含んでおりません。有機溶剤中毒予防規則の取り扱いが不要な無溶剤タイプの環境対応型ウレタン防水材【有機則非該当】です。また、鉛化合物も含んでおりません。

環境、そして、安全への配慮

日本ウレタン建材工業会「環境6基準適合ウレタンゴム系防水材自主規制」承認登録

業界初

- 国土交通省：建築基準法／同施行令に定める物質：ホルムアルデヒド
- 厚生労働省：「VOC及び総VOCの室内濃度の指針」の対象VOC：13物質※1
- 厚生労働省：有機溶剤中毒予防規則に定める有機溶剤：44物質
- 厚生労働省：特定化学物質障害予防規則に定める特別有機溶剤：12物質
- 厚生労働省：女性労働基準規則に定める化学物質：26物質
- 文部科学省：学校環境衛生基準に定める化学物質：6物質※2

＋

鉛化合物無配合

サラセーヌEZは

対象物質 全て無配合（0%）

特定化学物質障害予防規則（特化則）に該当しません
有機溶剤中毒予防規則（有機則）に該当しません

※1：次頁「サラセーヌの環境基準適合表」内の「室内空気汚染に関するガイドライン（建築物）」に表記する13物質
※2：次頁「サラセーヌの環境基準適合表」内の「学校環境衛生の基準（学校）」に表記する6物質

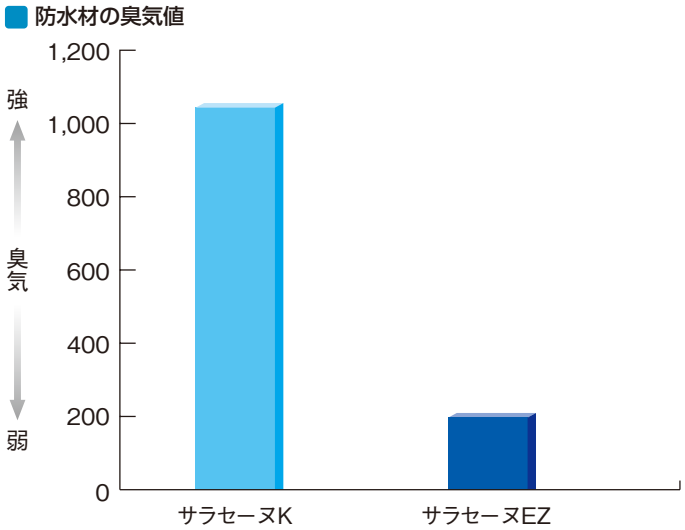
施工性に優れた材料設計

ウレタン防水材の施工に欠かすことができないセルフレベリング性を保持したまま、タック（ベタつき）を軽減させました。
また、防水材色にブルーグレー色を採用したことにより、保護仕上材の塗り残しや塗り忘れなどを視認しやすくなりました。

環境対応型防水材の臭気比較結果



測 定 器：ポータブル型ニオイセンサ XP-329 型(COSMOS 社製)
原　　理：焼結半導体センサ
試験温度：23℃



・水系プライマー（PW-100プライマー、PW-60プライマー）、水系保護仕上材（TWトップ、サラセーヌTフッ素水性）、水系ボンド（サラセーヌRWボンド）においても大幅に臭気を低減しております。

サラセーヌの環境基準適合表

基準の名称(対象)	関係省庁	対象物質名	プライマー・ボンド 環境対応製品	防水材 環境対応製品	保護仕上材 環境対応製品
室内空気汚染に関するガイドライン(建築物)	厚生労働省	ホルムアルデヒド	配合せず	配合せず	配合せず
		トルエン			
		キシレン			
		エチルベンゼン			
		スチレン			
		フタル酸ジ-2-エチルヘキシル			
		フタル酸ジ-n-ブチル			
		アセトアルデヒド			
		クロルピリホス			
		テトラデカン			
		ダイアジノン			
		フェノブカルブ			
		パラジクロロベンゼン			
学校環境衛生の基準(学校)	文部科学省	ホルムアルデヒド	配合せず	配合せず	配合せず
		トルエン			
		キシレン			
		パラジクロロベンゼン			
		エチルベンゼン			
		スチレン			
ホルムアルデヒド放散等級(建築物)	国土交通省	ホルムアルデヒド	F☆☆☆☆	F☆☆☆☆	F☆☆☆☆
建築基準法等の一部を改正する法律(建築物)	国土交通省	クロルピリホス	配合せず	配合せず	配合せず
		ホルムアルデヒド			

・配合せず：組成中に配合していないもの。ただし原材料などの不純物質として極微量検出される場合があります。

Close Up! 2

環境対応型 特化則非該当(特定化学物質 無配合)1液ウレタン防水材

サラセーヌSB

「サラセーヌSB」の特長

1 1液タイプだから

1液タイプだから、主剤や硬化剤の計量・撹拌作業が不要です。施工現場に缶を持っていき、その場で塗布できます。工事現場の省力化を図り、ラクラク施工を実現します。





撹拌作業が必要ないので硬化不良の心配がありません！

2 特定化学物質無配合 ・特化則非該当 ・有機則非該当

施工環境に配慮

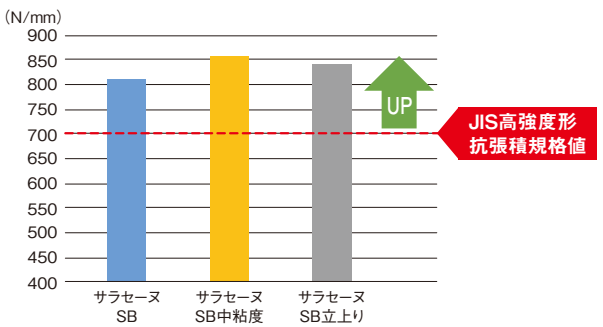


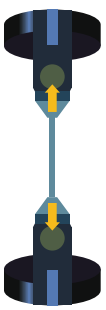
特化則で定められた対応は必要ありません



3 抗張積が向上(高物性タイプ)

サラセーヌSBは、JIS高伸長形のウレタン防水材でありながら、JIS高強度形の抗張積(塗膜の強靭さを示した値) 規格値の700N/mm以上を満たした高物性タイプの防水材です。





抗張積とは

抗張積とはウレタン防水材の伸び率と引張強さを掛け合わせた数値で、数値が高いほど耐久性に富んだ塗膜バランスの高いウレタン防水材と言えます。

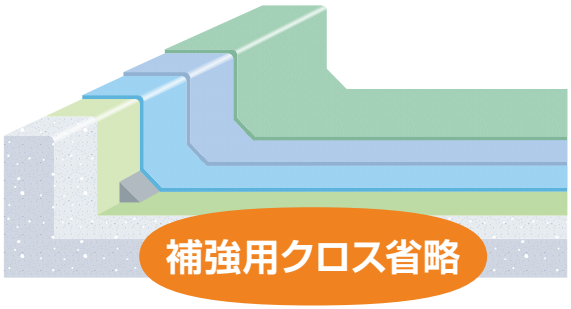
※塗膜物性値は56ページをご参照ください。

使い方もいろいろ4つの提案

高物性

01 補強用クロス省略で、工期短縮が可能！

サラセーヌSBは高物性タイプのため、補強用クロスを省略することができ、人手不足解消に向けた作業の簡素化を実現します。適用箇所はベランダ、開放廊下、屋上、ルーフバルコニーなど、多岐にわたります。



1液タイプ

02 超高層マンションや市街地密集地など、ネタ場スペースや電源が確保しにくい場所に有効！

超高層マンションや市街地密集地は、ネタ場スペースや撹拌機の電源を確保することが難しいことが多々あります。1液タイプのサラセーヌSBであれば、缶を持っていき、その場で塗布することで悩みも解消します。



1液タイプ

03 1液タイプだから作業時間を最大限に使える！

2液タイプは真夏などの気温が高い時期は粘度上昇が速く、作業時間が短くなる傾向があります。1液タイプでは表面から硬化が始まるため、作業時間を気にする必要がありません。

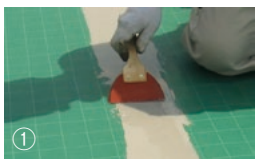


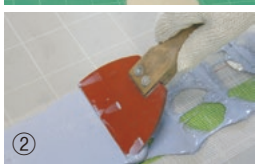
1液タイプ

04 通気緩衝工法のジョイント処理に便利！

ジョイント処理や端部処理にサラセーヌSB立上り用が非常に便利です。QVシート(写真①)やMシート(写真②)を貼り付け後、手軽に5kg入れ目のサラセーヌSB立上り用の缶を切り、そのまま処理作業できるので作業効率が向上します。









サラセーヌSBの詳細については、左記のカタログをご参照ください。

「サラセーヌSB」は、環境対応型特化則非該当(特定化学物質 無配合)の1液ウレタン防水材です。

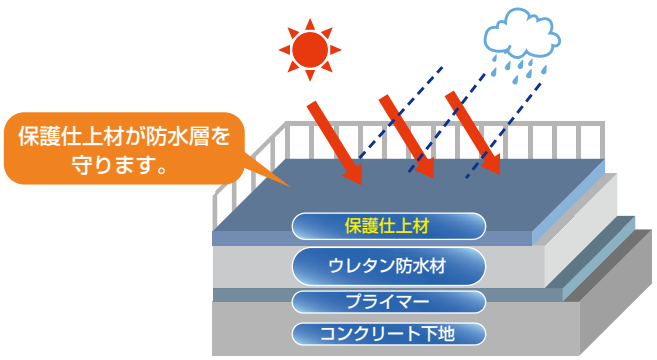
Close Up! 3

塗料用フッ素樹脂「ルミフロン®」を採用した超耐候性保護仕上材

Tフッ素シリーズ

保護仕上材の役割

防水層を紫外線から保護する重要な役割を担うとともに、デザイン、仕上げ、用途の自由度を高めます。特に屋上は、強い紫外線と高温にさらされます。だからこそ、超耐候性保護仕上材「Tフッ素シリーズ」が必要です。

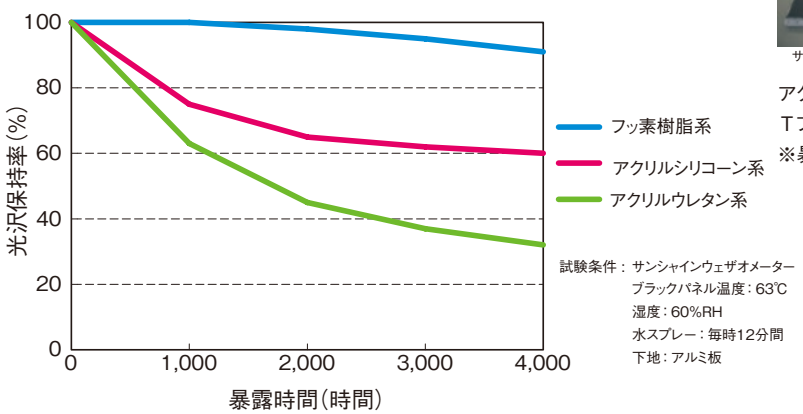


「Tフッ素シリーズ」の特長

1 抜群の耐候性、耐薬品性を誇る「Tフッ素シリーズ」

フッ素樹脂の基本的な特性である優れた耐候性により、建物で一番過酷な条件にさらされるウレタン防水層をしっかり保護し、長期にわたって劣化を防ぎます。フッ素樹脂はアルカリ性、酸性などの化学薬品や各種溶剤に対しても優れた耐薬品性を持っており、塩害に悩む海岸部や化学工場地帯などにも、安心してご使用いただけます。

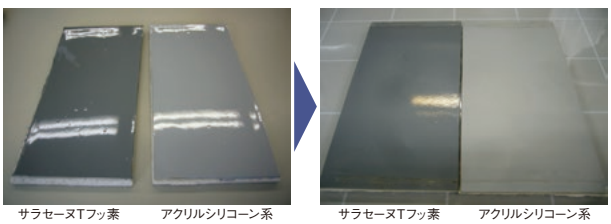
促進耐候性試験（SWOM）光沢保持率（当社測定値）



試験条件：サンシャインウェザオメーター
ブラックパネル温度：63℃
湿度：60%RH
水スプレー：毎時12分間
下地：アルミ板

光沢保持

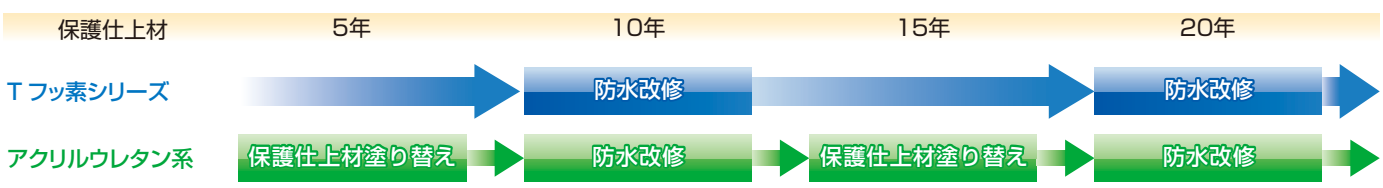
処理前　　4,000時間暴露処理後



アクリルシリコーン系保護仕上材は光沢が失われていますが、サラセーヌTフッ素は、蛍光灯が映りこむ程度の光沢を保持しています。
※暴露時間4000時間は、約10年を想定しています。

2 「Tフッ素シリーズ」は10年間塗り替え不要

アクリルウレタン系保護仕上材は原則として5年ごとに塗り替えが必要ですが、「Tフッ素シリーズ」は10年間塗り替え不要なので、環境への負荷を抑えるとともに、ライフサイクルコストを大幅にダウンできます。また、「Tフッ素シリーズ」の場合、劣化が少ないので改修時の下地処理を低減することが可能です。



・使用状況や環境条件によっては、塗り替えが必要になる場合があります。

3 「Tフッ素シリーズ」だから塗り重ね可能

「サラセーヌTフッ素シリーズ」は塗り重ね可能な樹脂構成としているため、層間プライマー（P-60プライマー、PJ層間プライマー、PW-60プライマーなど）を使用して塗り重ね改修ができます。

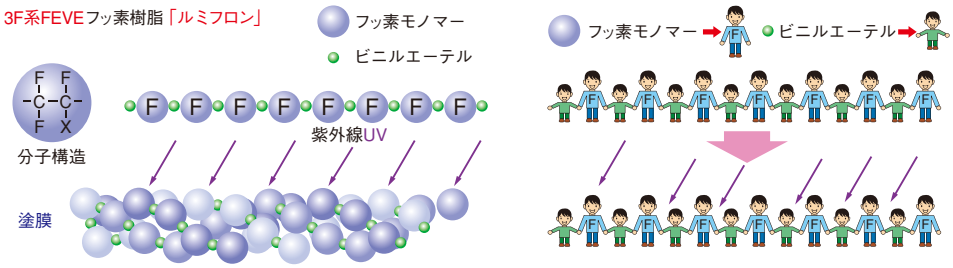
塗料用フッ素樹脂「ルミフロン®」とは

「ルミフロン」は、AGCグループが1982年に世界で初めて商品化した塗料用フッ素樹脂です。屋外でも長期間劣化しない高い防食性、耐候性を持ち、高層建築物やビル・海上橋・煙突などの大型構造物から航空機、車両など幅広い分野で使用されています。

「ルミフロン」の高耐候性の秘密（4F系と3F系の違い）

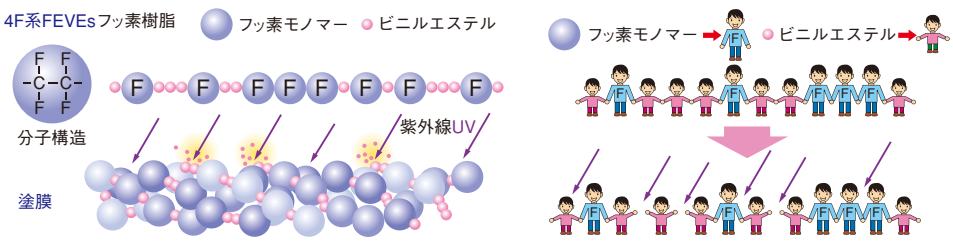
フッ素樹脂の高耐候性は、フッ素モノマーのC-F結合エネルギーの大きさが、紫外線エネルギーより大きいことから得られるものです。下の各図は、左は結合エネルギーの大きさを球体の大きさで表現し、右は結合エネルギーの大きさを大人と子供で表現しています。

「ルミフロン」



3F系FEVEフッ素樹脂「ルミフロン」は、フッ素モノマーと塗料化に必要な他のモノマー（ビニルエーテル）とが規則的に交互配列を作ります。つまり、紫外線に弱いビニルエーテルは紫外線に強いフッ素モノマーに守られています（左図）。フッ素モノマーとビニルエーテルを大人と子供で表現すると、子供が手を離さないように大人が子供の手をしっかり握っているのです（右図）。

その他のフッ素樹脂



4F系FEVEsのフッ素樹脂は、フッ素モノマーとビニルエステルの交互性が3F系FEVEフッ素樹脂より低いことから、一部でビニルエステルどうしの結合部で紫外線エネルギーによる破壊が発生します（左図）。大人と子供で表現すると、子供どうしの手が離れてしまうのです（右図）。

「ルミフロン」の使用例


ANAボーイング777


東京ゲートブリッジ


明石海峡大橋

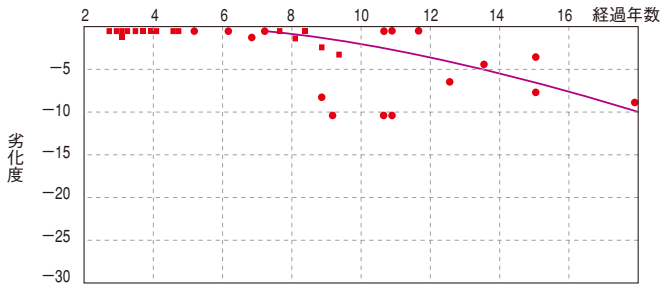

横浜ランドマークタワー

経年変化の実態調査で実証

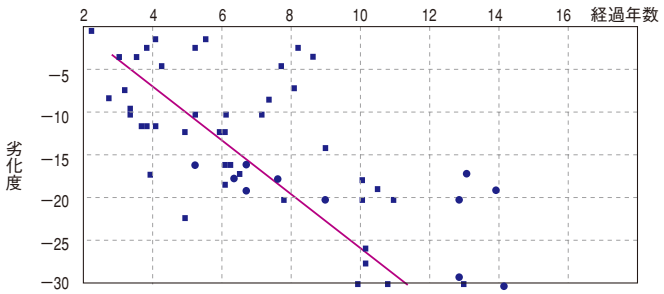
経過年数と劣化度(当社調べ)

保護仕上材の劣化度をチョーキングとクラックの2点で評価し、総合点数化(点数が少ないほど良好)した結果です。
サラセーヌTフッ素の優れた耐候性を、一目で納得していただけます。

サラセーヌTフッ素(調査件数:63件)



アクリルウレタン系(調査件数:103件)

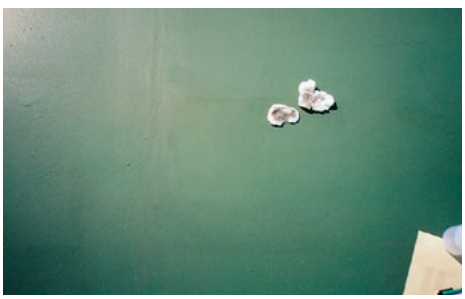


現場診断の例　サラセーヌ防水層Tフッ素仕上げ

9ヵ月経過

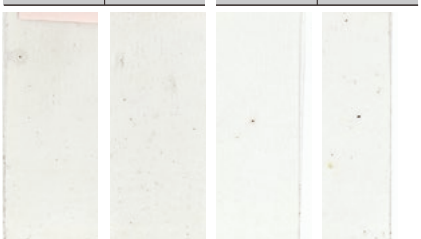
評価点数　チョーキング 0　クラック 0　合計 0





チョーキング:セロテープ転写

平場		立上り	
乾拭き前	乾拭き後	乾拭き前	乾拭き後



8年8ヵ月経過

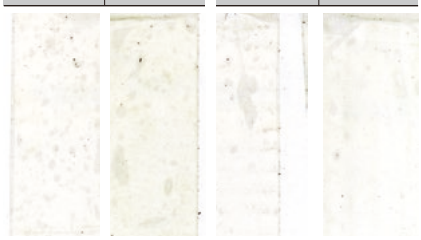
評価点数　チョーキング −8　クラック 0　合計 −8





チョーキング:セロテープ転写

平場		立上り	
乾拭き前	乾拭き後	乾拭き前	乾拭き後



・写真は当社社員が撮影したものを無修正で掲載しました。

保護仕上材の経年変化の例

アクリルウレタン系　初期～施工4年後

表面状態



写真-1

断面状態



写真-2

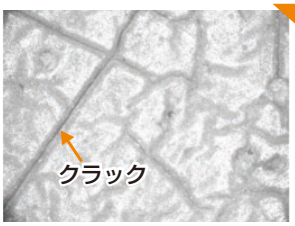


写真-3

4年後



写真-4

施工から４年が経過した物件では、アクリルウレタン系保護仕上材の表層に、肉眼では確認しにくいクラック（ひび割れ、写真-3）が発生しており、膜厚が半分程度に薄くなっていることが明らかにわかります。
アクリルウレタン系保護仕上げの場合、5年に1回の塗り替えが適切です。

フッ素樹脂系　初期～施工7年後

表面状態

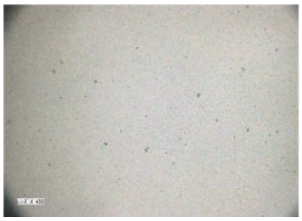


写真-5

断面状態



写真-6



写真-7

7年後



写真-8

サラセーヌＴフッ素は施工から７年が経過した時点でも、わずかな劣化がはじまっていますが、表面クラックや膜厚減少などの大きな劣化は見られませんでした（写真-7）。

「Tフッ素シリーズ」製品

製品名	種類・用途	特長
TJフッ素	弱溶剤型フッ素樹脂系保護仕上材	超耐候性　環境対応型　特化則・有機則 非該当
TJフッ素サーモ	弱溶剤型フッ素樹脂系保護仕上材	超耐候性　環境対応型　特化則・有機則 非該当　遮熱用
サラセーヌＴフッ素水性	水性フッ素樹脂系保護仕上材	超耐候性　環境対応型　特化則・有機則 非該当
サラセーヌＴフッ素水性サーモ	水性フッ素樹脂系保護仕上材	超耐候性　環境対応型　特化則・有機則 非該当　遮熱用
サラセーヌＴフッ素	溶剤型フッ素樹脂系保護仕上材	超耐候性
サラセーヌＴフッ素サーモ	溶剤型フッ素樹脂系保護仕上材	超耐候性　遮熱用

・「遮熱用」の詳細は58～60ページをご覧ください。
・「環境対応型」の詳細は58～59ページをご覧ください。

Close Up! 4

長年愛され続けているサラセーヌの超ロングセラー工法

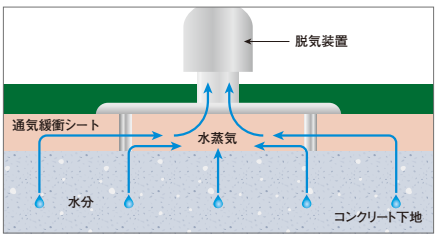
サラセーヌ通気緩衝AV工法

サラセーヌ通気緩衝AV工法は、通気緩衝シートの上にウレタン塗膜防水を塗り重ねた、準密着・絶縁式の複合塗膜防水工法です。通気効果と緩衝効果を併せ持つ孔あきタイプの通気緩衝シート「サラセーヌAVシート」を用いて、防水層を部分密着させることで、密着耐久性に優れた防水層を実現します。
その信頼性の高さにより、1988年（昭和63年）の上市以来、約1500万m^2（2017年12月末現在。東京ドーム約320個分）の施工実績を誇り、長年愛され続けているサラセーヌの超ロングセラー工法です。

通気緩衝AV工法の特長

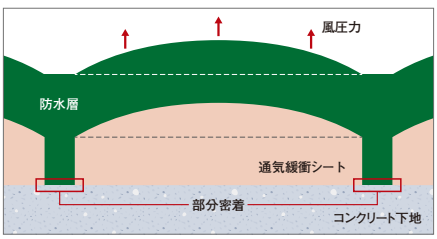
通　気　下地の水分を逃がし、ふくれを防止します

ポリエステル不織布の通気緩衝シートを採用しているので、下地内に滞留する水分を脱気装置を通じて確実に外部に逃がします。



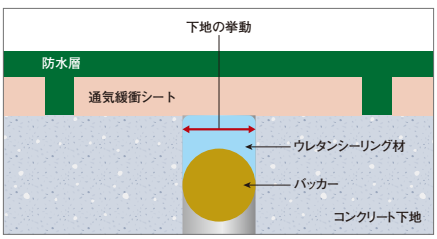
部分密着　下地と部分密着して、優れた耐久性を発揮します

孔あきタイプの通気緩衝シートにより、シートの孔部分の防水材が下地に部分密着することで、ふくれに対する抵抗性や耐風性能など、優れた安定性と耐久性を発揮します。



緩　衝　下地の動きを緩衝し、破断を防止します

通気緩衝シートが下地の動きを緩衝し、下地亀裂に対する抵抗性を有し、防水層の破断を防止します。



抜群の通気緩衝効果を発揮する、サラセーヌAVシート

- ポリエステルフィラメントの長繊維不織布に、千鳥格子状に孔を空けた通気緩衝シートです。
- 抗張積が大きく、バランスのよい無方向性なので、優れた緩衝効果を発揮します。
- 耐食性、耐溶剤性、耐薬品性、寸法安定性に優れています。
- 施工時に局所的な歪み、目ずれが起こらず、張付け作業が容易です。



通気緩衝AV工法の性能評価

「日本建築学会 建築工事標準仕様書JASS 8 T-501 メンブレン防水層の性能評価試験方法」に準拠し、「ふくれ試験」、「耐風試験」、「疲労試験」について比較試験を行いました。

結論

	サラセーヌAV工法	自着シート工法
ふくれ試験	ふくれ４	ふくれ1
耐風試験	耐風４	耐風２
疲労試験	疲労A4	疲労A4（浮き発生）

孔あきタイプの通気緩衝シートを用いた「サラセーヌAV工法」は、優れた耐久性能が証明されました。

通　気　ふくれに対する抵抗性（ふくれ試験）

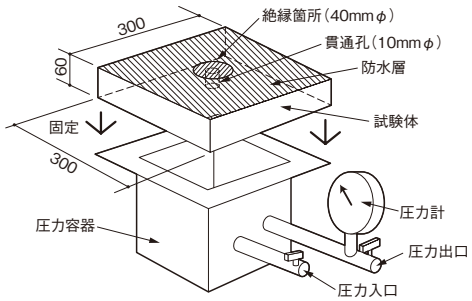
目的

露出防水層のふくれに対する抵抗性を評価する。

試験工程

試験体を試験温度60℃の状態に1時間静置する。
まず5.0kPaの圧力を負荷し、絶縁箇所の輪郭をマークする。
次に10.0kPaの加圧を10分間、さらに20.0kPaの加圧を10分間、
そして50.0kPaの加圧を10分間順次行い、絶縁箇所の拡大などの異状を観察する。

（単位：mm）



ふくれ試験装置

試験結果表示

区分		
	ふくれ1 ：10.0kPaの圧力で10分までに異状を生じた場合 ふくれ2 ：20.0kPaの圧力で10分までに異状を生じた場合 ふくれ3 ：50.0kPaの圧力で10分までに異状を生じた場合 ふくれ4 ：50.0kPaの圧力で異状を生じなかった場合	弱 ↕ 強

結果

工法	サラセーヌAV工法（孔あき不織布）	自着シート工法（一般品）（自着層付き改質アス）
区分	ふくれ4	ふくれ1
		

工法	10.0kPaで10分	20.0kPaで10分	50.0kPaで10分
サラセーヌAV工法（孔あき不織布）	→	→	→
自着シート工法（一般品）（改質アス自着）	→		

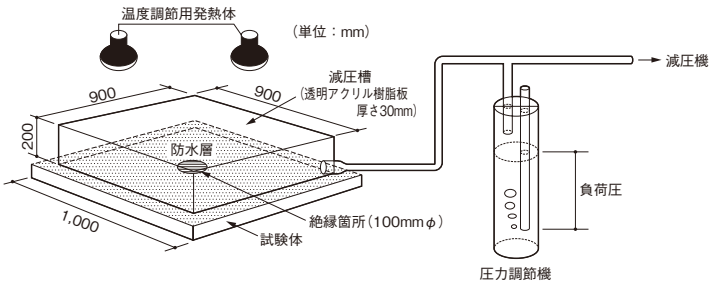
→ 異状なし
→ 異状あり

この試験結果により、孔あき通気緩衝シートの高いふくれ抵抗性が確認されました。また、部分密着方式により強固な密着性を示します。

部分密着　耐風圧性(耐風試験)

目的

強風時の負荷に対する露出防水層の抵抗性を評価する。



耐風試験装置(例)

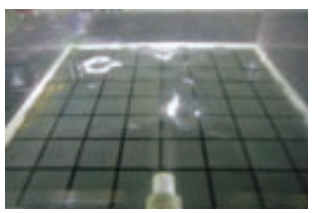
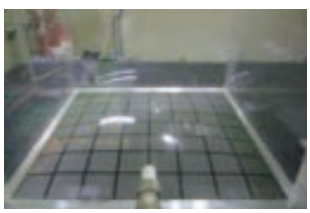
試験工程

防水層の温度を40℃に保ち3時間以上経過した後、槽内の圧力を−2.0kPaに減圧して30分間保持し、負圧を保った状態で防水層のふくれ、はく離、破断、穴あきなどの異状の有無を観察する。
特に絶縁箇所の周辺のふくれ、はく離の進行状況を観察する。ふくれ、はく離が進行しない場合は順次−5.0kPaで30分間、さらに−10.0kPaで30分間の負圧を保持した状態で、防水層の異状の有無を観察する。

試験結果表示

区分	耐風1：−2.0kPaの負圧で30分までに異状を生じた場合 耐風2：−5.0kPaの負圧で30分までに異状を生じた場合 耐風3：−10.0kPaの負圧で30分までに異状を生じた場合 耐風4：−10.0kPaの負圧で異状を生じない場合	弱 強

結果

工法	サラセーヌAV工法 (孔あき不織布)	自着シート工法(一般品) (自着層付き改質アス)
区分	耐風4	耐風2
		

工法	−2.0kPa 30分	−5.0kPa 30分	−10.0kPa 30分
サラセーヌAV工法 (孔あき不織布)	→	→	→
自着シート工法(一般品) (改質アス自着)	→	→	

→ 異状なし
→ 異状あり

この試験結果により、孔あき通気緩衝シートを用いた部分密着方式による強固な密着性が確認されました。

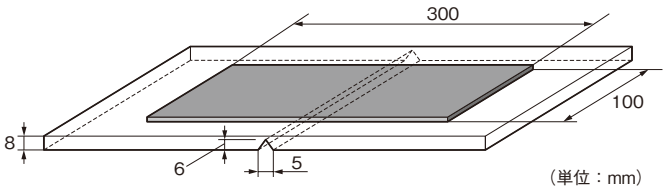
緩　衝　動きに対する抵抗性(疲労試験)

目的

防水層下地の接合部、または下地に発生するクラックの動きに対する防水層の抵抗性を評価する。

試験工程

工程	ムーブメント(mm)	ステップ1	ステップ2	ステップ3
		温度20℃	温度60℃	温度−10℃
1	0.5⇔1.0	○→○→○		
2	1.0⇔2.0	○→○→○		
3	2.5⇔5.0	○→○→○		



（単位：mm）

○の各位置ムーブメントと温度において、周期3分で500回行い、「→」の方向に示す順序で試験を行い、各ステップ終了後、防水層の状態を目視により検査する。

試験結果表示

区分	
	疲労A1 ：工程1で破断した場合 疲労A2：工程2で破断した場合 疲労A3：工程3で破断した場合 疲労A4：工程3で破断しなかった場合

弱 ↓ 強

結果

工法	サラセーヌAV工法 （孔あき不織布）	自着シート工法(一般品) （自着層付き改質アス）
区分	疲労A4	疲労A4
	 異状なし	 ※浮き発生

工法	工程1(0.5⇔1.0mm)			工程2(1.0⇔2.0mm)			工程3(2.5⇔5.0mm)		
	ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4	ステップ5	ステップ6	ステップ7	ステップ8	ステップ9
	温度20℃	温度60℃	温度−10℃	温度20℃	温度60℃	温度−10℃	温度20℃	温度60℃	温度−10℃
サラセーヌAV工法 （孔あき不織布）	→	→	→	→	→	→	→	→	→
自着シート工法 （一般品） （改質アス自着）	→	→	→	→	→	→	→	→	→

→ 異状なし
→ 浮き発生

この試験結果により、孔あき通気緩衝シートを用いた部分密着方式の優れた緩衝性と強固な密着性が確認されました。

Close Up! 5

JIS 高強度形／高伸長形 W 認証ウレタン防水材サラセーヌ AZ

サラセーヌ® 堅鎧（タフガイ）® システム

サラセーヌ堅鎧システムは、高強度形防水材「サラセーヌAZ」と従来の高伸長形防水材を組み合わせることで、密着工法においても通気緩衝工法に匹敵する下地追従性を可能とし、傷がつきにくく、耐久性が高いウレタン防水層を実現しました。



出典元：積水化学工業株式会社：RIENA/CREGAREカタログ

「堅鎧システム」の防水材料

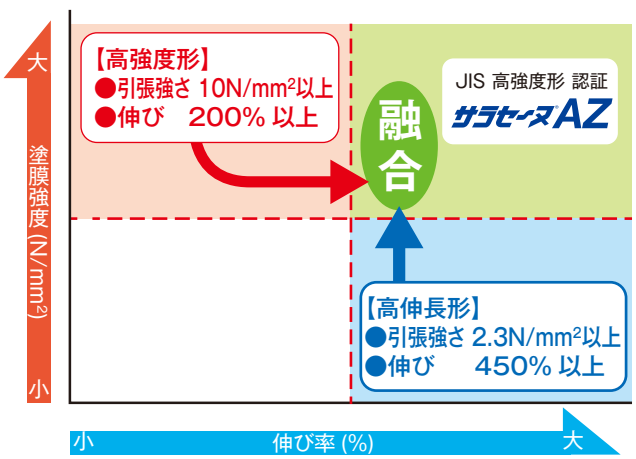
サラセーヌAZ

JIS A 6021

JIS A 6021高強度形防水材認証取得製品

2014年に誕生した「サラセーヌA」は、JIS高強度形とJIS高伸長形の2つの規格で認証を取得。超速硬化吹付け防水材に匹敵する強度と手塗りウレタン防水材ならではの伸び性能が高く評価され、多くの実績を獲得しました。「サラセーヌA」のJIS性能をそのまま継承し、特化則非該当へと進化を遂げたのが「サラセーヌAZ」です。MOCAを含まず、有機則（有機溶剤中毒予防規則）にも該当しない、環境対応型の防水工事を実現します。



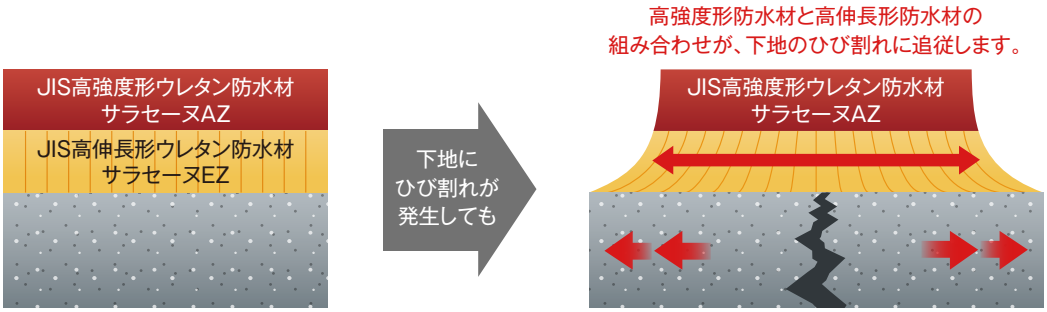


※サラセーヌAZは、JIS A 6021塗膜防水材高伸長形の規格も満たしているため、公共建築工事標準仕様にも使用できます。

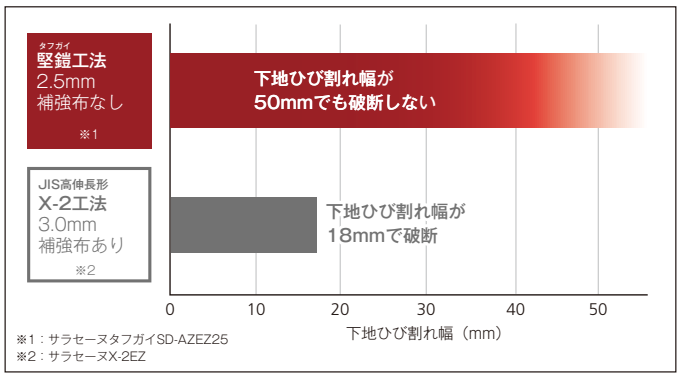
「堅鎧システム」の特長

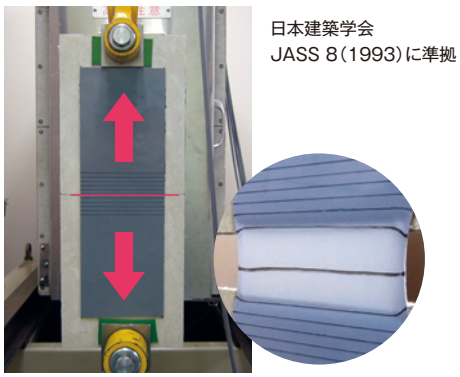
1 優れた耐久性

複層構造により、驚きの下地ひび割れ追従性を実現



既存ウレタン防水層の塗り重ねにおいても高強度形防水材を使用することで同様の防水層を形成できます。(イメージ図)





日本建築学会
JASS 8(1993)に準拠

堅鎧工法は、補強布なしでも、X-2相当工法以上の性能を有していると言えます。

2 傷つきにくい

安心の耐荷重性

タイルの裏足による防水層傷つき状態を検証

JIS高伸長形 VS サラセーヌAZ

JIS高伸長形の場合…



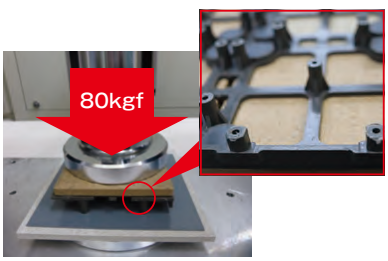
高伸長形ウレタン防水材3mm仕様

VS

サラセーヌAZの場合…



堅鎧システム2.5mm仕様



テンシロン万能試験機

■試験条件
試験に使用したタイル：CREGAREテラタイル
試験速度：50mm/分
上限荷重：80kgf
繰り返し回数：20,000回

※接地面となる裏足の形状が平滑、かつ直径が5mm以上のものに限ります。



サラセーヌ堅鎧システムの詳細については、左記のカタログをご参照ください。

「サラセーヌ堅鎧システム」は、JIS高強度形とJIS高伸長形の組み合わせで、下地ひび割れなどの動きへの追従性が通気緩衝工法に匹敵する防水工法です。また、傷つきにくく耐久性が高いことにより、防水層の上に、敷きタイル、ウッドデッキなどの重量物が設置できます。ベランダ、ルーフバルコニーなどに多彩な用途拡大提案が可能です。

Close Up! 6

環境対応型・特化則非該当・高速硬化・低温硬化型ウレタン防水材

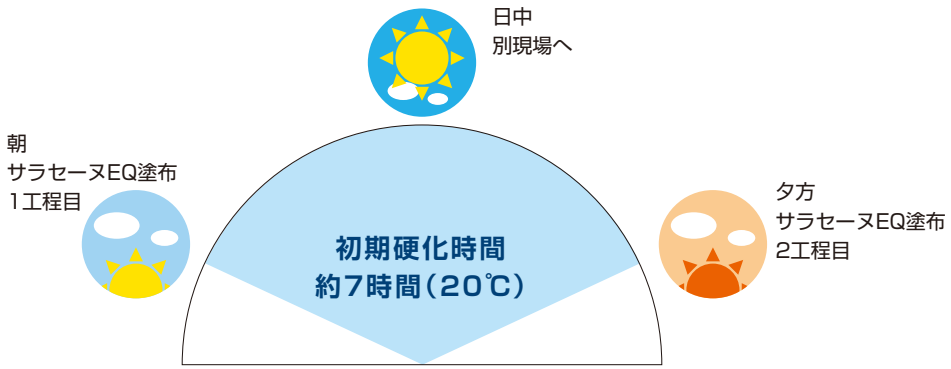
サラセーヌEQ

サラセーヌEQの特長

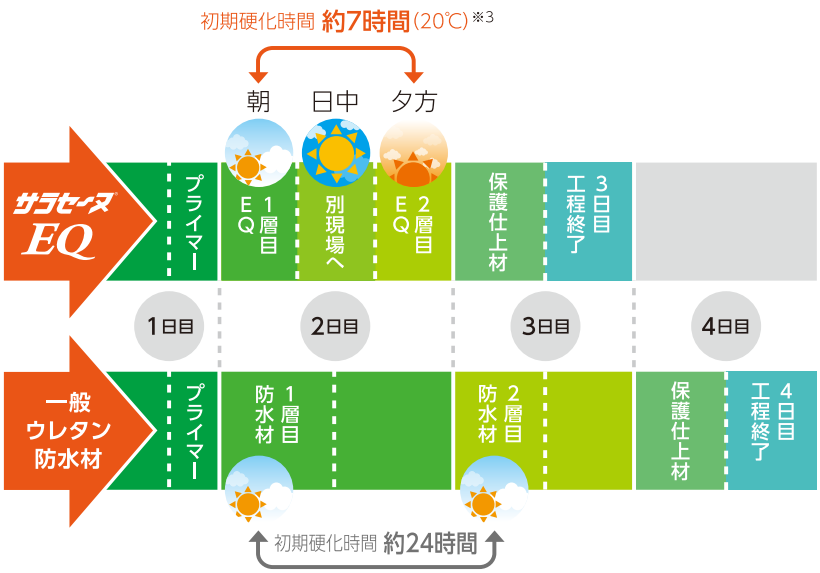
1 高速硬化　工期短縮

サラセーヌEQは硬化が速いという特長から、ウレタン防水材の施工を1日2工程行うことが可能です※1。
また、硬化が速いにもかかわらず、可使時間(20℃の場合）も最大約50分※2あることから、施工性が良く、作業効率が格段に上がる防水材です。

1日2工程の施工が可能



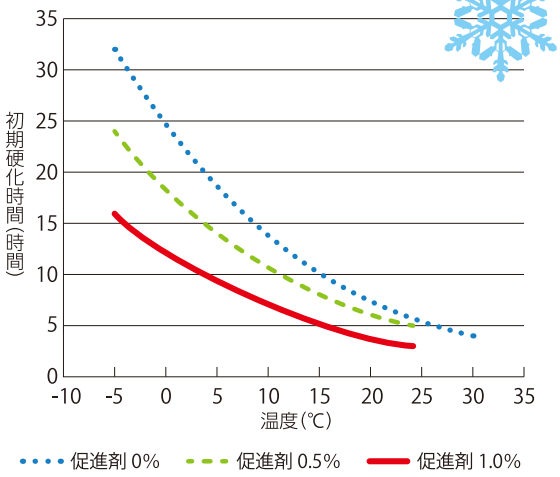
工期短縮 施工比較



※1：気象条件、日射しや風通し、夜間の冷え込み、施工現場の状況によっては1日2工程ができない場合もあります。
※2：20℃の場合におけるサラセーヌEQノンサグの可使時間です。
※3：ウレタン硬化促進剤EXを添加していない初期硬化時間を表示しています。気温が低い場合はウレタン硬化促進剤EXを添加してください。

2 低温硬化

■サラセーヌEQ硬化性グラフ



寒い地域は年間、約半分の最低気温が−5℃〜5℃になります。そのような地域で、サラセーヌEQは最大−5℃でもウレタン硬化促進剤EXを添加することにより、1日で硬化が可能です。次の日には次工程に進むことができ、冬場の施工に最適です。

■ウレタン硬化促進剤EX添加量の目安

製品名	主剤／硬化剤（kg）	添加量の目安（防水材混合物に対し）	
		0.5%	1.0%
サラセーヌEQ	6／12	90g	180g
サラセーヌEQノンサグ	6／12	90g	180g

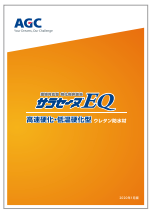
3 環境対応型　特化則非該当製品

サラセーヌEQは特化則非該当防水材であり、シックハウスの原因となる有機溶剤を含有しない無溶剤型防水材です。厚生労働省「室内空気汚染物質対策」の13物質を使用していません。文部科学省「学校環境衛生の基準」での対象物質も同じく使用していません。また、有害重金属である鉛化合物も含んでいません。

特化則非該当 高速硬化おすすめ工法（階下に居室がない部位）

工法名	工程	使用量（kg/m²）	初期硬化時間（20℃）	初期硬化時間（5℃）
SD-EQ20TJ工法	1　PJプライマー	0.2	4 〜 5h	7h
	2　サラセーヌEQ	1.5	7h※	20h※
	3　サラセーヌEQ	1.1	7h※	20h※
	4　TJトップ	0.2	3h	16h
SDN-EQ立上り20TJ工法	1　PJプライマー	0.2	4 〜 5h	7h
	2　サラセーヌEQノンサグ	1.3	7h※	20h※
	3　サラセーヌEQノンサグ	1.3	7h※	20h※
	4　TJトップ	0.2	3h	16h

※ウレタン硬化促進剤EXを添加していない初期硬化時間を表示しています。気温が低い場合はウレタン硬化促進剤EXを添加してください。
・ウレタン硬化促進剤EX添加量の目安とサラセーヌEQ硬化性グラフをご参照ください。
・上記の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

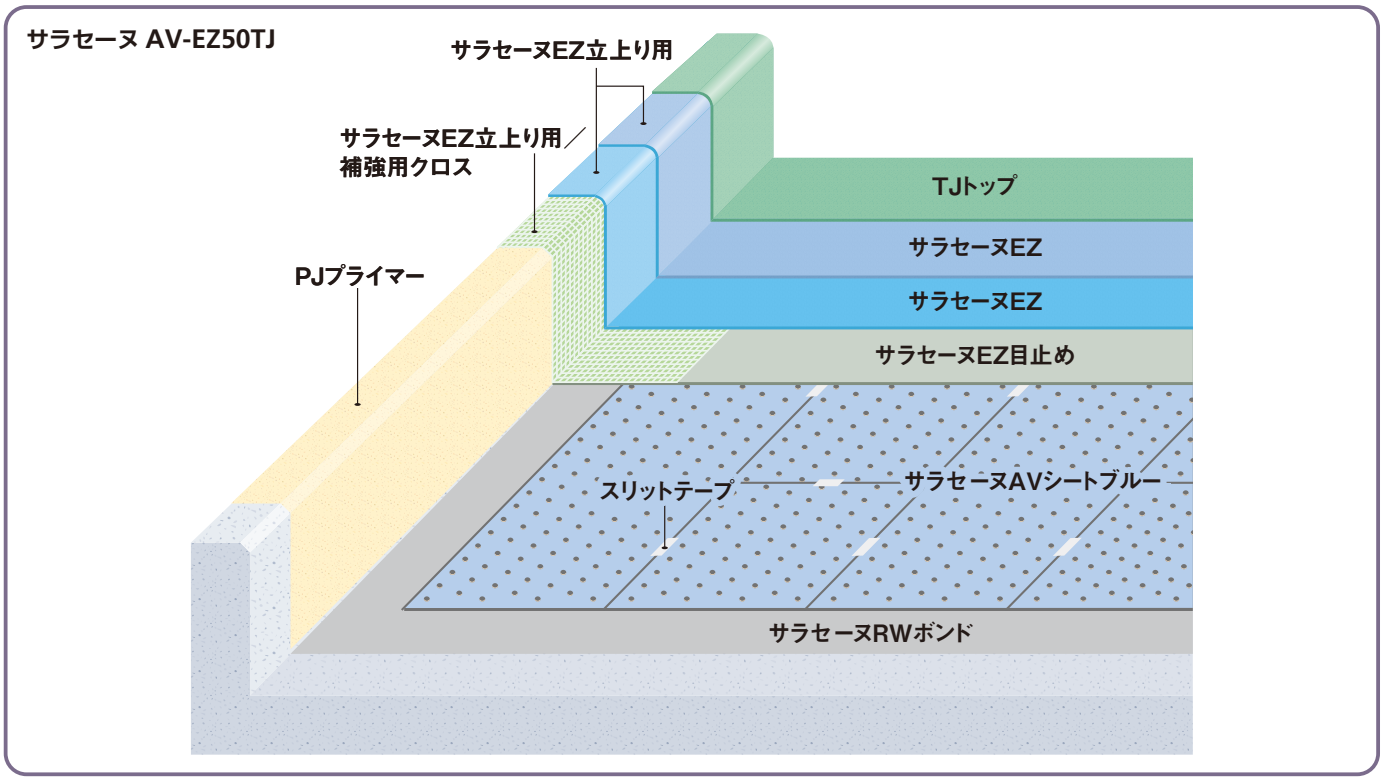


サラセーヌEQの詳細については、左記のカタログをご参照ください。

「サラセーヌEQ」は、一般的なウレタン防水材と比較して硬化が速く、工期短縮に大きく寄与します。特に寒冷地での冬期工事などの低温条件下での硬化遅延が防げます。また、材質は特化則に該当しないほか、室内環境汚染規制の対象物質も使用していない安全性と環境に配慮した製品です。

適用部位：屋上・ルーフバルコニーなど

サラセーヌ® 通気緩衝AV工法



・AV工法の関連資材の詳細は78～79ページをご参照ください。

環境対応型 特化則非該当仕様

工法名	工　程	使用量(kg/m²)	備　考
AV-EZ50TJ AV-EZ50TJフッ素	1　サラセーヌRWボンド	0.25	歩行用平場仕様 防水層厚み平均2.5mm
	サラセーヌAVシートブルー　または　AVシート	—	
	スリットテープ	—	
	2　サラセーヌEZ目止め	1.2	
	3　サラセーヌEZ	1.2	
	4　サラセーヌEZ	1.2	
	5　TJトップ　または 　TJフッ素	0.2 0.15	
AV-EZ70TJ AV-EZ70TJフッ素	1　サラセーヌRWボンド	0.25	歩行用平場ハイグレード仕様 防水層厚み平均4.5mm
	サラセーヌAVシートブルー　または　AVシート	—	
	スリットテープ	—	
	2　サラセーヌEZ目止め	1.2	
	3　サラセーヌEZ	2.5	
	4　サラセーヌEZ	2.4	
	5　TJトップ　または 　TJフッ素	0.2 0.15	
SD-EZ立上り20TJ SD-EZ立上り20TJフッ素	1　PJプライマー	0.2	共通立上り仕様 防水層厚み平均2mm
	2　サラセーヌEZ立上り用	0.8	
	補強用クロス	—	
	3　サラセーヌEZ立上り用	1.1	
	4　サラセーヌEZ立上り用	0.7	
	5　TJトップ　または 　TJフッ素	0.2 0.15	

一般仕様

工法名	工　程	使用量(kg/m²)	備　考
AV-KK50T AV-KK50Tフッ素	1　サラセーヌAVボンド	0.25	歩行用平場仕様 防水層厚み平均2.5mm
	サラセーヌAVシートブルー　または　AVシート	—	
	スリットテープ	—	
	2　サラセーヌAV-W	1.2	
	3　サラセーヌK	1.3	
	4　サラセーヌK	1.2	
	5　サラセーヌT　または サラセーヌTフッ素	0.2 0.15	
AV-K50T AV-K50Tフッ素	1　サラセーヌAVボンド	0.25	歩行用平場仕様 防水層厚み平均2.5mm 注） ・通気緩衝シートはAVシートブルーを使用してください。 ・勾配が大きい場合は、粘度調整が必要となります。
	サラセーヌAVシートブルー	—	
	スリットテープ	—	
	2　サラセーヌAV-W	1.2	
	3　サラセーヌK	2.5	
	4　サラセーヌT　または サラセーヌTフッ素	0.2 0.15	
AV-KK70T AV-KK70Tフッ素	1　サラセーヌAVボンド	0.25	歩行用平場ハイグレード仕様 防水層厚み平均4.5mm
	サラセーヌAVシートブルー　または　AVシート	—	
	スリットテープ	—	
	2　サラセーヌAV-W	1.2	
	3　サラセーヌK	2.5	
	4　サラセーヌK	2.5	
	5　サラセーヌT　または サラセーヌTフッ素	0.2 0.15	
SD-立上り20T SD-立上り20Tフッ素	1　サラセーヌP	0.2	共通立上り仕様 防水層厚み平均2mm
	2　サラセーヌ立上り用	0.8	
	補強用クロス	—	
	3　サラセーヌ立上り用	1.1	
	4　サラセーヌ立上り用	0.7	
	5　サラセーヌT　または サラセーヌTフッ素	0.2 0.15	

・「歩行用」とは不特定多数の歩行に供する場合を言います。

●プライマー（接着材）の選定

・「サラセーヌRWボンド」、「PJプライマー」、「サラセーヌAVボンド」、「サラセーヌP」は一般モルタル・コンクリート下地用です。
　下地の種類に応じてプライマーを追加したり、選定し直したりする必要があります。

・下地によりプライマーの種類および塗布量は異なります。プライマーは下地調整した場合の使用量です。

●防水材の選定

・規定厚みの処置が取れれば、「サラセーヌEZ」、「サラセーヌK」は1液湿気硬化型ウレタン防水材「サラセーヌSB」に、「サラセーヌEZ立上り用」は「サラセーヌSB立上り用」、「サラセーヌSB中粘度」に、「サラセーヌ立上り用」は「サラセーヌSB立上り用」、「サラセーヌSB中粘度」、「サラセーヌGV」に変更可能です。

●保護仕上材の選定

・各種保護仕上材には、臭気が少ない水性保護仕上材や遮熱性能を付与したタイプも用意しています。

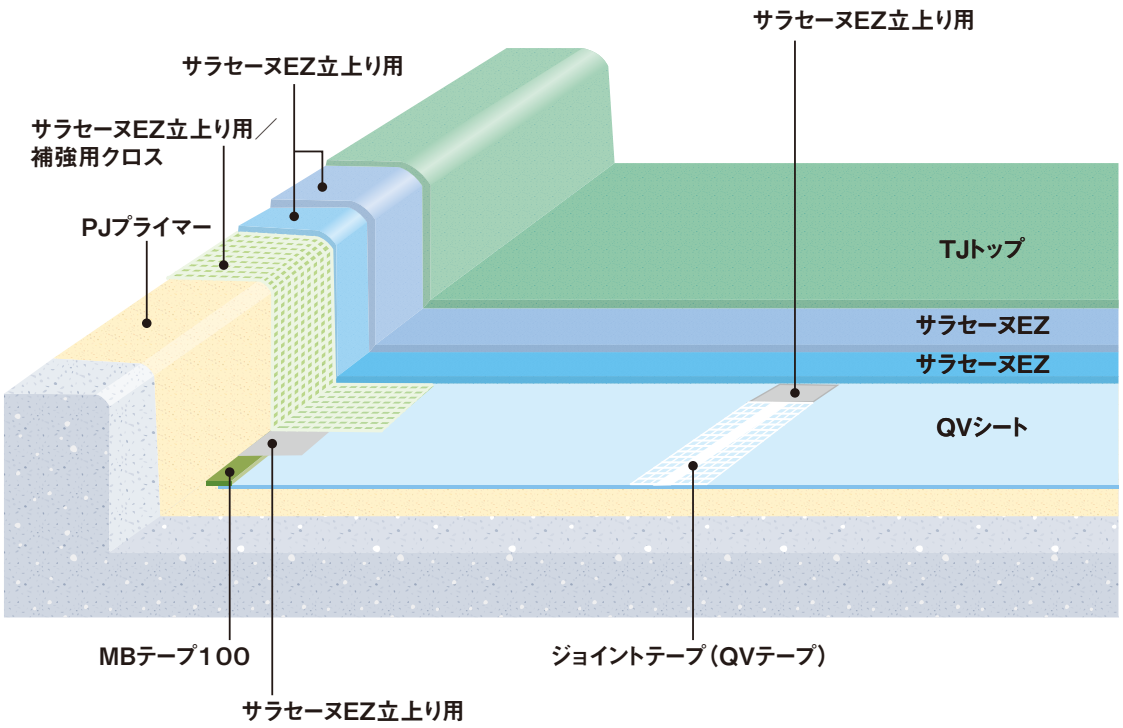
・カラーバリエーション、仕上げオプションなど、詳細は58〜62ページをご参照ください。

・品確法で定める新築住宅の場合、「フッ素樹脂系」または「アクリルシリコーン系」の保護仕上材をご採用ください。

適用部位：屋上・ルーフバルコニーなど

サラセーヌ® 通気緩衝QV工法

サラセーヌ QV-EZ50TJ



環境対応型 特化則非該当仕様

工法名	工　程	使用量(kg/m²)	備　考
QV-EZ50TJ QV-EZ50TJフッ素	1　PJプライマー	0.2	歩行用平場仕様 防水層厚み平均2.5mm
	2　QVシート	1.06　m	
	ジョイントテープ／サラセーヌEZ立上り用	1.06　m	
	MBテープ100	—	
	3　サラセーヌEZ	1.7	
	4　サラセーヌEZ	1.6	
	5　TJトップ　または TJフッ素	0.2 0.15	
SD-EZ立上り20TJ SD-EZ立上り20TJフッ素	1　PJプライマー	0.2	共通立上り仕様 防水層厚み平均2mm
	2　サラセーヌEZ立上り用	0.8	
	補強用クロス	—	
	3　サラセーヌEZ立上り用	1.1	
	4　サラセーヌEZ立上り用	0.7	
	5　TJトップ　または TJフッ素	0.2 0.15	

一般仕様

工法名	工　程	使用量(kg/m²)	備　考
QV-KK50T QV-KK50Tフッ素	1　サラセーヌP	0.2	歩行用平場仕様 防水層厚み平均2.5mm
	2　QVシート	1.06 m	
	ジョイントテープ／サラセーヌ立上り用	1.06 m	
	MBテープ100	—	
	3　サラセーヌK	1.7	
	4　サラセーヌK	1.6	
	5　サラセーヌT　または サラセーヌTフッ素	0.2 0.15	
SD-立上り20T SD-立上り20Tフッ素	1　サラセーヌP	0.2	共通立上り仕様 防水層厚み平均2mm
	2　サラセーヌ立上り用	0.8	
	補強用クロス	—	
	3　サラセーヌ立上り用	1.1	
	4　サラセーヌ立上り用	0.7	
	5　サラセーヌT　または サラセーヌTフッ素	0.2 0.15	

・「歩行用」とは不特定多数の歩行に供する場合を言います。
※事前に「通気緩衝QV工法 施工上の注意」を必ずお読みください。
・QVシートの粘着性を阻害する恐れがあるため、凹凸のある下地は、予め平滑に仕上げてください。
・QVシートの端末処理は、MBテープ100をご使用ください。
●プライマー（接着材）の選定
・下地やシート裏面が濡れていないことを確認してください。
・「PJプライマー」、「サラセーヌP」は一般モルタル・コンクリート下地用です。
　下地の種類に応じてプライマーを追加したり、選定し直す必要があります。
・下地によりプライマーの種類および塗布量は異なります。プライマーは下地調整した場合の使用量です。
●防水材の選定
・規定厚みの処置が取れれば、「サラセーヌEZ」、「サラセーヌK」は1液湿気硬化型ウレタン防水材「サラセーヌSB」に、「サラセーヌEZ立上り用」は「サラセーヌSB立上り用」、「サラセーヌSB中粘度」に、「サラセーヌ立上り用」は「サラセーヌSB立上り用」、「サラセーヌSB中粘度」、「サラセーヌGV」に変更可能です。
●保護仕上材の選定
・各種保護仕上材には、臭気が少ない水性保護仕上材や遮熱性能を付与したタイプも用意しています。
・カラーバリエーション、仕上げオプションなど、詳細は58～62ページをご参照ください。
・品確法で定める新築住宅の場合、「フッ素樹脂系」または「アクリルシリコーン系」の保護仕上材をご採用ください。
・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

ご採用の前に・・・

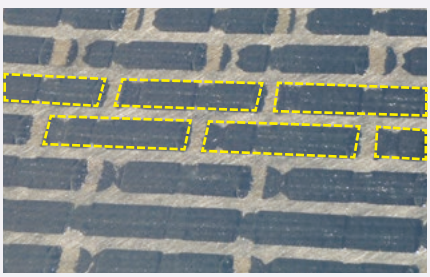
サラセーヌQV工法は、保護コンクリートおよびウレタン防水層の下地を対象としています。
事前に「通気緩衝QV工法 施工上の注意」を必ずお読みください。

下地の不陸を平滑にしてください！



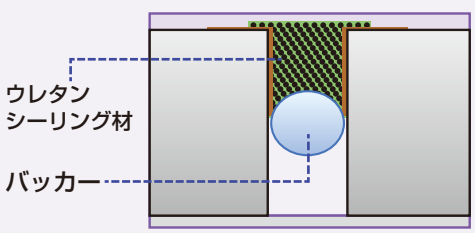
下地の不陸による凹凸が目出つことがあります。

仕上りに影響することがあります！

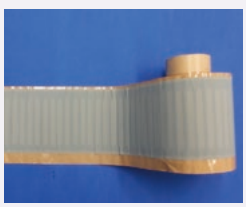


粘着層のストライプ形が目立つことがあります。

伸縮目地を平滑に仕上げてください！



伸縮目地



目地処理用テープ
「メジキーパーA」も有効です。
（製造元：株式会社秀カンパニー）

目地段差に注意！

転圧は10kg以上の荷重がかかる転圧ローラーを使用してください！



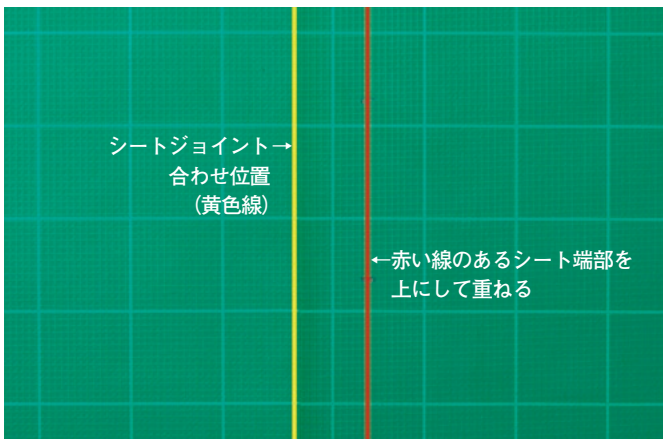
自着層タイプ通気緩衝　— QVシート —

QVシートの裏面には、下地と強力に粘着させるため特殊なアスファルト系の粘着層を採用しています。
粘着層のない溝を下地の水分が通気する仕組みです。
さらにQVシート表面には、特殊なフィルムが施してあるため、突然の降雨などにも優れた遮水性を発揮します。
また、QVシートにはウレタン防水材を直接塗布することができます。



シート同士の重ね張りでジョイント部も一体化

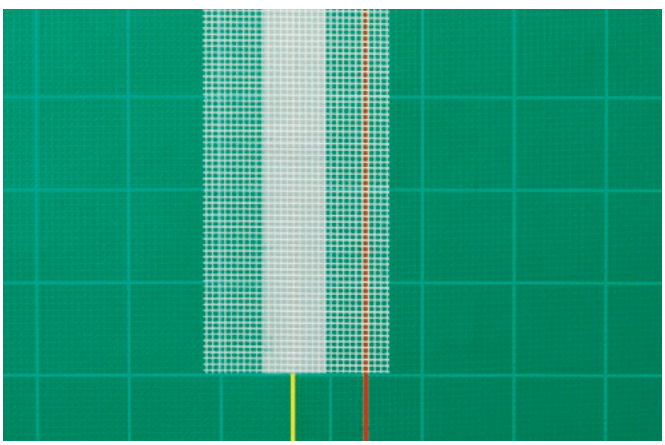
QVシートは、ジョイント部（長辺）を重ね合わせることにより、ジョイント部が一体化し防水機能を高めます。
シート表面の黄色線があるシートジョイントを下に、赤色線があるシートジョイントを上にして重ね、上から重ねるシート端部を黄色の線に合わせて張り付けます。
重なり合う端部のシートは段差調整加工してあるので、シート同士の高さを合わせやすく、シームレスな仕上りになります。
ジョイントを重ねることにより、シート端部の反りあがりを抑制します。
短辺部のジョイントは2mm程度あけて張り付けてください。



確実なシートジョイント処理

QVシートジョイント処理用テープ「ジョイントテープ」（QVテープ）は、ジョイント部分を補強するため、特殊加工したポリエステルテープと補強用クロスを一体化した構成で、補強用クロスの部分にウレタン防水材が部分密着し、ジョイント挙動に強い構造になっています。
ハサミで容易に裁断可能で、青い剥離紙フィルムを剥がしながら貼ります。





おすすめ

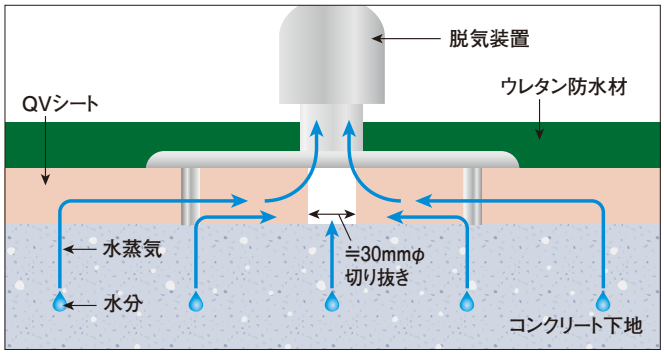
QVシートジョイント処理の「ジョイントテープ」（QVテープ）上の防水材シゴキ塗りには、1液防水材「サラセーヌSB立上り用」が便利です（0.5kg/m^2、50～60g/m）。



下地の水分を逃し、脱気が可能

下地のコンクリート内に滞留する水分は、気温が上がると気化し防水層にふくれを生じさせることがあります。QVシートは、ストライプ状の粘着層以外は通気させる溝になっているため、気化した水蒸気の圧力を拡散させ、局部的なふくれを防止する効果を発揮します。
シート内に拡散した水蒸気圧力は、脱気筒（ステンレスベント）より脱けていきます。

※脱気筒を設置の際は、QVシート裏面の粘着層のない溝の部分を直径30mm程度切り抜き、その上に脱気筒を設置してください。



下地への強い粘着性を発揮

QVシートの裏面にあるストライプ状の粘着層は、転圧ローラーを使用することで確実な粘着性を発揮します。

荷重が10kg以上掛けられる転圧ローラーをおすすめします。
下地の不陸（凹凸）によっては著しく粘着力が低下することがあります。
※下地やシート裏面が濡れていないことを確認してください。



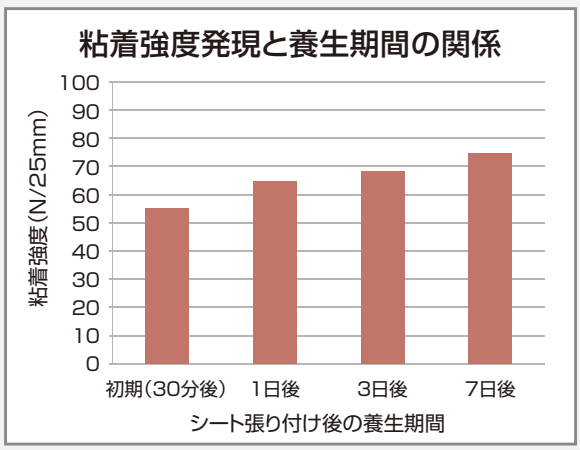


QVシート粘着性評価

■試験方法
JIS K 6854「180度剥離試験」に準拠

■試験体
標準条件（温度23℃、湿度50%）の室内でプライマー塗布・硬化後のスレート板にQVシートを張り付けた試験体。
※張り付けは、転圧ローラーを使用した。

■試験結果
QVシートは、十分な粘着性を有する。

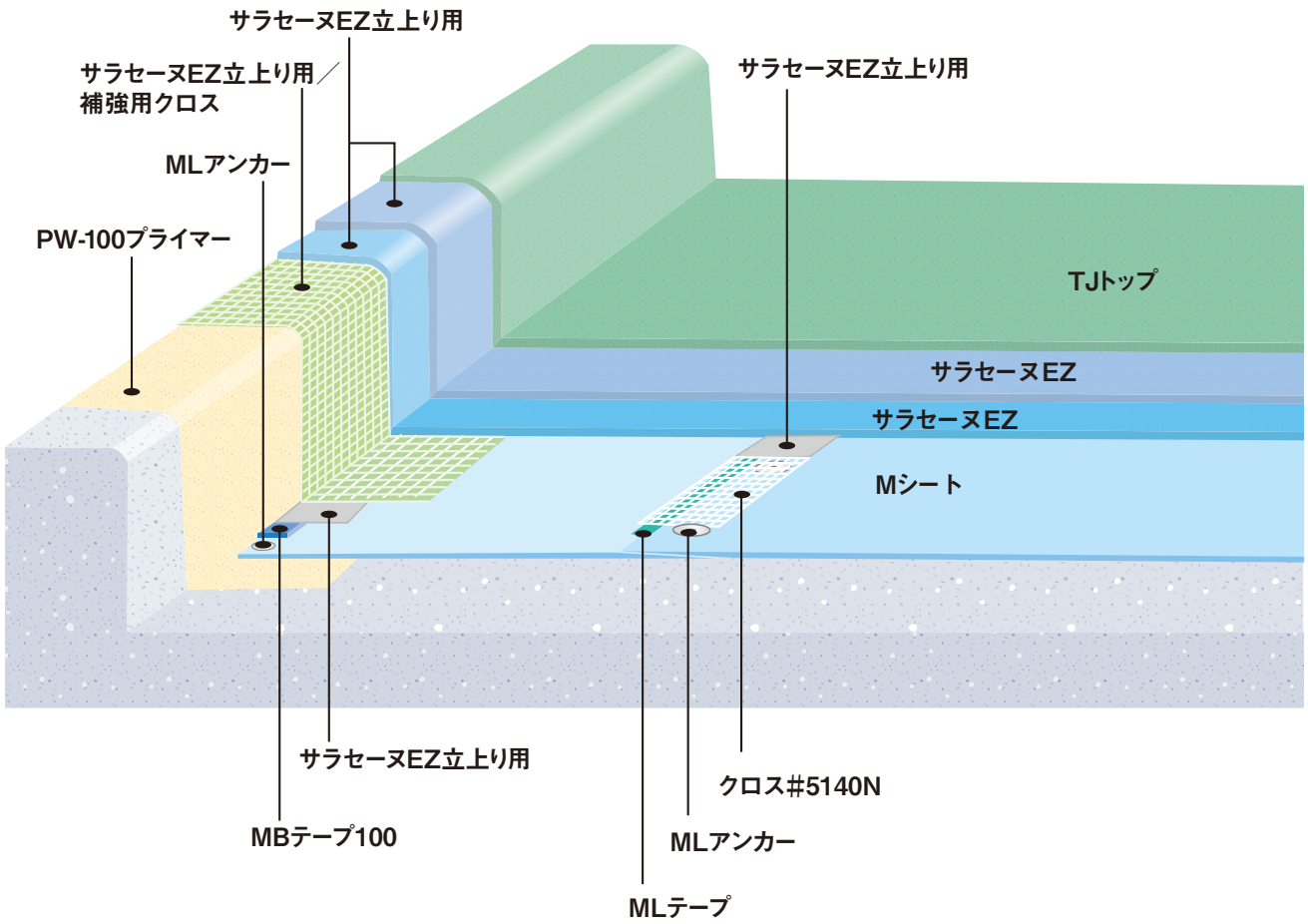


上図の値は室内試験による測定値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

適用部位：屋上など（異種防水下地）

サラセーヌ® 機械的固定AM工法

サラセーヌ AM-EZ30TJ



特長

耐下地亀裂抵抗性に優れた絶縁シートを固定金具で固定する、浮かし張り工法です。

- 下地の水分を外に逃がすとともに挙動を緩衝します。改修の場合でも既設の防水層を撤去せずに施工できるので、工期短縮と産業廃棄物の低減に役立ちます。

・サラセーヌAM工法は、通気緩衝シートの機能、防水材、保護仕上材の使用量が公共建築工事標準仕様X-1相当を満たしています。固定金具で下地に固定するので、接着材は不要です。
・下地躯体に直接固定金具で固定する工法ですので、ALC板など、脆弱な下地は避けてください。
・AM工法の関連資材の詳細は81～82ページをご参照ください。

おすすめ

Mシートジョイント処理のクロス#5140N上の防水材シゴキ塗りには、
1液防水材「サラセーヌSB立上り用」が便利です（0.5kg/m²、50～60g/m）。



環境対応型 特化則非該当仕様

工法名	工　程	使用量(kg/m²)	備　考
AM-EZ30TJ AM-EZ30TJフッ素	1　Mシート	1.06 m	軽歩行用平場仕様 防水層厚み平均3mm
	MLアンカー	3.2 箇所	
	MLテープ	1.06 m	
	クロス#5140N／サラセーヌEZ立上り用	1.06 m	
	端末処理用テープ MBテープ100	—	
	2　サラセーヌEZ	2.0	
	3　サラセーヌEZ	2.0	
	4　TJトップ　または TJフッ素	0.2 0.15	
AM-EZ立上り20TJ AM-EZ立上り20TJフッ素	1　PW-100プライマー	0.25	立上り仕様 防水層厚み平均2mm
	2　サラセーヌEZ立上り用	0.8	
	補強用クロス	—	
	3　サラセーヌEZ立上り用	1.1	
	4　サラセーヌEZ立上り用	0.7	
	5　TJトップ　または TJフッ素	0.2 0.15	

一般仕様

工法名	工　程	使用量(kg/m²)	備　考
AM-KK30T AM-KK30Tフッ素	1　Mシート	1.06	軽歩行用平場仕様 防水層厚み平均3mm
	MLアンカー	3.2 箇所	
	MLテープ	1.06 m	
	クロス#5140N／サラセーヌ立上り用	1.06 m	
	端末処理用テープ MBテープ100	—	
	2　サラセーヌK	2.0	
	3　サラセーヌK	2.0	
	4　サラセーヌT　または サラセーヌTフッ素	0.2 0.15	
AM-立上り20T AM-立上り20Tフッ素	1　PW-100プライマー	0.25	立上り仕様 防水層厚み平均2mm
	2　サラセーヌ立上り用	0.8	
	補強用クロス	—	
	3　サラセーヌ立上り用	1.1	
	4　サラセーヌ立上り用	0.7	
	5　サラセーヌT　または サラセーヌTフッ素	0.2 0.15	

・「軽歩行用」とは特定の人の歩行に供する場合を言います。

●プライマー（接着材）の選定

・「PW-100プライマー」は一般モルタル・コンクリート下地用です。
　下地の種類に応じてプライマーを追加したり、選定し直したりする必要があります。

・下地によりプライマーの種類および塗布量は異なります。PW-100プライマーは下地調整した場合の使用量です。

●防水材の選定

・規定厚みの処置が取れれば、「サラセーヌEZ」、「サラセーヌK」は1液湿気硬化型ウレタン防水材「サラセーヌSB」に、「サラセーヌEZ立上り用」は「サラセーヌSB立上り用」、「サラセーヌSB中粘度」に、「サラセーヌ立上り用」は「サラセーヌSB立上り用」、「サラセーヌSB中粘度」、「サラセーヌGV」に変更可能です。

●保護仕上材の選定

・各種保護仕上材には、臭気が少ない水性保護仕上材や遮熱性能を付与したタイプも用意しています。

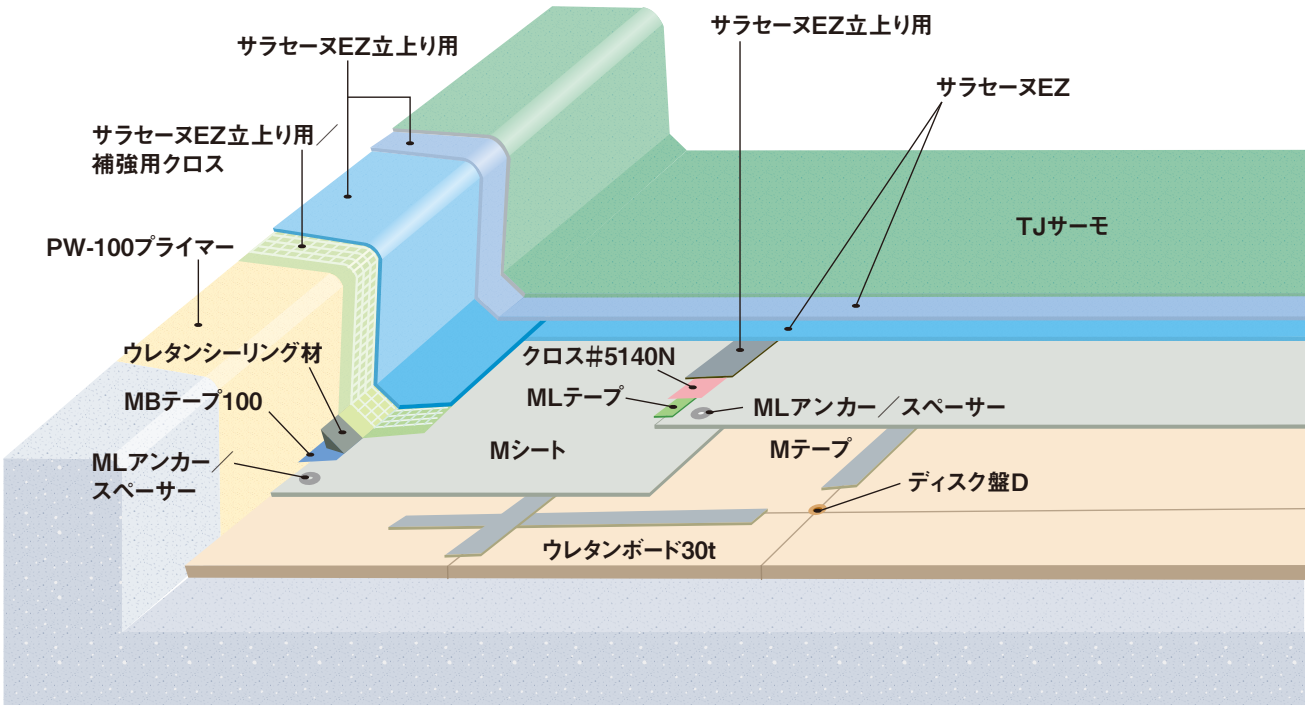
・カラーバリエーション、仕上げオプションなど、詳細は58～62ページをご参照ください。

・品確法で定める新築住宅の場合、「フッ素樹脂系」または「アクリルシリコーン系」の保護仕上材をご採用ください。

適用部位：屋上など（外断熱防水）

サラセーヌ® 外断熱・機械的固定AIM工法

サラセーヌ AIM-EZ30TJ サーモ -U300



・機械的固定工法のため、断熱ボードジョイント付近にMシートの浮きが目立つ場合があります。

特長

断熱ボードを固定金具で固定する浮かし張り外断熱工法で、建物の省エネ、長寿命化を実現します。改修の場合でも既設の防水層を撤去せずに施工できるので、工期短縮と産業廃棄物の低減に役立ちます。

外断熱工法は内断熱工法と比べ、外部の温度変化を断熱材が遮断するので、以下のような特長があります。

- 躯体の熱による伸縮を抑え、建物全体を長期に保全します。
- 建物内部の結露を抑えます。
- 建物の蓄熱を防ぎ、夜間の室内からの放熱を減少させます。

・サラセーヌAIM工法は、通気緩衝シートの機能、防水材、保護仕上材の使用量が公共建築工事標準仕様X-1相当を満たしています。
固定金具で下地に固定するので、接着材は不要です。
・下地躯体に直接固定金具で固定する工法ですので、ALC板など、脆弱な下地は避けてください。
・AIM工法の関連資材の詳細は81～83ページをご参照ください。

おすすめ

Mシートジョイント処理のクロス#5140N上の防水材シゴキ塗りには、
1液防水材「サラセーヌSB立上り用」が便利です（0.5kg/m²、50～60g/m）。



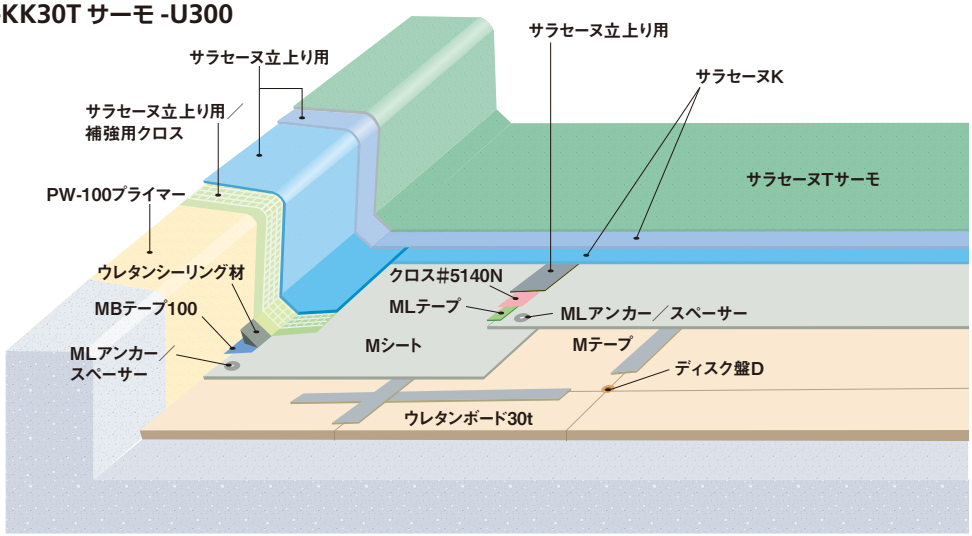
環境対応型 特化則非該当仕様

工法名	工　程	使用量(kg/m²)	備　考
AIM-EZ30TJサーモ-U300 AIM-EZ30TJフッ素サーモ-U300	1　ウレタンボード30t	1.8 枚	非歩行用平場仕様 防水層厚み平均3mm ポリウレタン系断熱ボード (30mm厚み)
	Fプラグ・ビス (6mm) ／ディスク盤D※1	2.0 箇所	
	Mテープ	2.8 m	
	2　Mシート	1.06 m	
	MLアンカー／スペーサー※2	3.2 箇所	
	MLテープ	1.06 m	
	クロス#5140N ／サラセーヌEZ立上り用	1.06 m	
	端末処理用テープ MBテープ100	—	
	3　サラセーヌEZ	2.0	
	4　サラセーヌEZ	2.0	
	5　TJサーモ　または TJフッ素サーモ	0.2 0.15	
AIM-EZ30TJサーモ-S300 AIM-EZ30TJフッ素サーモ-S300	1　Sボード30t	1.2 枚	非歩行用平場仕様 防水層厚み平均3mm ポリスチレン系断熱ボード (30mm厚み)
	Fプラグ・ビス (6mm) ／ディスク盤D※1	1.4 箇所	
	Mテープ	2.3 m	
	2　Mシート	1.06 m	
	MLアンカー／スペーサー※2	3.2 箇所	
	MLテープ	1.06 m	
	クロス#5140N ／サラセーヌEZ立上り用	1.06 m	
	端末処理用テープ MBテープ100	—	
	3　サラセーヌEZ	2.0	
	4　サラセーヌEZ	2.0	
	5　TJサーモ　または TJフッ素サーモ	0.2 0.15	
AIM-EZ立上り20TJサーモ AIM-EZ立上り20TJフッ素サーモ	1　PW-100プライマー	0.25	立上り仕様 防水層厚み平均2mm
	2　サラセーヌEZ立上り用	0.8	
	補強用クロス	—	
	3　サラセーヌEZ立上り用	1.1	
	4　サラセーヌEZ立上り用	0.7	
	5　TJサーモ　または TJフッ素サーモ	0.2 0.15	

・「非歩行用」とは点検程度の人の歩行に供する場合を言います。
※1：Fプラグ・ビス(6mm)／ディスク盤Dは、下地が新設コンクリートや既存ウレタン防水などの平滑な下地で強い風が吹かない地域の場合は、
　　両面ブチル粘着テープ#718に代えることができます。詳細は83ページをご参照ください。
※2：スペーサーは作業性改善の資材ですので、必要に応じて省くことができます。
●プライマー（接着材）の選定
・「PW-100プライマー」は一般モルタル・コンクリート下地用です。
　下地の種類に応じてプライマーを追加したり、選定し直したりする必要があります。
・下地によりプライマーの種類および塗布量は異なります。PW-100プライマーは下地調整した場合の使用量です。
●防水材の選定
・規定厚みの処置が取れれば、「サラセーヌEZ」は1液湿気硬化型ウレタン防水材「サラセーヌSB」に、「サラセーヌEZ立上り用」は「サラセーヌSB立上り用」、「サラセーヌSB中粘度」に変更可能です。
●保護仕上材の選定
・外断熱・機械的固定AIM工法は、断熱ボードによる蓄熱を防止するため、遮熱用保護仕上材が標準となります。
・カラーバリエーション、仕上げオプションなど、詳細は58〜62ページをご参照ください。
・品確法で定める新築住宅の場合、「フッ素樹脂系」または「アクリルシリコーン系」の保護仕上材をご採用ください。

外断熱・機械的固定AIM工法

サラセーヌ AIM-KK30T サーモ -U300



・機械的固定工法のため、断熱ボードジョイント付近にMシートの浮きが目立つ場合があります。

一般仕様

工法名	工　程	使用量(kg/m²)	備　考
AIM-KK30Tサーモ-U300 AIM-KK30Tフッ素サーモ-U300	1　ウレタンボード30t	1.8 枚	非歩行用平場仕様 防水層厚み平均3mm ポリウレタン系断熱ボード (30mm厚み)
	Fプラグ・ビス（6mm）／ディスク盤D※1	2.0 箇所	
	Mテープ	2.8 m	
	2　Mシート	1.06 m	
	MLアンカー／スペーサー※2	3.2 箇所	
	MLテープ	1.06 m	
	クロス#5140N ／サラセーヌ立上り用	1.06 m	
	端末処理用テープ MBテープ100	—	
	3　サラセーヌK	2.0	
	4　サラセーヌK	2.0	
	5　サラセーヌTサーモ　または サラセーヌTフッ素サーモ	0.2 0.15	
AIM-KK30Tサーモ-S300 AIM-KK30Tフッ素サーモ-S300	1　Sボード30t	1.2 枚	非歩行用平場仕様 防水層厚み平均3mm ポリスチレン系断熱ボード (30mm厚み)
	Fプラグ・ビス（6mm）／ディスク盤D※1	1.4 箇所	
	Mテープ	2.3 m	
	2　Mシート	1.06 m	
	MLアンカー／スペーサー※2	3.2 箇所	
	MLテープ	1.06 m	
	クロス#5140N ／サラセーヌ立上り用	1.06 m	
	端末処理用テープ MBテープ100	—	
	3　サラセーヌK	2.0	
	4　サラセーヌK	2.0	
	5　サラセーヌTサーモ　または サラセーヌTフッ素サーモ	0.2 0.15	
AIM-立上り20Tサーモ AIM-立上り20Tフッ素サーモ	1　PW-100プライマー	0.25	立上り仕様 防水層厚み平均2mm
	2　サラセーヌ立上り用	0.8	
	補強用クロス	—	
	3　サラセーヌ立上り用	1.1	
	4　サラセーヌ立上り用	0.7	
	5　サラセーヌTサーモ　または サラセーヌTフッ素サーモ	0.2 0.15	

・「非歩行用」とは点検程度の人の歩行に供する場合を言います。
※1：Fプラグ・ビス(6mm)／ディスク盤Dは、下地が新設コンクリートや既存ウレタン防水などの平滑な下地で強い風が吹かない地域の場合は、両面ブチル粘着テープ#718に代えることができます。詳細は83ページをご参照ください。
※2：スペーサーは作業性改善の資材ですので、必要に応じて省くことができます。詳細は82ページをご参照ください。

●プライマー（接着材）の選定
・「PW-100プライマー」は一般モルタル・コンクリート下地用です。
下地の種類に応じてプライマーを追加したり、選定し直したりする必要があります。
・下地によりプライマーの種類および塗布量は異なります。PW-100プライマーは下地調整した場合の使用量です。

●防水材の選定
・規定厚みの処置が取れれば、「サラセーヌK」は1液湿気硬化型ウレタン防水材「サラセーヌSB」に、「サラセーヌ立上り用」は「サラセーヌSB立上り用」、「サラセーヌSB中粘度」、「サラセーヌGV」に変更可能です。

●保護仕上材の選定
・外断熱・機械的固定AIM工法は、断熱ボードによる蓄熱を防止するため、遮熱用保護仕上材が標準となります。
・カラーバリエーション、仕上げオプションなど、詳細は58～62ページをご参照ください。
・品確法で定める新築住宅の場合、「フッ素樹脂系」または「アクリルシリコーン系」の保護仕上材をご採用ください。

■固定金具の取付方法

建築基準法施行令第82条の5の規定に基づいて、以下の計算式により耐風力を求め、
固定金具の割付本数を算出する必要があります。

●対象建物にかかる風圧力

風圧力N/m²：W＝平均速度圧N/m²：$\bar{q}$ ×ピーク風力係数：$\hat{C}_f$

平均速度圧：$\bar{q}$ ＝0.6Er²×Vo²

Er ： 平均風速の高さ方向の分布を表す係数。
平成12年建設省告示第1454号第1第2項に規定するErの数値。ただし、地表面粗度区分がⅣの場合においては、地表面粗度区分がⅢの場合における数値を用いるものとする。

Vo ： 標準平均風速
平成12年建設省告示第1454号第2に規定する基準風速の数値。

$\hat{C}_f$ ： ピーク風力係数
風洞試験によって定める場合のほか、平成12年建設省告示第1458号第2項に規定する数値。

●必要な耐風圧力

必要な耐風圧力は、一般的に対象建物の風圧力に対し、2倍の安全率をみています。

必要な耐風圧力N/m²≧風圧力N/m²：W×200%（安全率）

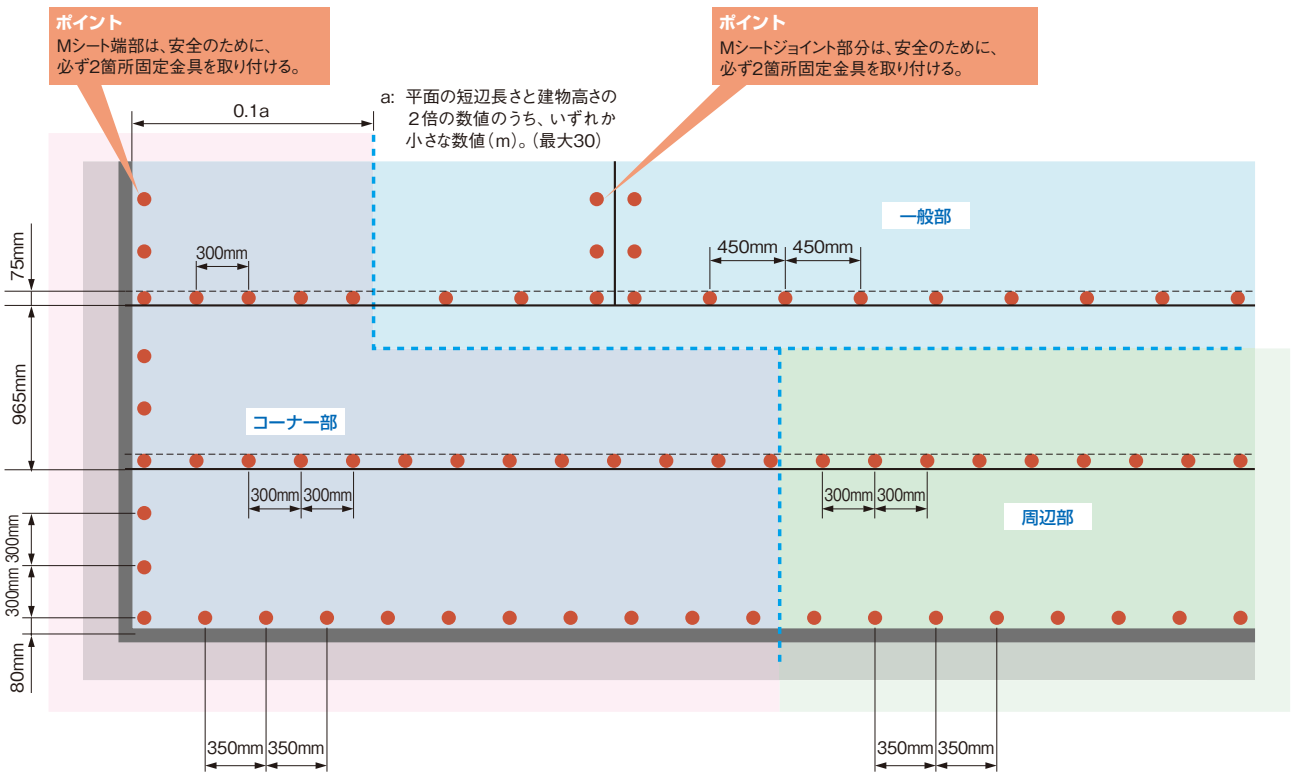
施工面（屋上）は、一般部、周辺部、コーナー部に分けられます。それぞれの係数に応じて、m²当たりの使用固定金具数を算出してください。

●MLアンカーの割付図（代表例）

東京郊外、樹木・低層建築物などが散在する平坦地にある高さ15m、横15m四方の陸屋根の場合。

・詳細は、別紙資料「固定金具割付方法」を確認してください。

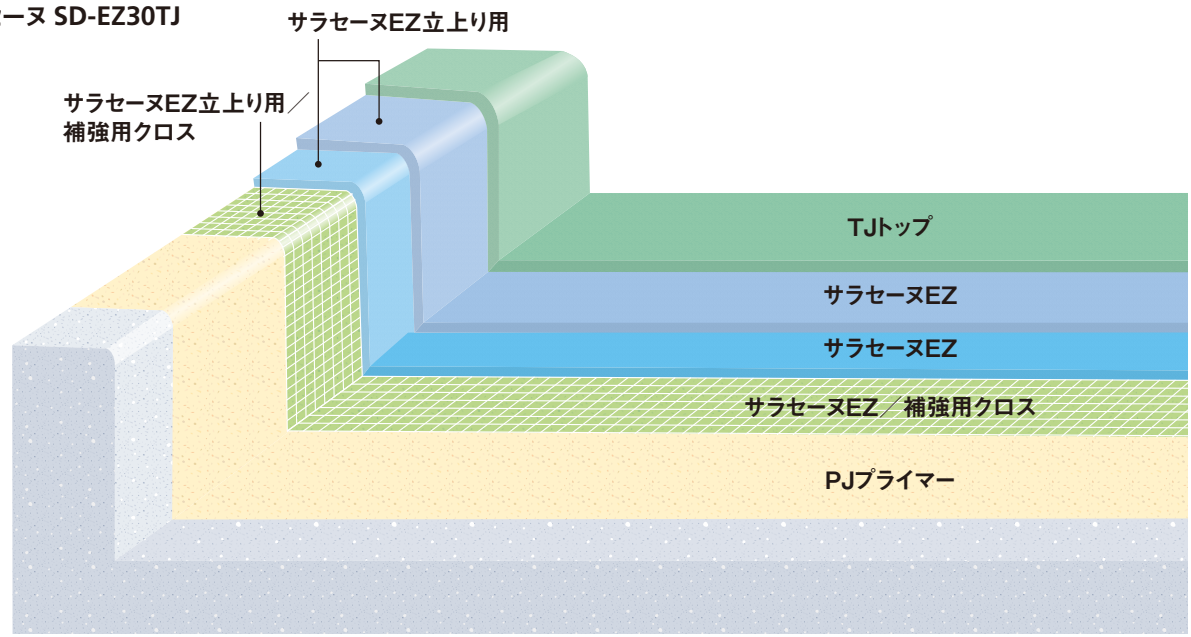
・お問い合わせの際は、「下地種類」、「地方の区分」、「地表面粗度区分」、「施工面寸法（高さ、幅）」、「現場下地における固定金具の引き抜き強度」などの情報をご用意ください。



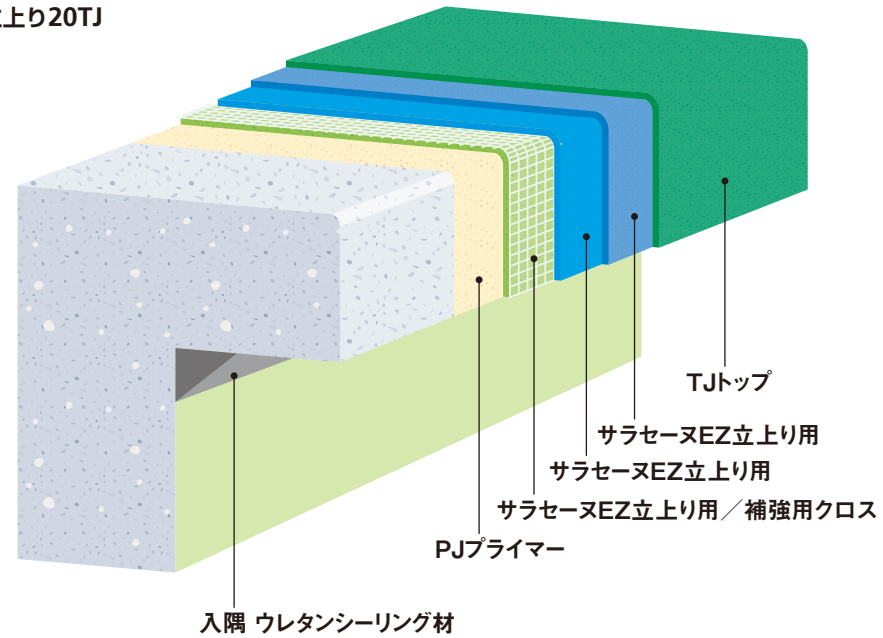
適用部位：屋上・ルーフバルコニーなど(小面積、既存ウレタン下地)

サラセーヌ® 密着SD工法

サラセーヌ SD-EZ30TJ



サラセーヌ SD-EZ立上り20TJ



特長

サラセーヌ上市以来、30年以上の実績を誇るスタンダードな密着工法です。

- 複雑な形状の屋根や部位にも継ぎ目のない防水層を形成します。
- 補強用クロスを併用することにより、優れた防水性能を発揮します。

環境対応型 特化則非該当仕様

工法名	工　程	使用量(kg/m²)	備　考
SD-EZ30TJ SD-EZ30TJフッ素	1　PJプライマー	0.2	歩行用平場仕様 防水層厚み平均3mm
	2　サラセーヌEZ	0.8	
	補強用クロス	—	
	3　サラセーヌEZ	1.6	
	4　サラセーヌEZ	1.5	
	5　TJトップ　または TJフッ素	0.2 0.15	
SD-EZ立上り20TJ SD-EZ立上り20TJフッ素	1　PJプライマー	0.2	共通立上り仕様 防水層厚み平均2mm
	2　サラセーヌEZ立上り用	0.8	
	補強用クロス	—	
	3　サラセーヌEZ立上り用	1.1	
	4　サラセーヌEZ立上り用	0.7	
	5　TJトップ　または TJフッ素	0.2 0.15	

一般仕様

工法名	工　程	使用量(kg/m²)	備　考
SD-KK30T SD-KK30Tフッ素	1　サラセーヌP	0.2	歩行用平場仕様 防水層厚み平均3mm
	2　サラセーヌK	0.8	
	補強用クロス	—	
	3　サラセーヌK	1.6	
	4　サラセーヌK	1.5	
	5　サラセーヌT　または サラセーヌTフッ素	0.2 0.15	
SD-立上り20T SD-立上り20Tフッ素	1　サラセーヌP	0.2	共通立上り仕様 防水層厚み平均2mm
	2　サラセーヌ立上り用	0.8	
	補強用クロス	—	
	3　サラセーヌ立上り用	1.1	
	4　サラセーヌ立上り用	0.7	
	5　サラセーヌT　または サラセーヌTフッ素	0.2 0.15	

・「歩行用」とは不特定多数の歩行に供する場合を言います。

●プライマー（接着材）の選定

・「PJプライマー」、「サラセーヌP」は一般モルタル・コンクリート下地用です。
下地の種類に応じてプライマーを追加したり、選定し直したりする必要があります。
既存ウレタン下地の場合は「PJプライマー」を「PJ層間プライマー」または「PW-60プライマー」に、「サラセーヌP」を「P-60プライマー」に変更してください。標準使用量は0.1kg/m²です。

・下地によりプライマーの種類および塗布量は異なります。プライマーは下地調整した場合の使用量です。

●防水材の選定

・規定厚みの処置が取れれば、「サラセーヌEZ」、「サラセーヌK」は1液湿気硬化型ウレタン防水材「サラセーヌSB」に、「サラセーヌEZ立上り用」は「サラセーヌSB立上り用」、「サラセーヌSB中粘度」に、「サラセーヌ立上り用」は「サラセーヌSB立上り用」、「サラセーヌSB中粘度」、「サラセーヌGV」に変更可能です。

●保護仕上材の選定

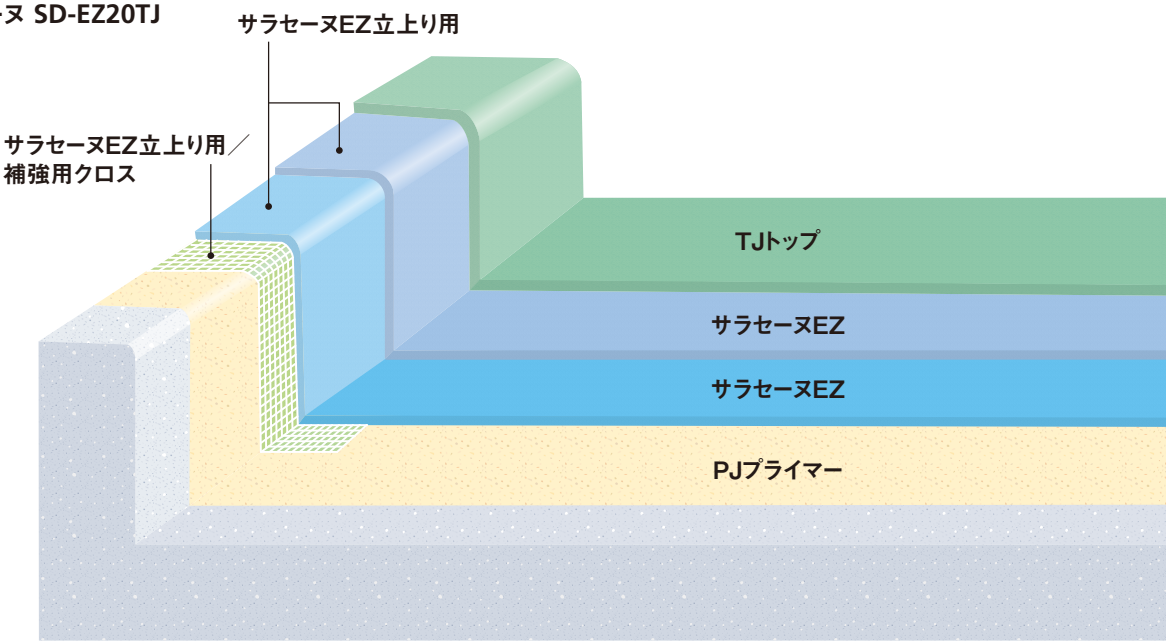
・各種保護仕上材には、臭気が少ない水性保護仕上材や遮熱性能を付与したタイプも用意しています。
・カラーバリエーション、仕上げオプション、適用など、詳細は58～62ページをご参照ください。
・品確法で定める新築住宅の場合、「フッ素樹脂系」または「アクリルシリコーン系」の保護仕上材をご採用ください。

注）・補強用クロスは、厚み確保やダレ防止が目的のため、小面積や手摺り架台など、狭くて作業性困難な場所は仕上がり不良となりやすい傾向があります。このため、規定厚み確保の処置が取れれば、補強用クロスを省略できます。また、既存ウレタン防水の改修で破断や損傷が見られない場合も補強用クロスを省略できます。

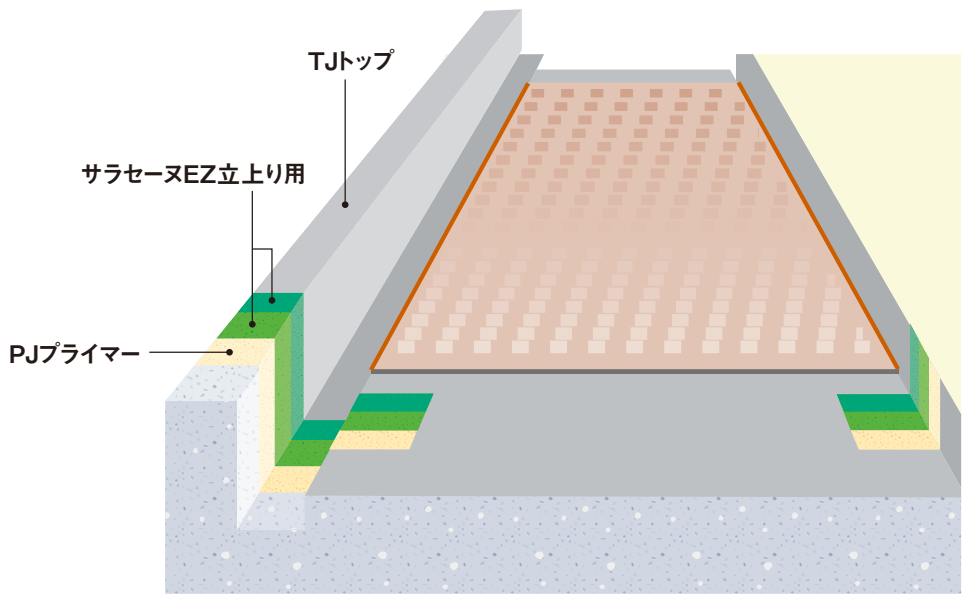
適用部位：ベランダ・開放廊下など(階下に居室がない部位)

サラセーヌ® 密着SD工法

サラセーヌ SD-EZ20TJ



サラセーヌ SDN-EZ立上り20TJ



特長

サラセーヌ上市以来、30年以上の実績を誇るスタンダードな密着工法です。

- 複雑な形状の部位にも継ぎ目のない防水層を形成します。

環境対応型 特化則非該当仕様

工法名	工　程	使用量(kg/m²)	備　考
SD-EZ20TJ SD-EZ20TJフッ素	1 PJプライマー	0.2	歩行用平場仕様 防水層厚み平均2mm
	2 サラセーヌEZ	1.5	
	3 サラセーヌEZ	1.1	
	4 TJトップ　または TJフッ素	0.2 0.15	
SD-EZ立上り20TJ SD-EZ立上り20TJフッ素	1 PJプライマー	0.2	共通立上り仕様 防水層厚み平均2mm
	2 サラセーヌEZ立上り用	0.8	
	補強用クロス	—	
	3 サラセーヌEZ立上り用	1.1	
	4 サラセーヌEZ立上り用	0.7	
	5 TJトップ　または TJフッ素	0.2 0.15	
SDN-EZ立上り20TJ SDN-EZ立上り20TJフッ素	1 PJプライマー	0.2	側溝・巾木仕様 防水層厚み平均2mm
	2 サラセーヌEZ立上り用	1.3	
	3 サラセーヌEZ立上り用	1.3	
	4 TJトップ　または TJフッ素	0.2 0.15	

一般仕様

工法名	工　程	使用量(kg/m²)	備　考
SD-KK20T SD-KK20Tフッ素	1 サラセーヌP	0.2	歩行用平場仕様 防水層厚み平均2mm
	2 サラセーヌK	1.5	
	3 サラセーヌK	1.1	
	4 サラセーヌT　または サラセーヌTフッ素	0.2 0.15	
SD-立上り20T SD-立上り20Tフッ素	1 サラセーヌP	0.2	共通立上り仕様 防水層厚み平均2mm
	2 サラセーヌ立上り用	0.8	
	補強用クロス	—	
	3 サラセーヌ立上り用	1.1	
	4 サラセーヌ立上り用	0.7	
	5 サラセーヌT　または サラセーヌTフッ素	0.2 0.15	
SDN-立上り20T SDN-立上り20Tフッ素	1 サラセーヌP	0.2	側溝・巾木仕様 防水層厚み平均2mm
	2 サラセーヌ立上り用	1.3	
	3 サラセーヌ立上り用	1.3	
	4 サラセーヌT　または サラセーヌTフッ素	0.2 0.15	

・「歩行用」とは不特定多数の歩行に供する場合を言います。

●プライマー（接着材）の選定

・「PJプライマー」、「PW-100プライマー」、「サラセーヌP」は一般モルタル・コンクリート下地用です。
下地の種類に応じてプライマーを追加したり、選定し直したりする必要があります。
既存ウレタン下地の場合は「PJプライマー」を「PJ層間プライマー」または「PW-60プライマー」に、「サラセーヌP」を「P-60プライマー」に変更してください。標準使用量は0.1kg/m²です。

・下地によりプライマーの種類および塗布量は異なります。プライマーは下地調整した場合の使用量です。

●防水材の選定

・規定厚みの処置が取れれば、「サラセーヌEZ」、「サラセーヌK」は1液湿気硬化型ウレタン防水材「サラセーヌSB」に、「サラセーヌEZ立上り用」は「サラセーヌSB立上り用」、「サラセーヌSB中粘度」に、「サラセーヌ立上り用」は「サラセーヌSB立上り用」、「サラセーヌSB中粘度」、「サラセーヌGV」に変更可能です。

●保護仕上材の選定

・各種保護仕上材には、臭気が少ない水性保護仕上材や遮熱性能を付与したタイプも用意しています。

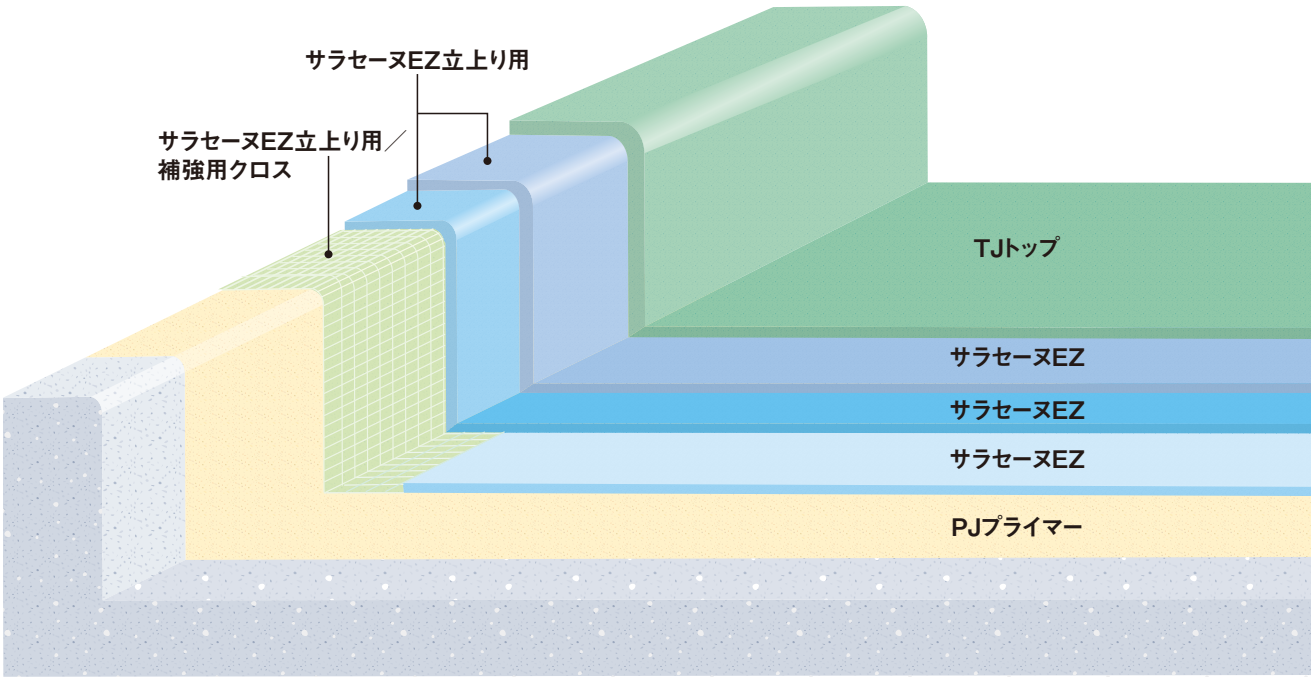
・カラーバリエーション、仕上げオプション、適用など、詳細は58～62ページをご参照ください。

注）・補強用クロスは、厚み確保やダレ防止が目的のため、小面積や手摺り架台など、狭くて作業性困難な場所は仕上がり不良となりやすい傾向があります。このため、規定厚み確保の処置が取れれば、補強用クロスを省略できます。また、既存ウレタン防水の改修で破断や損傷が見られない場合も補強用クロスを省略できます。

適用部位：スポーツ床など

サラセーヌ® スポーツ床兼用HD工法

サラセーヌ HD-EZ50TJ



特長

厚塗りウレタン防水層により、屋上にソフトで防水性に優れたカラフルなスポーツ空間を演出します。
遊戯施設や運動場などに最適です。

環境対応型 特化則非該当仕様

工法名	工　程	使用量(kg/m²)	備　考
HD-EZ50TJ HD-EZ50TJフッ素	1　PJプライマー	0.2	スポーツ床用平場仕様 防水層厚み平均5mm
	2　サラセーヌEZ	2.0	
	3　サラセーヌEZ	2.0	
	4　サラセーヌEZ	2.5	
	5　TJトップ　または TJフッ素	0.2 0.15	
HD-EZ70TJ HD-EZ70TJフッ素	1　PJプライマー	0.2	スポーツ床用平場仕様 防水層厚み平均7mm
	2　サラセーヌEZ	2.5	
	3　サラセーヌEZ	2.5	
	4　サラセーヌEZ	2.1	
	5　サラセーヌEZ	2.0	
	6　TJトップ　または TJフッ素	0.2 0.15	
SD-EZ立上り20TJ SD-EZ立上り20TJフッ素	1　PJプライマー	0.2	共通立上り仕様 防水層厚み平均2mm
	2　サラセーヌEZ立上り用	0.8	
	補強用クロス	—	
	3　サラセーヌEZ立上り用	1.1	
	4　サラセーヌEZ立上り用	0.7	
	5　TJトップ　または TJフッ素	0.2 0.15	

一般仕様

工法名	工　程	使用量(kg/m²)	備　考
HD-KK50T HD-KK50Tフッ素	1　サラセーヌP	0.2	スポーツ床用平場仕様 防水層厚み平均5mm
	2　サラセーヌK	2.0	
	3　サラセーヌK	2.0	
	4　サラセーヌK	2.5	
	5　サラセーヌT　または サラセーヌTフッ素	0.2 0.15	
HD-KK70T HD-KK70Tフッ素	1　サラセーヌP	0.2	スポーツ床用平場仕様 防水層厚み平均7mm
	2　サラセーヌK	2.5	
	3　サラセーヌK	2.5	
	4　サラセーヌK	2.1	
	5　サラセーヌK	2.0	
	6　サラセーヌT　または サラセーヌTフッ素	0.2 0.15	
SD-立上り20T SD-立上り20Tフッ素	1　サラセーヌP	0.2	共通立上り仕様 防水層厚み平均2mm
	2　サラセーヌ立上り用	0.8	
	補強用クロス	—	
	3　サラセーヌ立上り用	1.1	
	4　サラセーヌ立上り用	0.7	
	5　サラセーヌT　または サラセーヌTフッ素	0.2 0.15	

・「スポーツ床用」とは一般の人がスポーツなどの使用に供する場合を言います。

●プライマー（接着材）の選定

・「PJプライマー」、「サラセーヌP」は一般モルタル・コンクリート下地用です。
　下地の種類に応じてプライマーを追加したり、選定し直したりする必要があります。
・下地によりプライマーの種類および塗布量は異なります。プライマーは下地調整した場合の使用量です。

●防水材の選定

・規定厚みの処置が取れれば、「サラセーヌEZ」、「サラセーヌK」は1液湿気硬化型ウレタン防水材「サラセーヌSB」に、「サラセーヌEZ立上り用」は「サラセーヌSB立上り用」、「サラセーヌSB中粘度」に、「サラセーヌ立上り用」は「サラセーヌSB立上り用」、「サラセーヌSB中粘度」、「サラセーヌGV」に変更可能です。
・必要に応じて増粘剤「TKパウダー」を混合するなど粘度調節してください。

●保護仕上材の選定

・各種保護仕上材には、臭気が少ない水性保護仕上材や遮熱性能を付与したタイプも用意しています。
・カラーバリエーション、仕上げオプションなど、詳細は58～62ページをご参照ください。
・品確法で定める新築住宅の場合、「フッ素樹脂系」または「アクリルシリコーン系」の保護仕上材をご採用ください。
・防水保証については、61ページをご覧ください。

サラセーヌ® 勾配屋根用防水仕様

勾配屋根用防水材　サラセーヌGV

コンクリート下地の勾配屋根の既存防水として、瓦やシングルなど、さまざまなものが用いられています。屋根改修時に既存防水材料などを撤去、下地調整後、ウレタン塗膜防水による防水改修を行うことにより、耐風圧に優れる屋根に生まれ変わることができます。

「サラセーヌGV」は、勾配屋根の施工に適した防水材です。

- 荷　　姿：主剤6kg　硬化剤12kg
- 色(外観)：ブルーグレー
- 規　　格：JIS A 6021ウレタンゴム系塗膜防水材　高伸長形平場用



使用の目安

	下地勾配				
尺貫法勾配	2寸勾配	4寸勾配	6寸勾配	10寸勾配	15寸勾配
分数勾配	2/10勾配	4/10勾配	6/10勾配	10/10勾配	15/10勾配
角度	11.3°	21.8°	31.0°	45.0°	56.3°
	○	○	○	×	×
たれ抵抗性	GV適用可	GV適用可	GV適用可	たれ発生	たれ発生

2kg/m² 塗布時

■ 改修方法

勾配屋根にはさまざまなものがあるので、事前に既存の仕様や下地を調査の上、ご採用ください。

既存の仕様例：瓦、シングル、塗膜防水など
→ 瓦、シングルなどは撤去し、平滑に下地調整してください。

既存の下地　：コンクリート(RC)、ALCボード

ご注意　防火地域および準防火地域においては、建築基準法によって勾配30°以内、断熱材50mm以下の耐火構造下地に適用しますので、仕様選定時には注意してください。

既存シングルの場合（下地コンクリート）





既存シングルを撤去
↓
下地調整
↓
サラセーヌ GV 工法を施工

一般仕様

勾配屋根用ウレタン塗膜防水仕様

工法名	工　程	使用量(kg/m²)	備　考
AV-GV50T工法 AV-GV50Tフッ素工法	1　サラセーヌAVボンド※1 サラセーヌAVシート　または サラセーヌAVシートブルー	0.25 —	防水層厚み平均2.5mm
	2　サラセーヌAV-W	1.2	
	3　サラセーヌGV	1.3	
	4　サラセーヌGV	1.2	
	5　サラセーヌT　または サラセーヌTフッ素	0.2 0.15	
SD-GV30T工法 SD-GV30Tフッ素工法	1　サラセーヌP	0.2	防水層厚み平均3mm
	2　サラセーヌGV/ 補強用クロス	0.8 —	
	3　サラセーヌGV	1.6	
	4　サラセーヌGV	1.5	
	5　サラセーヌT　または サラセーヌTフッ素	0.2 0.15	
SD-立上り20T工法 SD-立上り20Tフッ素工法	1　サラセーヌP	0.2	共通立上り仕様 防水層厚み平均2mm
	2　サラセーヌ立上り用/ 補強用クロス	0.8 —	
	3　サラセーヌ立上り用	1.1	
	4　サラセーヌ立上り用	0.7	
	5　サラセーヌT　または サラセーヌTフッ素	0.2 0.15	

※1：粘着タイプの接着材をご希望の場合はお問い合わせください。
・防水材「サラセーヌGV」の増粘が必要な場合は、TKパウダーを使用してください。必要に応じて、立上り用防水材を使用してください。
・規定厚み確保の処置がとれれば、立上り用防水材のかわりに「サラセーヌGV」を使用できます。
・防水材「サラセーヌGV」の希釈は、「ウレタン希釈剤」または「ECO用希釈剤」を各々質量比2%以内で行ってください。

・下地により、プライマーの種類および塗布量は異なります。記載のプライマー使用量は下地処理した場合です。
・保護仕上材のカラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては、58〜62ページをご参照ください。
・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

■ サラセーヌGV その他使用例

庇・側溝・巾木仕様

工法名	工　程	使用量(kg/m²)	備　考
SD-GV20T工法	1　サラセーヌP	0.2	防水層厚み平均2.0mm
	2　サラセーヌGV	1.3	
	3　サラセーヌGV	1.3	
	4　サラセーヌT　または サラセーヌTフッ素	0.2 0.15	
SD-GV30T工法	1　サラセーヌP	0.2	防水層厚み平均3.0mm
	2　サラセーヌGV/ 補強用クロス	0.8 —	
	3　サラセーヌGV	1.5	
	4　サラセーヌGV	1.6	
	5　サラセーヌT　または サラセーヌTフッ素	0.2 0.15	

サラセーヌ®

公共建築工事標準仕様相当工法（令和4年版）

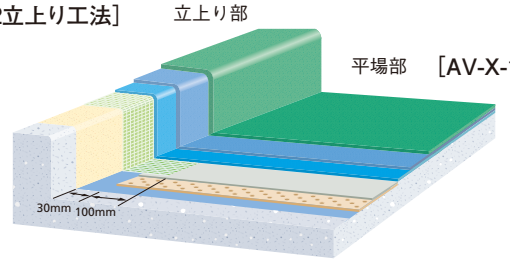
環境対応型 特化則非該当仕様

工法名	工　程	使用量(kg/m²)
X-1(絶縁工法) サラセーヌQV-X-1EZ TJトップ仕上げ サラセーヌQV-X-1EZ TJフッ素仕上げ	1　PJプライマー	0.2
	2　QVシート	1.06 m
	ジョイントテープ／サラセーヌEZ立上り用	1.06 m
	端末処理用テープMBテープ	—
	3　サラセーヌEZ	2.0
	4　サラセーヌEZ	1.9
	5　TJトップ　または TJフッ素	0.2 0.15
X-1(絶縁工法) サラセーヌAV-X-1EZ TJトップ仕上げ サラセーヌAV-X-1EZ TJフッ素仕上げ	1　サラセーヌRWボンド	0.3
	サラセーヌAVシートブルー※1	—
	スリットテープ	—
	2　サラセーヌEZ目止め	1.3※2
	3　サラセーヌEZ	1.4
	4　サラセーヌEZ	1.4
	5　TJトップ　または TJフッ素	0.2 0.15
X-2(密着工法) サラセーヌX-2EZ TJトップ仕上げ サラセーヌX-2EZ TJフッ素仕上げ	1　PJプライマー	0.2
	2　サラセーヌEZ	0.8
	補強用クロス	—
	3　サラセーヌEZ	1.5
	4　サラセーヌEZ	1.6
	5　TJトップ　または TJフッ素	0.2 0.15
X-2(密着工法／立上り仕様) サラセーヌX-2立上りEZ TJトップ仕上げ サラセーヌX-2立上りEZ TJフッ素仕上げ	1　PJプライマー	0.2
	2　サラセーヌEZ立上り用	0.8
	補強用クロス	—
	3　サラセーヌEZ立上り用	1.1
	4　サラセーヌEZ立上り用	0.7
	5　TJトップ　または TJフッ素	0.2 0.15

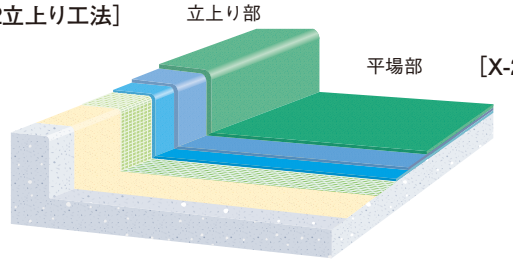
※1：サラセーヌAVシートに変更可。
※2：サラセーヌEZ目止めの塗布量は、サラセーヌAVシート使用時は1.4kg/m²となります。

■ 納まり図

[X-2立上り工法]　立上り部　平場部　[AV-X-1工法]



[X-2立上り工法]　立上り部　平場部　[X-2工法]



一般仕様

工法名	工　程	使用量(kg/m²)
X-1(絶縁工法) サラセーヌQV-X-1K T仕上げ サラセーヌQV-X-1K Tフッ素仕上げ	1　サラセーヌP	0.2
	2　QVシート	1.06 m
	ジョイントテープ／サラセーヌ立上り用	1.06 m
	端末処理用テープ MBテープ	—
	3　サラセーヌK	2.0
	4　サラセーヌK	1.9
	5　サラセーヌT　または サラセーヌTフッ素	0.2 0.15
X-1(絶縁工法) サラセーヌAV-X-1K T仕上げ サラセーヌAV-X-1K Tフッ素仕上げ	1　サラセーヌAVボンド	0.3
	サラセーヌAVシートブルー※1	—
	スリットテープ	—
	2　サラセーヌAV-W	1.3※2
	3　サラセーヌK	1.5
	4　サラセーヌK	1.4
	5　サラセーヌT　または サラセーヌTフッ素	0.2 0.15
X-2(密着工法) サラセーヌX-2K T仕上げ サラセーヌX-2K Tフッ素仕上げ	1　サラセーヌP	0.2
	2　サラセーヌK	0.8
	補強用クロス	—
	3　サラセーヌK	1.5
	4　サラセーヌK	1.6
	5　サラセーヌT　または サラセーヌTフッ素	0.2 0.15
X-2(密着工法／立上り仕様) サラセーヌX-2立上り T仕上げ サラセーヌX-2立上り Tフッ素仕上げ	1　サラセーヌP	0.2
	2　サラセーヌ立上り用	0.8
	補強用クロス	—
	3　サラセーヌ立上り用	1.1
	4　サラセーヌ立上り用	0.7
	5　サラセーヌT　または サラセーヌTフッ素	0.2 0.15

※1：サラセーヌAVシートに変更可。
※2：サラセーヌAV-Wの塗布量は、サラセーヌAVシート使用時は1.4kg/m²となります。

・この工法は、日本建築学会 建築工事標準仕様書JASS 8 防水工事(2022) ウレタンゴム系塗膜防水工法・絶縁仕様L-USSおよびウレタンゴム系塗膜防水工法・密着仕様L-UFSに準拠します。

■ 材料の選定

●プライマー(接着材)の選定
・「サラセーヌRWボンド」、「PJプライマー」、「サラセーヌAVボンド」、「サラセーヌP」は一般モルタル・コンクリート下地用です。
下地の種類に応じてプライマーを追加したり、選定し直したりする必要があります。
・下地によりプライマーの種類および塗布量は異なります。プライマーは下地調整した場合の使用量です。
●防水材の選定
・「サラセーヌEZ」、「サラセーヌK」は1液湿気硬化型ウレタン防水材「サラセーヌSB」に、「サラセーヌEZ立上り用」、「サラセーヌ立上り用」は「サラセーヌSB立上り用」に変更可能です。
・勾配が大きい(1/20～6/10勾配)屋根の場合、「サラセーヌEZ」、「サラセーヌK」は必要に応じて増粘剤「TKパウダー」を混合するなど粘度調整をしてください。
一般仕様における「サラセーヌK」は「サラセーヌGV」に変更可能です。
●保護仕上材の選定
・各種保護仕上材には、臭気が少ない水性保護仕上材や遮熱性能を付与したタイプも用意しています。
・カラーバリエーション、仕上げオプションなど、詳細は58～62ページをご参照ください。
・品確法で定める新築住宅の場合、「フッ素樹脂系」または「アクリルシリコーン系」の保護仕上材をご採用ください。
・サラセーヌ機械的固定AM工法およびサラセーヌ外断熱・機械的固定AIM工法は、通気緩衝シートの機能、防水材、保護仕上材の使用量が公共建築工事標準仕様X-1相当を満たしています。固定金具で下地に固定するので、接着剤は不要です。

■ ウレタンゴム系塗膜防水工法の種別及び工程

種別	X-1(絶縁工法)		X-2(密着工法)	
工程	材料・工法	使用量(kg/m²)	材料・工法	使用量(kg/m²)
1	接着剤塗り 通気緩衝シート張り※1	0.3	プライマー塗り	0.2
2	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	3.0※4、※5	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り 補強布張り	0.3
3	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り		ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	2.7※4、※5 (1.7)※2
4	仕上塗料塗り※6	—	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	
5	—	—	仕上塗料塗り※6	—

※1：接着剤以外による通気緩衝シートの張付け方法は、主材料の製造所の仕様による。
※2：立上り部は全て、種別X-2とし、工程3及び工程4のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量を(　)内とする。
※3：表中のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以外の場合は、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
※4：ウレタンゴム系塗膜防水材塗りは、2回以上に分割して塗り付ける。
※5：ウレタンゴム系塗膜防水材塗りの1工程当たりの使用量は、平場は2.5kg/m²、立上りは1.5kg/m²を上限とする。
※6：仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は主材料の製造所の仕様による。

■ 施工法

下地処理

- **土などの汚れ**
  軽い汚れは、ワイヤブラシなどで取り除く。
  著しい汚れは、水洗いを併用し、水洗い後は十分に乾燥する。
- **油などの汚れ**
  溶剤拭きまたはサンダーなどで取り除く。
- **打継ぎ箇所および著しいひび割れ箇所**
  U形にはつり、シーリング材を充填した上、幅100mm以上の補強用クロスを用い、補強塗りを行う。
- **ルーフドレン、配管など**
  金物に付着している錆およびモルタルは、ワイヤブラシなどで取り除く。
  取り合いはウレタンシーリング材で処理する。
  樹脂管は目荒らしを行った後、P-60プライマーまたはPW-60プライマーを塗布する。
- **入隅出隅部**
  出隅は通りよく45°の面取りとし、入隅は通りよく直角とする。
- **含水率**
  下地の含水率は10%以下を目安とする。

プライマー塗り

- プライマー塗りは、下地が十分に乾燥した後に清掃を行い、ローラー刷毛または刷毛を用いてむらなく塗布する。

自着層付き、通気緩衝シート張付け(QV工法例)

- 立上り部より50mm程度離し、しわ、浮きがないように張り付け、10kg以上掛けられる転圧ローラーで転圧する。
- QVシートの長辺ジョイント部は約75mm幅程度重ねる。短辺のジョイント部は2mm間隔をあけて貼り付ける。
- ジョイント部はQVテープを貼り付け、立上り用のウレタン防水材で目つぶし処理を行う。
- 端末処理は、MBテープ100を貼り付け転圧し、立上り用のウレタン防水材で処理する。

接着剤塗り、通気緩衝シート張付け(AV工法例)

- AVボンドまたはRWボンド0.3kg/m²塗布直後、AVシートブルーまたはAVシートを隙間なく張る。
- 張り仕舞いは、立上り部より30mm程度離し、AVシートブルー端末部の上にクロス#4000を100mm重ねて張る。
- 伸縮目地の上にAVシートブルーの突合せ部が重ならないように張る。
- AVシートブルー張付け後、均一に転圧する。
- AVシートブルー突合せ部は、スリットテープ(AVスリット)で横3m間隔、縦中間に1箇所貼り付ける。

脱気装置取り付け

- SRステンレスベントは25～100m²に1箇所の割合で、SRパラベントは10mに1箇所の目安で取り付ける。

防水材塗り

- 平場部は平場用防水材を、立上り部は立上り用防水材を用いて、ゴムベラまたは金ごてで規定量を均一に塗布する。
- 防水材の撹拌は、硬化剤を撹拌した後、主剤、硬化剤の順に配合比通り撹拌容器に移し、低速撹拌機で約3分間撹拌する。
- 防水材の塗り継ぎの重ね幅は100mm以上とし、補強用クロスの重ね幅は50mm以上とする。

仕上塗料塗り

- 保護仕上材の主剤、硬化剤を配合比通り撹拌容器に移し、撹拌機でよく撹拌する。
- ローラー刷毛または刷毛を用いて0.2kg/m²均一に塗布する。

■ メンテナンス

- アクリルウレタン系保護仕上材は5年ごとに塗り替えてください。ただし、海岸地域、工業地域などの環境条件の厳しい地域では、より短期間での塗り替えとなります。
- フッ素樹脂系保護仕上材は「10年間メンテナンスフリー」です。詳しくは、18～21ページをご覧ください。
- 歩行により保護仕上材の摩耗が激しい箇所は、標準塗り替え間隔にかかわらず、塗り直しをおすすめします。

■ ウレタンゴム系高伸長形塗膜防水工法の種別及び工程

種別	X-1(絶縁工法)		X-2(密着工法)	
工程	材料・工法	使用量(kg/m²)	材料・工法	使用量(kg/m²)
1	接着剤塗り 通気緩衝シート張り※1	0.3	プライマー塗り	0.2
2	ウレタンゴム系高伸長形塗膜防水材塗り	3.0※5、※6	ウレタンゴム系高伸長形塗膜防水材塗り 補強布張り	0.3
3	ウレタンゴム系高伸長形塗膜防水材塗り		ウレタンゴム系高伸長形塗膜防水材塗り	2.7※5、※6 (1.7)※3
4	仕上塗料塗り※7	—	ウレタンゴム系高伸長形塗膜防水材塗り	
5	—	—	仕上塗料塗り※7	—

※1：接着剤以外による通気緩衝シートの張付け方法は、主材料の製造所の仕様による。
※2：L4X工法で既存防水層の表面に層間接着用プライマーを塗布した場合は、工程1を省略する。
※3：立上り部は全て、種別X-2とし、工程3及び工程4のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量を(　)内とする。
※4：表中のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以外の場合は、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
※5：ウレタンゴム系塗膜防水材塗りは、2回以上に分割して塗り付ける。
※6：ウレタンゴム系塗膜防水材塗りの1工程当たりの使用量は、平場は2.5kg/m²、立上りは1.5kg/m²を上限とする。
※7：仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は主材料の製造所の仕様による。

■ 防水改修工法の種類

改修工法 表3.1.1※1	既存防水工法	既存保護層及び防水層の撤去・非撤去	新規防水工法の種別
P0X工法	P：保護アスファルト防水工法	0：保護層及び防水層非撤去	X：ウレタンゴム系塗膜防水工法、X-1工法
L4X工法	L：ウレタンゴム系塗膜防水工法	4：露出防水層非撤去	X：ウレタンゴム系塗膜防水工法、X-2工法※2

※1：　工法名の区分
○○○
- 新規防水工法の種別による区分
- 既存保護層及び防水層の撤去・非撤去による区分
- 既存防水工法による区分

※2：L4X工法で既存防水層の表面に層間接着用プライマーを塗布した場合は、X-2工法の工程1を省略する。

■ 既存防水層の処理施工法

既存保護層の撤去
・保護コンクリート、れんが、モルタル笠木などの撤去は、ハンドブレーカー（質量15kg以下）などを使用し、取合い部の仕上げおよび構造体などに影響を及ぼさないように行う。
・平場の既存保護層を残し、改修用ドレンを設けない場合は、ルーフドレン端部から500mm程度まで保護コンクリートなどの既存保護層を四角形に撤去する。(※1)

既存防水層の撤去
・※1にて既存保護層を撤去した後のルーフドレン周囲は、既存下地に損傷を与えないように、ルーフドレン端部から300mm程度まで、既存防水層を四角形に撤去する。
・既存ウレタン塗膜防水のルーフドレン周囲の既存防水層は、ルーフドレン端部から300mm程度まで、既存防水層を四角形に撤去する。

ルーフドレン回りの処理
・既存の防水層および保護層の撤去端部は、既存の防水層や保護層を含め、ポリマーセメントモルタルで、勾配1/2程度に仕上げる。

既存防水層の処理
・既存防水層の表面は、ゴミなどの異物を取り除き、水洗いを行う。
・既存ウレタン塗膜防水層の仕上げ塗装の除去は、デッキブラシなどで水洗いを行う。
・既存防水層の破断、穴あき箇所の浮き部分およびふくれ部分は、切開し、ポリマーセメントモルタルで平滑に補修する。既存防水層の劣化によるチョーキング部は、デッキブラシなどで水洗いを行う。
・損傷箇所などを補修し、乾燥後、層間接着用プライマーを塗布する。

既存保護層の処理
・既存下地に付着している異物はケレンし、全面をデッキブラシなどで清掃を行う。
・コンクリート面などのひび割れ部は、ポリマーセメントモルタルなどで補修する。
・既存下地の欠損部および脆弱部の処理は、ポリマーセメントモルタルで平滑に補修する。支障のある浮き部は撤去し、ポリマーセメントモルタルで補修する。脆弱部は、ケレンなどの上、ポリマーセメントペーストなどで補修する。
・既存目地周囲の欠損部は、ポリマーセメントモルタルを充填するなどし、平たんに補修する。部分的に水はけ不良がある場合の処理は、ポリマーセメントモルタルで補修する。
・立上り部などの既存保護層および防水層撤去後の既存下地の処理は、下地に付着している防水層残存物を清掃し、コンクリート面などのひび割れ部は、ポリマーセメントモルタルで補修する。ひび割れ幅が2mm以上の場合は、Uカットの上、ポリウレタン系シーリング材などを充填する。
・出隅は通りよく45°の面取りとし、入隅は通りよく直角とする。

下地処理
・ルーフドレン回り、配管回りおよび和風便器と防水層の取り合いは、ウレタンシーリング材で処理し、ルーフドレン、配管などの取合いは、幅100mm以上の補強布を用いて補強塗りを行う。
・コンクリートの打ち継ぎ箇所および著しいひび割れ箇所は、幅100mm以上の補強布を用いて補強塗りを行う。

製品情報

防水材ラインナップ

	環境対応型　特化則非該当防水材				
製品名	サラセーヌEZ 	サラセーヌ EZ立上り用 	サラセーヌ EZ目止め 	サラセーヌ SB 	サラセーヌ SB立上り用 
特長	平場用 レベリングタイプ	立上り用 ノンサグタイプ	目止め用 ノンサグタイプ	平場用 レベリングタイプ	立上り用 ノンサグタイプ
荷姿（金属缶）	24kgセット ［主剤8kg 硬化剤16kg］ 18kgセット ［主剤6kg 硬化剤12kg］	24kgセット ［主剤8kg 硬化剤16kg］	24kgセット ［主剤8kg 硬化剤16kg］	16kg 9kg （受注生産）	5kg
配合比（質量比）	主剤1：硬化剤2	主剤1：硬化剤2	主剤1：硬化剤2	1液	1液
混合粘度 （mPa・s ／ 20℃）	6,500	パテ状	パテ状	5,000	パテ状
可使時間（分／ 20℃）	100	85	80	—	—
初期硬化時間 （時間／ 20℃）	24	24	24	24	24
硬化物比重	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
カラー	ブルーグレー	ブルーグレー	ブルーグレー	ブルーグレー	ブルーグレー

・この色見本は印刷のため実際の色と多少異なる場合があります。予めご了承ください。
・同一色でも防水材の種類やロットによって多少色調が異なります。予めご了承ください。
・納期はご確認ください。

がついている製品は、シックハウス症候群対策として、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの4VOCを含まない環境対応材料です。（副資材は対象となりません）
がついている製品は、特化則非該当製品です。（副資材は対象となりません）

	環境対応型	一般型防水材			
サラセーヌ SB中粘度	サラセーヌGV	サラセーヌK	サラセーヌ 立上り用	サラセーヌ AV-W	製品名
中粘度タイプ	勾配屋根用 厚塗りタイプ	平場用 レベリングタイプ	立上り用 ノンサグタイプ	目止め用 ノンサグタイプ	特長
9kg	18kgセット [主剤6kg 硬化剤12kg]	24kgセット [主剤8kg 硬化剤16kg] 18kgセット [主剤6kg 硬化剤12kg]	24kgセット [主剤8kg 硬化剤16kg]	24kgセット [主剤8kg 硬化剤16kg]	荷姿（金属缶）
1液	主剤1：硬化剤2	主剤1：硬化剤2	主剤1：硬化剤2	主剤1：硬化剤2	配合比（質量比）
35,000	55,000	8,000	パテ状	パテ状	混合粘度 （mPa・s／20℃）
—	60	80	130	100	可使時間（分／20℃）
24	24	24	24	24	初期硬化時間 （時間／20℃）
1.3	1.3	1.3	1.3	1.4	硬化物比重
ブルーグレー	ブルーグレー	ライトグレー	ライトグレー	（グレー系）	カラー

【オプション】
・上記の各防水材に対して、低温時には硬化促進剤をご使用ください。（「ウレタン硬化促進剤EX」（69ページ）、「ウレタン硬化促進剤」（70ページ）、「1液防水材専用硬化促進剤」（70ページ）参照）
・上記の各防水材に対して、「ウレタン希釈剤」または「ECO用希釈剤」（69ページを参照）を適量混合することで、粘度調整が可能です。
・上記の各防水材に対して、「TKパウダー」（71ページを参照）を適量混合することで、粘度調整が可能です。

上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

製品情報

JIS A 6021（屋根用塗膜防水材）による試験結果

項目＼種類			ウレタンゴム系高伸長形規格	＜平場用＞					＜立上がり用＞			＜共用＞	
				EZ	GV	K	SB	SB中粘度	EZ立上り用	立上り用	SB立上り用	EZ目止め	AV-W
引張性能	引張強さ N/mm²	試験時温度 23℃	2.3以上	4.0	4.2	3.6	5.9	6.3	4.5	5.0	8.4	4.3	7.5
		試験時温度 −20℃	2.3以上	9.3	6.9	8.3	13	14	9.0	11	16	8.4	16
		試験時温度 60℃	1.4以上	4.0	2.7	2.5	2.7	2.6	2.7	3.4	5.0	2.8	5.7
	破断時の伸び率 %	試験時温度 23℃	450以上	750	648	690	690	680	720	700	500	770	720
	抗張積 N/mm	試験時温度 23℃	280以上	600	550	497	810	860	650	700	840	660	1,080
	破断時のつかみ間の伸び率 %	試験時温度 23℃	300以上	540	635	465	480	470	690	419	450	740	556
		試験時温度 −20℃	250以上	470	541	471	440	430	570	475	390	590	541
		試験時温度 60℃	200以上	440	406	322	390	400	570	335	350	620	445
引裂性能	引裂強さ N/mm		14以上	16	16	16	21	22	16	17	23	16	21
加熱伸縮性能	伸縮率 %		−4.0以上1.0以下	−0.2	−0.3	−0.3	−0.2	0.0	−0.1	−0.4	−0.2	−0.3	−0.4
劣化処理後の引張性能	引張強さ比 %	加熱処理	80以上	121	85	100	91	98	109	84	87	106	100
		促進暴露処理	60以上	122	74	111	88	110	105	84	89	109	92
		アルカリ処理	60以上	111	77	107	102	128	105	98	96	101	110
		酸処理	80以上	103	89	100	102	114	103	101	96	99	114
	破断時の伸び率 %	加熱処理	400以上	590	728	810	670	610	710	770	490	720	823
		促進暴露処理	400以上	650	650	773	650	660	710	670	490	760	740
		アルカリ処理	400以上	630	648	713	680	690	710	703	500	750	747
		酸処理	400以上	610	638	717	700	660	700	720	480	730	753
伸び時の劣化性状		加熱処理	いずれの試験片にもひび割れ及び著しい変形があってはならない。	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
		促進暴露処理		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
		オゾン処理		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
たれ抵抗性能（平場用は除く）		たれ長さ mm	いずれの試験体も3.0以下。	—	−	−	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		しわの発生	いずれの試験体にもあってはならない。	—	−	−	—	—	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
硬化物比重			表示値±0.1	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.4

上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

■ 施工上の注意

・硬化剤は主剤と混合する前に、十分に撹拌して均一にしてください。
・防水材の希釈は規定量を守ってください。
・低温施工時には専用の硬化促進剤をご使用ください。
・底の丸い容器を用いて主剤、硬化剤の順に入れて、電動撹拌機で上下に隅々まで撹拌してください。小分けする場合は秤を使用し、配合を守って調合してください。
・混ぜたものは速やかに施工面に塗布してください。
・塗布間隔を守ってください。防水材の塗布後、次工程まで3日以上間隔が開いたり、雨に打たれた場合は層間プライマーを塗布してください。＊温度によって塗布間隔は変わります。

環境対応型 特化則非該当(無配合)1液湿気硬化型ウレタン防水材 [高物性タイプ]

サラセーヌSB
サラセーヌSB立上り用
サラセーヌSB中粘度

・JIS高伸長形ウレタン防水材でありながら、JIS高強度形の抗張積規格値の700N/mm以上を満たした高物性タイプのウレタン防水材です。

JIS A 6021（建築用塗膜防水材）による試験結果

項目＼種類	サラセーヌ SB	サラセーヌ SB中粘度	サラセーヌ SB立上り用
抗張積　N/mm（23℃）	810	860	840

・サラセーヌSB：JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形平場用認証製品
・サラセーヌSB立上り用：JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形立上がり用認証製品
・サラセーヌSB中粘度：JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形平場用認証製品
・色：ブルーグレー
・硬化物比重：サラセーヌSB　1.3
　　サラセーヌSB立上り用　1.3
　　サラセーヌSB中粘度　1.3
・荷姿：サラセーヌSB　16kg、9kg（受注生産）
　　サラセーヌSB立上り用　5kg
　　サラセーヌSB中粘度　9kg
　　1液防水材専用硬化促進剤　450ml×9本/箱

＊希釈剤の希釈量は質量比で5%を上限としてご使用ください。＊発砲ベラなどで平滑にしてください。
＊低温施工時は、質量比で1.5%を上限として、1液防水材専用硬化促進剤をご使用ください。
＊施工時に色浮きが生じる場合がありますが、品質には問題ありません。


サラセーヌSB
（16kg）


サラセーヌSB立上り用
（5kg）


サラセーヌSB中粘度
（9kg）



サラセーヌSBの詳細については、左記のカタログをご参照ください。

「サラセーヌSB」は、環境対応型特化則非該当（特定化学物質 無配合）の1液ウレタン防水材です。

製品情報

保護仕上材ラインナップ

		環境対応型(弱溶剤) 保護仕上材					
製品名		TJフッ素 	TJフッ素サーモ 	TSトップ 	TSトップ半艶 	TSサーモ 	TJトップ 
特長	材質	フッ素樹脂系	フッ素樹脂系	アクリル シリコーン系	アクリル シリコーン系	アクリル シリコーン系	アクリル ウレタン系
	遮熱型	—	○	—	—	○	—
適用防水材(代表例)		サラセーヌEZ・K・SB	サラセーヌEZ・K・SB	サラセーヌEZ・K・SB	サラセーヌEZ・K・SB	サラセーヌEZ・K・SB	サラセーヌEZ・K・SB
標準色		グレー ライトグレー グリーン シルバーグレー オイスター オオド パールグレー ベージュ ライトグリーン ダークグリーン	遮熱ライトグレー 遮熱ベージュ 遮熱ライトグリーン	グレー ライトグレー グリーン シルバーグレー オイスター オオド パールグレー ベージュ ライトグリーン ダークグリーン	グレー ライトグレー グリーン シルバーグレー オイスター オオド パールグレー ベージュ ライトグリーン ダークグリーン	遮熱ライトグレー 遮熱ベージュ 遮熱ライトグリーン	グレー ライトグレー グリーン シルバーグレー オイスター オオド パールグレー ベージュ ライトグリーン ダークグリーン
仕上げ	標準	艶あり	艶あり	艶あり	艶消し	艶あり	艶あり
	オプション粗面※1	※1	※1	※1	※1	※1	※1
	オプション艶消し※2	×	×	×	標準が艶消し	×	×
荷姿(金属缶)		8kgセット [主剤2kg 硬化剤6kg]	8kgセット [主剤2kg 硬化剤6kg]	15kgセット [主剤6kg 硬化剤9kg]	15kgセット [主剤6kg 硬化剤9kg]	15kgセット [主剤6kg 硬化剤9kg]	15kgセット [主剤6kg 硬化剤9kg]
配合比(質量比)		主剤1：硬化剤3	主剤1：硬化剤3	主剤2：硬化剤3	主剤2：硬化剤3	主剤2：硬化剤3	主剤2：硬化剤3
標準塗布量(kg/m²)		0.15～0.2	0.15～0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
混合粘度(mPa・s／20℃)		130	130	100	180	100	100
可使時間(時間／20℃)		3	3	3	3	3	3
初期硬化時間(時間／20℃)		3	3	3	3	3	3
60度鏡面光沢度		78	78	85	43	85	85

・この色見本は印刷のため実際の色と多少異なる場合があります。予めご了承ください。
・同一色でも保護仕上材の種類によって多少色調が異なります。予めご了承ください。
・上記以外の色はご相談ください。ただし、遮熱色は特注色の対応ができません。
・特注色は日塗工色見本帳の色標番号でご注文ください。

・特注色の色によっては、調色できない場合や隠ぺい性が低い場合もありますので、予めご了承ください。

・特注色の納期はご確認ください。

がついている製品は、シックハウス症候群対策として、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの4VOCを含まない環境対応材料です。(副資材は対象となりません)
がついている製品は、特化則非該当製品です。(副資材は対象となりません)

上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

		環境対応型(水性) 保護仕上材			
TJトップ半艶	TJサーモ	サラセーヌTフッ素水性	サラセーヌTフッ素水性サーモ	TWトップ	TWサーモ
					
アクリル ウレタン系	アクリル ウレタン系	フッ素樹脂系	フッ素樹脂系	アクリル ウレタン系	アクリル ウレタン系
—	○	—	○	—	○
サラセーヌEZ・K・SB	サラセーヌEZ・K・SB	サラセーヌEZ・K・SB	サラセーヌEZ・K・SB	サラセーヌEZ・K・SB	サラセーヌEZ・K・SB
グレー ライトグレー グリーン シルバーグレー オイスター オオド パールグレー ベージュ ライトグリーン ダークグリーン	遮熱 ライトグレー 遮熱 ベージュ 遮熱 ライトグリーン	グレー ライトグレー グリーン	遮熱 ライトグレー 遮熱 ベージュ 遮熱 ライトグリーン	グレー ライトグレー グリーン シルバーグレー オイスター オオド パールグレー ベージュ ライトグリーン ダークグリーン	遮熱 ライトグレー 遮熱 ベージュ 遮熱 ライトグリーン
艶消し	艶あり	艶あり	艶あり	艶あり	艶あり
※1	※1	※1	※1	※1	※1
標準が艶消し	×	※2	※2	※2	※2
15kgセット [主剤6kg 硬化剤9kg]	15kgセット [主剤6kg 硬化剤9kg]	11kgセット [主剤1kg 硬化剤10kg]	11kgセット [主剤1kg 硬化剤10kg]	11kgセット [主剤1kg 硬化剤10kg]	11kgセット [主剤1kg 硬化剤10kg]
主剤2：硬化剤3	主剤2：硬化剤3	主剤1：硬化剤10	主剤1：硬化剤10	主剤1：硬化剤10	主剤1：硬化剤10
0.2	0.2	0.2 (2回塗り)	0.2 (2回塗り)	0.2 (2回塗り)	0.2 (2回塗り)
180	100	300	300	360	360
3	3	4	4	3	3
3	3	4	4	2	2
43	85	63	63	72	72

【オプション】
※1：質量比で2%の「チップ#20」を添加することで粗面仕上げが可能です。詳細は71ページをご参照ください。
※2：質量比で5%の「TKパウダー」を添加することで艶消し仕上げが可能です。詳細は71ページをご参照ください。

上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

製品情報

保護仕上材ラインナップ

		一般型保護仕上材				
製品名		サラセーヌTフッ素※ 	サラセーヌTフッ素サーモ※ 	サラセーヌT 	サラセーヌT半艶 	サラセーヌTサーモ 
特長	材質	フッ素樹脂系	フッ素樹脂系	アクリル ウレタン系	アクリル ウレタン系	アクリル ウレタン系
	遮熱型	—	○	—	—	○
適用防水材(代表例)		サラセーヌK	サラセーヌK	サラセーヌK・SB	サラセーヌK・SB	サラセーヌK・SB
標準色		グレー ライトグレー グリーン シルバーグレー オイスター オオド パールグレー ベージュ ライトグリーン ダークグリーン	遮熱ライトグレー 遮熱ベージュ 遮熱ライトグリーン	グレー ライトグレー グリーン シルバーグレー オイスター オオド パールグレー ベージュ ライトグリーン ダークグリーン	グレー ライトグレー グリーン シルバーグレー オイスター オオド パールグレー ベージュ ライトグリーン ダークグリーン	遮熱ライトグレー 遮熱ベージュ 遮熱ライトグリーン
仕上げ	標準	艶あり	艶あり	艶あり	艶消し	艶あり
	オプション粗面※1	※1	※1	※1	※1	※1
	オプション艶消し※2	×	×	×(サラセーヌT半艶をご採用ください)	標準が艶消し	×
荷姿(金属缶)		8kgセット [主剤2kg 硬化剤6kg]	8kgセット [主剤2kg 硬化剤6kg]	15kgセット [主剤6kg 硬化剤9kg] 5kgセット [主剤2kg 硬化剤3kg]	15kgセット [主剤6kg 硬化剤9kg]	15kgセット [主剤6kg 硬化剤9kg]
配合比(質量比)		主剤1：硬化剤3	主剤1：硬化剤3	主剤2：硬化剤3	主剤2：硬化剤3	主剤2：硬化剤3
標準塗布量(kg/m^2)		0.15～0.2	0.15～0.2	0.2	0.2	0.2
混合粘度(mPa・s／20℃)		100	120	120	250	120
可使時間(時間／20℃)		3	3	2	2	2
初期硬化時間(時間／20℃)		12	12	3	3	3
60度鏡面光沢度		75	73	88	35	88

・この色見本は印刷のため実際の色と多少異なる場合があります。予めご了承ください。
・同一色でも保護仕上材の種類によって多少色調が異なります。予めご了承ください。
・上記以外の色はご相談ください。ただし、遮熱色は特注色の対応ができません。
・特注色は日塗工色見本帳の色標番号でご注文ください。
・特注色の色によっては、調色できない場合や隠ぺい性が低い場合もありますので、予めご了承ください。
・特注色の納期はご確認ください。
※「サラセーヌTフッ素」および「サラセーヌTフッ素サーモ」は、「サラセーヌEZ」および「サラセーヌSB」の上には使用できません。

【オプション】
※1：質量比で2%の「チップ#20」を添加することで粗面仕上げが可能です。
※2：質量比で5%の「TKパウダー」を添加することで艶消し仕上げが可能です。

上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

仕上げオプション

〔工法名表示の例〕

T仕上げの「SD-KK30T」をTフッ素仕上げに変更する場合、工法名は表示記号「T」を「Tフッ素」に変え、「SD-KK30Tフッ素」となります。

製品名	TJ フッ素	TJ フッ素 サーモ	TS トップ	TS トップ 半艶	TS サーモ	TJ トップ	TJ トップ 半艶	TJ サーモ	Tフッ素 水性	Tフッ素 水性 サーモ	TW トップ	TW サーモ	T フッ素	Tフッ素 サーモ	T	T 半艶	T サーモ
表示記号	TJ フッ素	TJ フッ素 サーモ	TS	TS トップ 半艶	TS サーモ	TJ	TJ トップ 半艶	TJ サーモ	Tフッ素 W	Tフッ素 W サーモ	TW	TW サーモ	T フッ素	Tフッ素 サーモ	T	T 半艶	T サーモ
「10年間 メンテナンスフリー」 対応	対応	対応	対応	対応	対応				対応	対応			対応	対応			
通気緩衝AV工法	◎	○	○	○	○	◎	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	○
通気緩衝QV工法	◎	○	○	○	○	◎	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	○
密着SD工法	◎	○	○	○	○	◎	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	○
機械的固定 AM工法	◎	○	○	○	○	◎	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	○
外断熱・ 機械的固定 AIM工法	×	◎	×	×	○	×	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	×	◎
スポーツ床兼用 HD工法	◎※1	○※1	○※1	○※1	○※1	◎	◎	○	◎※1	○※1	◎	○	◎※1	○※1	◎	○	○

※1：適用可としますが、「10年間メンテナンスフリー」の適用を除外します。

◎：標準　○：適用可　×：適用不可

〔工法名表示の例〕

AV-KK50Tで保護仕上材に溶剤型アクリルウレタン系「T」を使用した場合、仕上げ方法に応じて工法名は以下のようになります。

平滑仕上げ（T塗布）
工法名：AV-KK50T

艶消し仕上げ（T半艶塗布）
工法名：AV-KK50T半艶

粗面仕上げ（Tにチップ#20添加）
工法名：AV-KK50T・NS

※各保護仕上材の艶消し仕上げ方法や粗面仕上げ方法は、71ページを参照してください。

保護仕上材のメンテナンス

・海岸地域、工業地帯などの環境条件の厳しい地域では、短期間での塗り替えとなります。使用頻度や歩行状況により、保護仕上材が著しく摩耗や損傷した場合には、その都度の塗り替えをおすすめします。
・スポーツ床兼用HD工法およびスポーツ用途など、使用頻度が激しい場合は、「10年間メンテナンスフリー」の適用を除外します。使用頻度や歩行状況により、保護仕上材が著しく摩耗や損傷し、耐久性、防滑性、安全性に支障をきたす恐れが生じた場合は、その都度塗り替え、再施工してください。

製品情報

施工上の注意

●硬化剤は主剤と混合する前に、十分に撹拌して均一にしてください。
●保護仕上材は無希釈でご使用ください。水性のTWトップ（TWサーモ）やサラセーヌTフッ素水性（サラセーヌTフッ素水性サーモ）は水希釈すると色調が変化し、色ムラを起こします。
●保護仕上材は水性用ローラーや短毛ローラーなどを使用して、ローラー刷毛についた材料を液だまりができないよう丁寧に縦横十字に、均一に塗布してください。
●水性のTWトップやサラセーヌTフッ素水性は吹付厳禁です。

カラーバリエーション

標準色	日塗工色見本帳・色標番号
グレー	N-45近似色
ライトグレー	N-55近似色
グリーン	37-50L近似色
シルバーグレー	N-70近似色
オイスター	15-70D近似色
オオド	17-60H近似色
パールグレー	19-70B近似色

標準色	日塗工色見本帳・色標番号
ベージュ	22-70H近似色
ライトグリーン	37-50H近似色
ダークグリーン	39-40H近似色
遮熱ライトグレー	N-70近似色
遮熱ベージュ	22-70C近似色
遮熱ライトグリーン	39-70H近似色

・この色見本は印刷のため実際の色と多少異なる場合があります。予めご了承ください。
・同一色でも保護仕上材の種類によって多少色調が異なります。予めご了承ください。
・上記以外の色はご相談ください。ただし、遮熱色は特注色の対応ができません。
・特注色は日塗工色見本帳の色標番号でご注文ください。
・特注色の色によっては、調色できない場合や隠ぺい性が低い場合もありますので、予めご了承ください。
・特注色の納期はご確認ください。

硬化性

初期硬化時間の目安

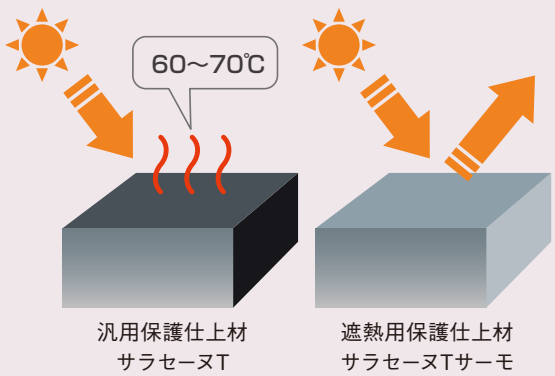
項目 / 品名	初期硬化時間		
	30℃	20℃	5℃
TJフッ素 / TJフッ素サーモ	2時間	3時間	8時間
TSトップ / TSトップ半艶 / TSサーモ	2時間	3時間	8時間
TJトップ / TJトップ半艶 / TJサーモ	2時間	3時間	8時間
Tフッ素水性 / Tフッ素水性サーモ	2時間	3時間	12時間
TWトップ / TWサーモ	2時間	3時間	12時間
Tフッ素 / Tフッ素サーモ	9時間	12時間	21時間
T / T半艶 / Tサーモ	2時間	3時間	7時間

初期硬化時間は目安であり、現場環境により変化する場合があります。

サラセーヌ遮熱用保護仕上材(高反射率)

- 色：遮熱ライトグレー、遮熱ベージュ、遮熱ライトグリーン
- 標準塗布量：
  サラセーヌTサーモ／TJサーモ：0.2kg/m^2
  サラセーヌTフッ素サーモ／TJフッ素サーモ：0.15～0.2kg/m^2
  TWサーモ／サラセーヌTフッ素水性サーモ：0.2kg/m^2(2回塗り)
  TSサーモ：0.2kg/m^2

遮熱性能（代表例：サラセーヌ T サーモ）

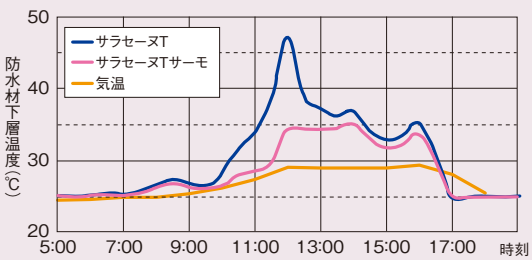


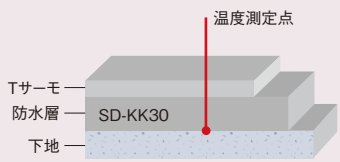
- 「サラセーヌTサーモ」は、ウレタン系塗膜防水専用の保護仕上材で、遮熱効果を有しております。
- 直射日光による屋上表面のウレタン塗膜防水層の蓄熱原因となる赤外線を反射することにより、塗膜表面温度上昇を最大5℃～15℃抑制します。(当社汎用保護仕上材と比較)。

※汚染物質が堆積すると遮熱効果が低下しますので、清掃などによる日常のメンテナンスをおすすめいたします。

自社遮熱性試験（屋外試験）

・下地表面温度グラフ



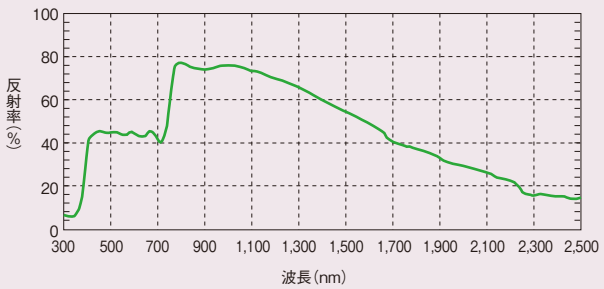


測　定　日:平成17年8月8日
測定場所:埼玉県久喜市
工　　法:一般密着SD工法3mm厚
下　　地:スレート板

日射反射率（JIS K 5602-2008）

・サラセーヌTサーモの分光反射率測定結果

品名	日射反射率(%)			試験面の色
	全波長領域 300～2,500nm	可視光領域 300～780nm	近赤外領域 780～2,500nm	
サラセーヌTサーモ 遮熱ライトグレー (N-7)	52.4	43.9	63.6	N6.8



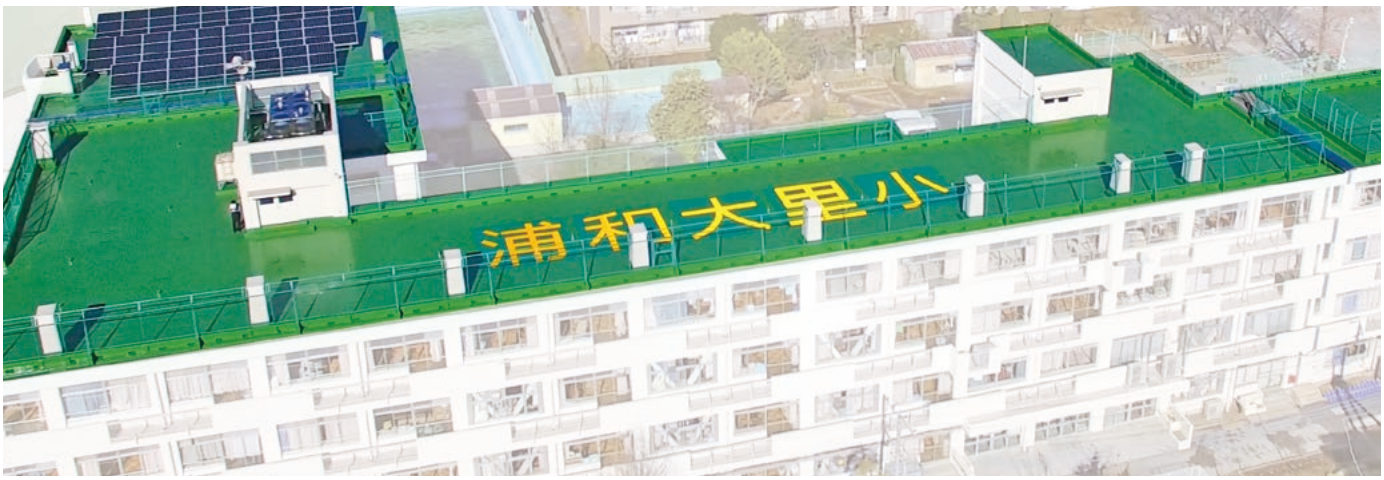
平成21年9月18日　(財)日本塗料検査協会にて測定

上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

サラセーヌ® ウィルサイン®

ヘリサインは、飛行機のヘリコプターが現在地と目的地を判別する上で目印となるものです。災害時や緊急時に活躍するドクターヘリやレスキューヘリ、救援物資などを搬送するヘリコプターにとって、ヘリサインは迅速な救護活動の助けとなります。

現在、公共施設である学校、役所、関連施設をはじめ、病院、高層ビルなどの屋上に、施設名称を表示するヘリサインの設置が進められ、ウィルサインも多くの実績があります。



広角反射性能

広範囲の光をしっかりキャッチ！

一般的なフィルムは、光源に対して正面、すなわちヘリコプターがヘリサインの真上近くにいる時にライトの光が入射する5°～30°の領域において、輝度係数が高くなるように作られています。しかし、ヘリコプターが遠方から近づいてくる際にライトの光が入射する20°～70°の領域においては、反射性能が低下しがちで、ヘリサインとしての役割が十分とは言えません。

ウィルサインは、ヘリサインとしての使用目的をしっかりと考慮したうえで、20°～70°の広角領域においても反射性能が高くなるように設定しています。(従来の反射性能：5°～30°、ウィルサインの反射性能：5°～70°)



◀サラセーヌウィルサイン施工後動画
施工した小学校屋上現場を鳥目線
でご覧ください。

再帰性反射フィルム

ウィルサインフィルム

再帰性反射フィルムは透明性・耐久性に優れた樹脂中に高屈折率微小ガラスビーズを封入した反射シートです。表面に光を当てると、ガラスビーズがレンズの役割をし、光源方向と平行に光を反射します。下写真のような視認性を発揮します。

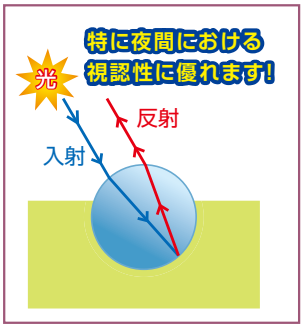
夜間の視認性

ライト照射なし



ライト照射あり





施工手順

ウィルサインは2日で施工が完了!

フィルム施工は模式図に従い、墨出しを行い、事前にカットされたフィルムのシールを剥がして貼り付けます。乾燥時間が長く、何度も塗り重ねる必要がある塗装と比べて、施工日数を大幅に短縮できます。

模式図





①ウィルサイン用ベース（グリーン）を塗布



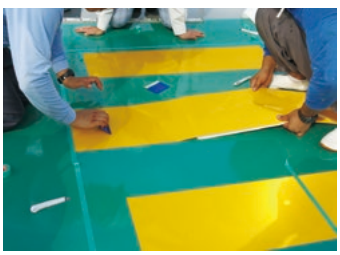
②墨出し



③仮止め



④下地の突起をペーパーなどで除去



⑤貼り付け



⑥ウィルサイン用クリアコートを塗布



⑦完成

サラセーヌ防水材改修と同時に施工



サラセーヌウィルサインシリーズの詳細については、左記のカタログをご参照ください。

「サラセーヌウィルサインシリーズ」は、再帰性反射フィルムによる広角で強力な反射性能により、入射角が浅くても安定した反射性能を得られるため、夜間の視認性も極めて良好です。
ウィルサインのフィルムはコンピューターで設計し、機械によるパーツ加工を行うため、デザイン性に優れます。また、カットしたシートを貼り付ける工法のため、塗装と比べ、大幅に施工日数を削減することが可能です。

製品情報

プライマーラインナップ

		環境対応型(弱溶剤) プライマー		環境対応型(水性) プライマー			
製品名		PJプライマー	PJ層間プライマー	PW-100プライマー	PW-60プライマー	PW-700プライマー	PW-500プライマー
							
用途		一般モルタル・コンクリート用	塗り重ね用・層間プライマー	一般モルタル・コンクリート用	塗り重ね用・層間プライマー	金属下地用	異種部材用(ゴムシート下地用) 一般モルタル・コンクリート用
材質		ウレタン系	ウレタン系	エポキシ系	ウレタン系	エポキシ系	エポキシ系
荷姿		16kg缶	5kg缶	12kgセット 主剤3kg 硬化剤3kg フィラー6kg	11kgセット 主剤0.5kg×2 硬化剤5kg×2	15kgセット 主剤10kg 硬化剤5kg	15kgセット 主剤12kg 硬化剤3kg
配合比(質量比)		1液	1液	主剤1：硬化剤1：フィラー2	主剤1：硬化剤10	主剤2：硬化剤1	主剤4：硬化剤1
標準塗布量(kg/m^2)		0.2～0.3	0.1～0.15	0.2～0.3	0.1～0.15	0.1～0.2	0.15～0.2
混合粘度(mPa・s／25℃)		35	10	400	—	29	2,000
可使時間(時間／20℃)		—	—	3	3	6	3
初期硬化時間(時間／20℃)		4～5	4～5	4～5	2～3	2～3	4～5
下地への適合性※1	一般モルタル・コンクリート	◎	×	◎	×	×	◎
	金属下地(鋼板)	×	×	×	×	○	○
	金属下地(アルミ)	×	×	×	×	○	○
	金属下地(ステンレス)	×	×	×	×	○	○
	錆面	×	×	×	×	×	×
	ウレタン防水材	×	◎	×	◎	×	×
	塩ビ	×	×	×	○	×	×
	FRP	×	×	×	○	×	×
	エポキシ	×	×	◎	×	×	×
	ゴム	×	×	×	×	×	◎
QVシート施工面の適用		◎	○	×	○	×	◎

※1：下地への適合性　◎：標準　○：適応可　×：適応不可

・表の下地への適合性は目安です。条件によっては必ずしも適用できない場合がありますので、事前に接着試験などを行って確認してください。

がついている製品は、シックハウス症候群対策として、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの4VOCを含まない環境対応材料です。(副資材は対象となりません)

がついている製品は、特化則非該当製品です。(副資材は対象となりません)

上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

一般型プライマー						
サンPC-FV	サラセーヌP	PMプライマー	P-60プライマー	サンPC-U2	PE-670プライマー	製品名
		 ♥	 ♥			
異種部材用（塩ビシート・FRP下地用）	一般モルタル・コンクリート用	一般モルタル・コンクリート用	塗り重ね用・層間プライマー	一般モルタル・コンクリート用、金属下地用	金属下地用錆止め	用途
ウレタン系	ウレタン系	ウレタン系	ウレタン系	エポキシ変性ウレタン系	エポキシ系	材質
17kg缶	16kg缶	16kg缶	5kg缶	18kgセット［主剤9kg 硬化剤9kg］	10kgセット［主剤8kg 硬化剤2kg］	荷姿
10kgセット［1kg缶×10］	8kg缶					
1液	1液	1液	1液	主剤1：硬化剤1	主剤4：硬化剤1	配合比（質量比）
0.1～0.15	0.15～0.3	0.15～0.3	0.1～0.15	鋼板：0.1～0.15 コンクリート：0.2	0.15～0.3	標準塗布量（kg/m^2）
—	30	40	3	80	2,500	混合粘度（mPa・s／25℃）
—	—	—	—	8	9	可使時間（時間／20℃）
2～3	2～4	1～2	1	3～4	4～5	初期硬化時間（時間／20℃）
×	◎	○	×	◎	○	一般モルタル・コンクリート（下地への適合性※1）
×	×	×	×	◎	◎	金属下地（鋼板）
×	×	×	×	◎	◎	金属下地（アルミ）
×	×	×	×	◎	◎	金属下地（ステンレス）
×	×	×	×	×	◎（3種ケレン）	錆面
×	×	×	◎	×	×	ウレタン防水材
◎	×	×	○	×	×	塩ビ
◎	×	×	○	×	×	FRP
×	×	×	×	×	×	エポキシ
×	×	×	×	×	×	ゴム
○	◎	○	○	○	×	QVシート施工面の適用

上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

施工上の注意

・下地は十分に清掃・乾燥させてください。鉄板の錆や油分は除去してください。
・プライマーは液だまりができないよう、均一に塗布してください。
・プライマーの吸い込みが激しいモルタル部分は、表層が濡れ色になるまで塗布してください。
・防水材の塗布後、次工程まで3日以上間隔が開いたり、雨に打たれた場合は層間プライマーを塗布してください。
　＊温度によって塗布間隔は変わります。
・プライマーの塗布後、次工程までの間隔が開いたり雨に打たれた場合、プライマーを再塗布してください。塗布間隔(20℃) および再塗布するプライマーは以下の通りです。

製品名	PJ プライマー	PJ層間 プライマー	PW-100 プライマー	PW-60 プライマー	PW-500 プライマー	PW-700 プライマー	サンPC-FV	サラセーヌP	PM プライマー	P-60 プライマー	サンPC-U2	PE-670 プライマー
プライマーの再塗布間隔(20℃)	3日以上(72時間)	3日以上(72時間)	7日以上(168時間)	1日以上(24時間)	7日以上(168時間)	7日以上(168時間)	1日以上(24時間)	3日以上(72時間)	2日以上(48時間)	1日以上(24時間)	3日以上(72時間)	7日以上(168時間)
再塗布するプライマー	PJ層間プライマー	PJ層間プライマー	PW-100プライマー	PW-60プライマー	PW-500プライマー	PW-700プライマー	サンPC-FV	P-60プライマー	P-60プライマー	P-60プライマー	サンPC-U2	PE-670プライマー

PE-670プライマーの接着強度 (N/25mm)	
鋼板	113
亜鉛メッキ鋼板	105
ブリキ	157
アルミ	139
ステンレス	174

プライマーの接着強度 (N/25mm)	P-60 プライマー	PW-60 プライマー
ウレタン防水材	71	70
軟質塩ビ	85	56
FRP	90	73

・接着強度：180度はく離強度(JIS K 6854準拠)
　接着強度の目安として、50N/25mm以上で十分に接着していると考えます。(社内基準)

硬化性

項目 / 品名	硬化時間の目安			
	5℃	10℃	20℃	30℃
PJプライマー	7時間	6時間	4.5時間	3時間
PJ層間プライマー	7時間	6時間	4時間	3時間
PW-100プライマー	10時間	8.5時間	4.5時間	3時間
PW-60プライマー	3時間	2.5時間	2時間	1時間
PW-500プライマー	10時間	8時間	4.5時間	3時間
PW-700プライマー	4時間	3.5時間	3時間	2時間

項目 / 品名	硬化時間の目安			
	5℃	10℃	20℃	30℃
サラセーヌP	6時間	5時間	3.5時間	2時間
PMプライマー	3時間	2.5時間	2時間	1時間
P-60プライマー	3時間	2.5時間	2時間	1時間
サンPC-FV	6時間	5時間	3時間	2時間
PE-670プライマー	10時間	8.5時間	4.5時間	3時間
サンPC-U2	10時間	8時間	4時間	3時間

上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

希釈剤

ECO用希釈剤



ウレタン防水材の希釈・洗浄剤、低臭タイプ。

- 希釈量は質量比で5%を限度とします。立上り用防水材はダレやすいので2%を目安に使用してください。
- 荷姿：16L

ウレタン希釈剤



ウレタン防水材の希釈・洗浄剤

- 希釈量は質量比で5%を限度とします。立上り用防水材はダレやすいので2%を目安に使用してください。
- 市販の「ウレタンシンナー」の中には硬化を阻害する成分が含まれているものがありますので、使用は避けてください。
- 荷姿：16L

防水材の希釈率

製品名	使用希釈剤	希釈率(質量比)
サラセーヌEZ	ECO用希釈剤	最大5%
サラセーヌEZ立上り用	ECO用希釈剤	最大2%
サラセーヌEZ目止め	原則無希釈	
サラセーヌGV	ECO用希釈剤※1	最大2%
サラセーヌK	ウレタン希釈剤	最大5%
サラセーヌ立上り用	ウレタン希釈剤	最大2%
サラセーヌAV-W	原則無希釈	
サラセーヌSB	ECO用希釈剤※1	最大5%
サラセーヌSB立上り用	ECO用希釈剤※1	最大2%
サラセーヌSB中粘度	ECO用希釈剤※1	最大5%※2

※1：一般仕様の場合は「ウレタン希釈剤」の使用も可。
※2：側溝・巾木用途は最大2%まで。

ウレタン防水材用硬化促進剤

ウレタン硬化促進剤EX

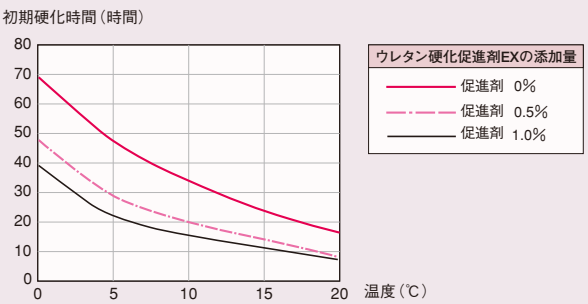
環境対応型特化則非該当ウレタン防水材の硬化促進剤

- 添加量は質量比で3%を限度とします。それ以上添加しても物性が低下するだけで、硬化を促進させません。
- プライマーや保護仕上材、一般防水材、SBシリーズには使用できません。
- 荷姿：4kg

ウレタン硬化促進剤EX添加量の目安

製品名	主剤／硬化剤(kg)	添加量の目安(防水材混合物に対し)		
		0.5%	1.0%	3.0%
サラセーヌEZ	8／16	120g	240g	720g
	6／12	90g	180g	540g
サラセーヌEZ立上り用	8／16	120g	240g	720g
サラセーヌEZ目止め	8／16	120g	240g	720g

防水材の硬化性



上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

ウレタン硬化促進剤

ウレタン防水材の硬化促進剤

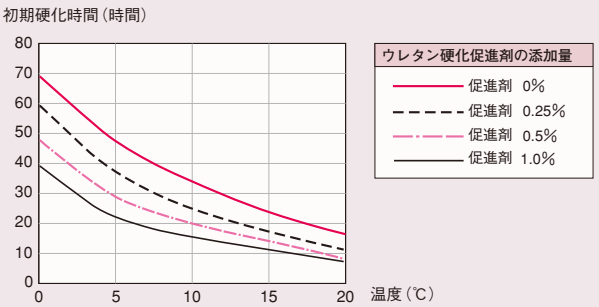


- 添加量は質量比で1%を限度とします。それ以上添加しても物性が低下するだけで、硬化を促進させません。
- プライマーや保護仕上材、AZシリーズ、EQシリーズ、SBシリーズには使用できません。
- 荷姿：4kg

硬化促進剤添加量の目安

製品名	主剤／硬化剤（kg）	添加量の目安（防水材混合物に対し）		
		0.25%	0.5%	1.0%
サラセーヌK	8／16	60g	120g	240g
	6／12	45g	90g	180g
サラセーヌ立上り用	8／16	60g	120g	240g
サラセーヌAV-W	8／16	60g	120g	240g
サラセーヌGV	6／12	45g	90g	180g

防水材の硬化性



1液防水材専用硬化促進剤

1液防水材専用の硬化促進剤



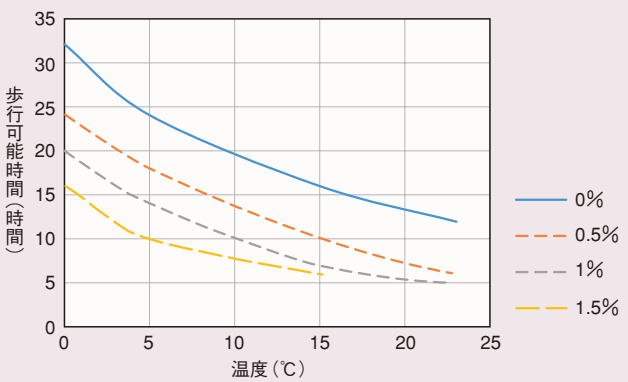
- 適用製品　サラセーヌSB、サラセーヌSB立上り用、サラセーヌSB中粘度
  プライマーや保護仕上材、1液防水材以外の防水材には使用できません。
- 添加量　サラセーヌSB 16kg（1缶）に対して最大1/2本225ml（約1.5%）です。
  それ以上添加しても物性が低下するだけで、硬化を促進させません。
- 荷姿　450ml×9本/缶

1 液防水材専用硬化促進剤 添加量の目安（防水材：サラセーヌ SB）

温度（℃）	23				15				5			0	
添加量（%）	0	0.5	1	1.5	0	0.5	1	1.5	0.5	1	1.5	1	1.5
可使時間（分）*	—	50	15	×作業不可	—	50	20	15	60	20	15	25	15
塗布後18時間後の歩行の可否	○	○	○	—	×	○	○	○	×	○	○	×	○
試験時の湿度（%RH）	50				50				50			50	

・上記データは、1液防水材専用硬化促進剤を使用した場合の可使時間、硬化時間の目安です。
　硬化促進剤の使用量は、下図をご参照ください。
・添加量は、翌日（18時間後）、防水材あるいは保護仕上材の塗り重ねが可能な量とします。
* 希釈剤を使用しない場合。希釈剤の使用により、可使時間は延長します。（希釈量上限5%）

サラセーヌSBに対する1液防水材専用硬化促進剤添加量の目安



・上記データは室内試験による硬化時間の目安であり、保証値ではありません。
　塗布量や現場環境（特に空気中の湿気）により変化する場合があります。
　特に低温時、湿度が低い場合は、乾燥・硬化が遅くなります。
・10℃以下の場合は、1液防水材専用硬化促進剤を使用することを推奨します。
・1液防水材専用硬化促進剤を添加した場合は、直ちに撹拌し、撹拌後速やかに塗布してください。
・撹拌は手撹拌で可能ですが、2～3分間十分に撹拌してください。撹拌が不十分な場合、ブツ・ダマが発生することがあります。
・1液防水材は湿気硬化型のため表面から硬化します。一度に多量の施工を行なわないでください。
　（塗布量上限2.0kg/m^2：約1.5mm）
・1液防水材専用硬化促進剤と希釈剤は併用できますが、希釈量は5%を厳守してください。
　多量の溶剤希釈は硬化遅延や硬化不良の原因となります。
　残液状態の1液防水材専用硬化促進剤はまれに再開封が困難になることがあります。手で開かない場合、ペンチやレンチで開けてください。

上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

ウレタン防水材用増粘剤 兼 水性保護仕上材用の艶消し剤

TKパウダー

ウレタン防水材用の増粘剤。水性保護仕上材用の艶消し剤。

- 無機質粉体
- 防水材の増粘剤としての添加量は、防水材に対して質量比で5〜15%とします。
- 水性保護仕上材の艶消し剤として、保護仕上材に対して、質量比で5%とします。
- 荷姿：5kg



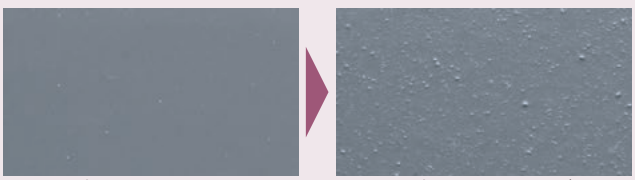
防水材の増粘用途

製品名	添加量の目安
サラセーヌEZ	5 〜 15%
サラセーヌEZ立上り用	5%
サラセーヌK	5 〜 15%
サラセーヌ立上り用	5%
サラセーヌSB	5 〜 15%
サラセーヌSB立上り用	5%
サラセーヌSB中粘度	5 〜 10%
サラセーヌGV	5%

水性保護仕上材の艶消し用途

製品名	添加量の目安
TWトップ、TWサーモ	5%
サラセーヌTフッ素水性、 サラセーヌTフッ素水性サーモ	5%
その他の保護仕上材	不可

TKパウダー添加



TWトップ　　TWトップ　艶消し仕上げ

チップ

チップ#20

粗面仕上げ用無機系バルーン

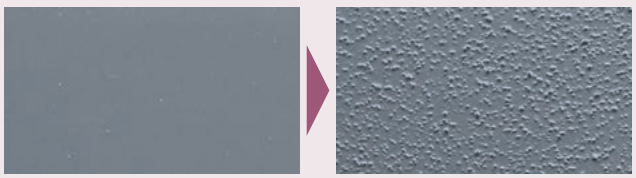
- 添加量は保護仕上材に対して、質量比で2%とします。
- 荷姿：1.2kg(0.3kg×4袋入り)/箱



注意事項

① チップを過剰に混入すると分布が不均一となり、仕上がりムラとなります。
② チップを混入した保護仕上材を放置するとチップが分離するので、容器の中でよくかき混ぜながら塗布してください。
③ 淡色系の色目の場合、チップが透けて黒い斑点状になることがあります。
④ 水濡れ厳禁

チップ＃20添加



サラセーヌT　平滑仕上げ　　サラセーヌT　粗面仕上げ

添加量

製品名	添加量
TJフッ素(8kgセット)	160g (約1/2袋)
TJフッ素サーモ(8kgセット)	160g (約1/2袋)
TSトップ／TSトップ半艶(15kgセット)	300g (1袋)
TSサーモ(15kgセット)	300g (1袋)
TJトップ／TJトップ半艶(15kgセット)	300g (1袋)
TJサーモ(15kgセット)	300g (1袋)
サラセーヌTフッ素水性(11kgセット)	220g (約2/3袋)
サラセーヌTフッ素水性サーモ(11kgセット)	220g (約2/3袋)
TWトップ(11kgセット)	220g (約2/3袋)
TWサーモ(11kgセット)	220g (約2/3袋)
サラセーヌTフッ素(8kgセット)	160g (約1/2袋)
サラセーヌTフッ素サーモ(8kgセット)	160g (約1/2袋)
サラセーヌT (15kgセット) (5kgセット)	300g (1袋) 100g (約1/3袋)
サラセーヌT半艶(15kgセット)	300g (1袋)
サラセーヌTサーモ(15kgセット)	300g (1袋)

製品情報

補強用クロス

サラセーヌクロス＃ 2000

防水材補強用クロス。平場用および立上り部用。

- ガラス繊維織布
- 荷姿：(幅1m×長さ100m)×1巻/紙包装

注意事項
水濡れ厳禁

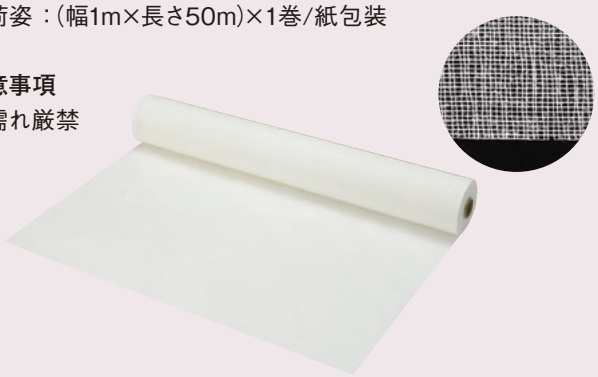


サラセーヌクロス＃ 4000

防水材補強用クロス。平場用および立上り部用。

- ポリエステル繊維織布
- ソフトタイプのため、複雑な形状の箇所でもなじみ易く、取り扱いが容易です。
- 荷姿：(幅1m×長さ50m)×1巻/紙包装

注意事項
水濡れ厳禁



サラセーヌクロス＃ 4100

防水材補強用クロス。クラック・出入隅など。

- ポリエステル繊維織布
- ソフトタイプのため、複雑な形状の箇所でも取り扱いが容易です。
- 荷姿：(幅100mm×長さ50m)×10巻/箱

注意事項
水濡れ厳禁



サラセーヌクロス＃ 4200

防水材補強用クロス。AV シート端末部処理など。

- ポリエステル繊維織布
- ソフトタイプのため、複雑な形状の箇所でも取り扱いが容易です。
- 荷姿：(幅200mm×長さ50m)×5巻/箱

注意事項
水濡れ厳禁

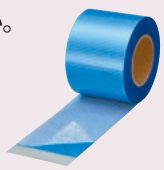


クロステープ＃ 100

自着層付防水材補強用クロス。クラック・出入隅など。

- ガラス繊維織布
- 離型フィルム付なので、貼り付けが簡単です。プライマー塗布乾燥後、貼り付けてください。
- 荷姿：(幅100mm×長さ50m)×4巻/箱

注意事項
水濡れ厳禁
プライマーが完全に硬化後に貼り付けてください。

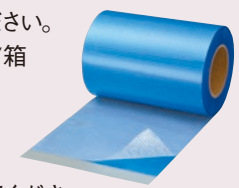


クロステープ＃ 200

自着層付防水材補強用クロス。AVシート端末部処理など。

- ガラス繊維織布
- 離型フィルム付なので、貼り付けが簡単です。プライマー塗布乾燥後、貼り付けてください。
- 荷姿：(幅200mm×長さ50m)×2巻/箱

注意事項
水濡れ厳禁
プライマーが完全に硬化後に貼り付けてください。

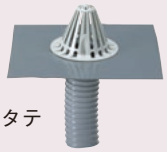


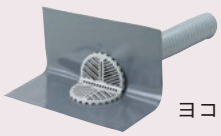
ドレン

Uドレン　タテ／ヨコ

改修用成型ドレン。縦引き用および横引き用。

- 鍔部の弾性マットが上塗り防水材と直接接着し、連続・一体化した防水層を形成します。
- 既存ドレンに合わせて取り付けられ（かぶせ方式）、貼り仕舞い端部の処理は不要です。
- 荷姿：2個/箱（ストレーナーキャップ付き）


タテ


ヨコ

寸法

	タテ75	タテ100	ヨコ75	ヨコ100
適　用	75mmφ 縦引き用	100mmφ 縦引き用	75mmφ 横引き用	100mmφ 横引き用
マットサイズ	350×350mm	350×350mm	410×410mm	410×410mm
パイプ 外径	64mmφ	85mmφ	64mmφ	85mmφ
パイプ 内径	57mmφ	75mmφ	57mmφ	75mmφ
パイプ長さ	250mm	250mm	800mm	800mm
マット厚み	2mm	2mm	2mm	2mm

使用方法

① 専用接着材Uマットボンドで貼り付けてください。
② 既存ドレンの開口部周囲にウレタンシーリング材を充填してください。

注意事項

① 既存ドレンの錆は除去してください。
② 既存ドレンの凹箇所は、樹脂モルタルなどで平滑に調整してください。
＊ドレンの基準排出量が満たされない場合は、ドレンの増設もしくはオーバーフローパイプの設置などの処置を講じてください。
＊納まり図参照

Uマットボンド

エポキシ変成ウレタン樹脂系接着材。Uドレン用。

- 荷姿：5kg（クシベラ付き）
- 粘度：パテ状



使用方法

① 付属のクシベラで塗布してください。標準塗布量は0.3～0.4kg/m²。
② 表面が乾燥し、指触で糸引き現象が起きた時点で貼り付けてください。オープンタイムは約20～40分（気温により異なります）。
③ 転圧ローラーで十分に圧着してください。

注意事項

＊必ず事前にプライマーを塗布してください。

架台マット

架台マットU

自着層付き弾性マット。架台の下敷き用。

- 防水材塗布に先立ち、成型マットを架台下に敷き込むことにより、スピーディな施工が可能となります。弾性マットが上塗り防水材と直接接着し、連続・一体化した防水層を形成します。
- 荷姿：架台マットU-10（厚み1mm×幅500mm×長さ10m）×1巻/箱
  架台マットU-20（厚み2mm×幅490mm×長さ10m）×1巻/箱


U-10

使用方法

① 屋上、ルーフバルコニーの場合には、U-20（上）とU-10（下）を2枚重ねて使用してください。厚み3mm。
② ベランダの場合にはU-10を二枚重ねて使用してください。厚み2mm。
③ 防水材の塗りしろにするため、周囲に段差ができるように2枚を貼り付けてください。
④ 保護仕上材を事前にマットに塗布してください。
＊納まり図参照


U-20

製品情報

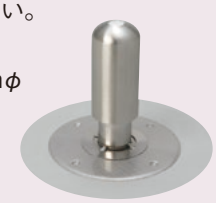
脱気装置

SR ステンレスベント 逆流防止弁付き

SUS304 ステンレス平場用脱気筒。逆流防止弁付き。

- 台座表面を処理しているため、プライマーなしで密着しやすくなっています。
- 付属の補強クロスを使用することにより、台座端部の防水層厚みが確保されます。
- 50～100m^{2}に1箇所取り付けてください。
- 荷姿：2個/箱
- 寸法：高さ：200mm 筒部径：50mmφ 台座径：200mmφ
- 付属補強用クロス寸法：300mmφ

＊納まり図は下図参照。



サラセーヌ SUS304 脱気筒

SUS304 ステンレス平場用脱気筒

- 台座表面は、金属下地用プライマー「PE-670プライマー」などで処理してください。
- 付属の補強用クロスを使用することにより、台座端部の防水層厚みが確保されます。
- 50～100m^{2}に1箇所取り付けてください。
- 荷姿：2個/箱
- 寸法：高さ：200mm 筒部径：34mmφ 台座径：150mmφ
- 付属補強用クロス寸法：300mmφガラス繊維クロス

＊納まり図は下図参照。



SR パラベント 逆流防止弁付き

SUS304 ステンレス立上り用脱気盤。逆流防止弁付き。

- 台座表面を処理しているため、プライマーなしで密着しやすくなっています。
- 遮水層付き脱気用ポリエステル不織布テープ付き(通気帯)。
- 10mに1箇所を目安として立上り部に取り付けてください。
- 荷姿：10個/箱
- 寸法：高さ100mm、幅130mm
- 通気帯寸法：幅50mm×500mm

＊納まり図は下図参照。



サラセーヌ立上り用脱気盤

SUS304 ステンレス立上り用脱気盤

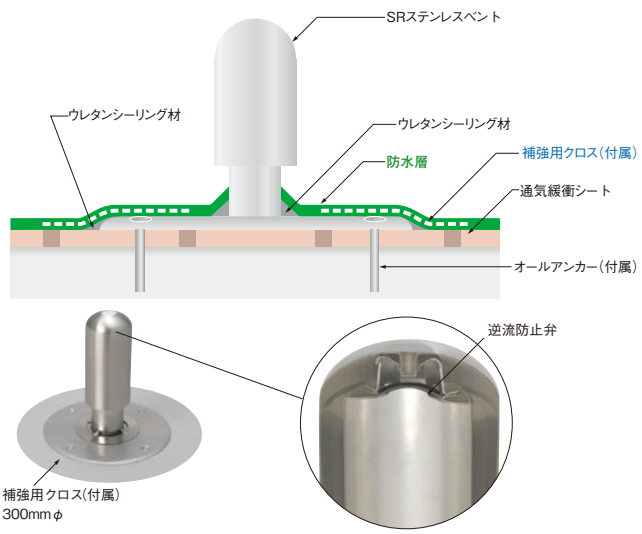
- 遮水層付き脱気用ポリエステル不織布テープ付き(通気帯)。
- 台座表面は、金属下地用プライマー「PE-670プライマー」などで処理してください。
- 10mに1箇所を目安として立上り部に取り付けてください。
- 荷姿：5枚/箱
- 寸法：幅130mmφ
- 通気帯寸法：幅50mm×500mm

＊納まり図は下図参照。

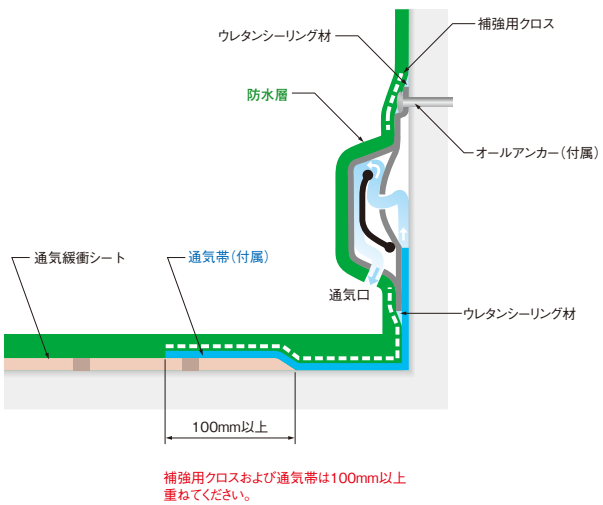


納まり図 (AVシート、AVシートブルーの場合)

脱気筒納まり図(例 SRステンレスベント)



立上り用脱気盤納まり図(例 SRパラベント)



補強用クロスおよび通気帯は100mm以上重ねてください。

・脱気筒は、歩行頻度が激しい場所や豪雪地帯では、別途破損対策を検討してください。

水切りテープ

AG水切りテープ

パラペットアゴ用水切りテープ

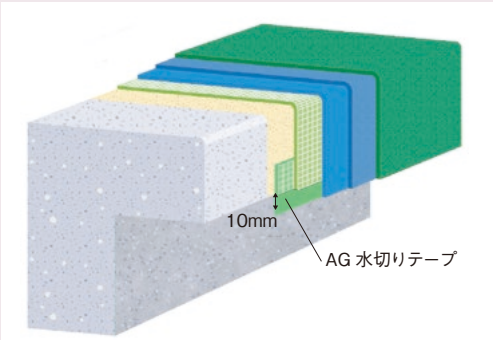
- ガラス繊維織布／ポリエステルフィルム
- 荷姿：(幅50mm×長さ50m)×4巻／箱



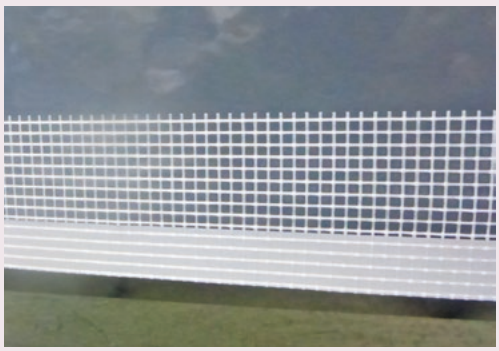
使用方法

① プライマーが完全に乾燥後、パラペット側面にポリエステルフィルム側を下に10mm程度下に出るように貼り付けてください。
② AG水切りテープが隠れるように全体に防水層を施工してください。

施工例



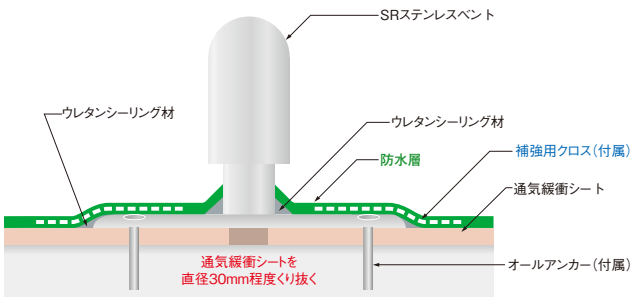
AG水切りテープを貼り付け後、ウレタン防水材を直接塗布することで防水層と一体化でき、雨水の浸入から防水層の端末を保護します。



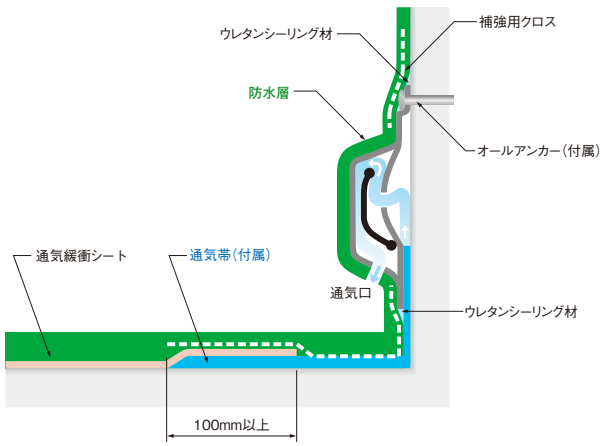
プライマーが硬化した後、AG水切りテープをパラペット下に10mm程度出るように貼り付けます。

(QVシート、Mシートの場合)

脱気筒納まり図(例 SRステンレスベント)



立上り用脱気盤納まり図(例 SRパラベント)



補強用クロスおよび通気帯は100mm以上
重ねてください。

製品情報

施工用具類

サラセーヌハンドレーキ

ウレタン防水材塗布用レーキ

特長
①ハンドレーキを使用することで、下地の不陸に準じた均一な塗膜を形成できます。
②立ち姿で作業ができ、誰にでも簡単に施工できます。
③施工性が向上します。
④使用しない時はコンパクトに収納できます。
⑤ハンドレーキの歯は溶剤に強いポリプロピレン製です。
● 荷姿：レーキ柄、替歯（1.0・1.5・2.0mm用計3枚）/箱
● 寸法：
レーキ柄：1,050～1,770mm（3段階）
重　　量：1.5kg


セット内容


使用時

サラセーヌレーキ替歯

ハンドレーキ用替歯。ポリプロピレン製。

● 荷姿：5枚/箱
● 寸法：

塗布厚み	1.0mm用	1.5mm用	2.0mm用
幅	600mm	600mm	600mm

＊塗布厚みは目安です。

ベビーリム®

簡易型超速硬化ウレタンスプレーシステム

使用用途

① 防水層の部分補修
② ベランダ、側溝・巾木などの小規模防水改修
③ ドレン／役物周りの防水処理
④ 各種基礎の防水処理(設備架台、手摺りなど)

システム概要

- ベビーリムカートリッジ　BR-100
  荷姿：600cc×10セット/箱
- スマートガン　SG-06型
- エアコンプレッサー
  推奨コンプレッサー　吐出し空気量　135L/min(1.25kW)以上



スマートガン SG-06 型



ベビーリムカートリッジ BR-100

製品情報

通気緩衝シート

サラセーヌAVシート

通気緩衝シート。有孔ポリエステル不織布。

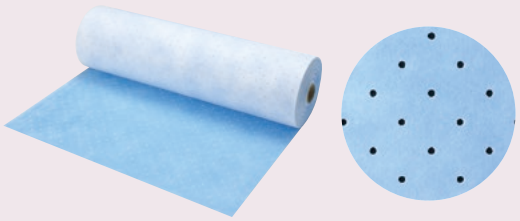
- 荷姿：(幅1m×長さ20m)×1巻／ビニール包装
- 厚み：2.7mm、重量：7kg
- 脱気筒を取り付ける場合は、50～100m²に1箇所の割合で取り付けてください。



サラセーヌAVシートブルー

通気緩衝シート。有孔ポリエステル不織布。

- 荷姿：(幅1m×長さ40m)×1巻／ビニール包装
- 厚み：1.8mm、重量：8.5kg
- 脱気筒を取り付ける場合は、50～100m²に1箇所の割合で取り付けてください。



性状・物性

	AVシート	AVシートブルー
シート重量(g/m²)	340	200
厚み(mm)	2.7	1.8
孔径(mm)	10	6
引張強度(N/5cm)	縦 440　横 370	縦 400　横 340
伸び率(%)	縦 65　横 60	縦 50　横 50
引裂強度(N)	縦 140　横 140	縦 110　横 130
加熱寸法変化率(%)	縦 0　横 0	縦 −0.1　横 −0.1
通気量(ml/min)	1,000	800

注意事項

① 着色面を上にして張り付けてください。
② 1日のシート張り付けは、シートの目止めを全面に塗布できるまでの範囲としてください。
③ シート張りを途中で終わる場合は端末にガムテープなどを貼り付け、テープ上を立上り用防水材などでシゴキ塗りし、雨水の浸入を防いでください。
④ 厚手のAVシートは下地の不陸を緩衝します。下地の表面状態により、AVシートとAVシートブルーを使い分けてください。
⑤ 水濡れ厳禁
⑥ 縦積み厳禁

上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

AV シート張付け用接着材

サラセーヌRWボンド

環境対応型AVシート張付け用接着材

- 色：乳白色
- 標準塗布量：0.25～0.3kg/m^2
- 荷姿：15kg（主剤10kg／硬化剤5kg）入りポリペール

注意事項

液だまりのないように塗布し、塗布後10分以内にAVシートを張り付けてください。
＊張り付け後、AVシートは十分に転圧してください。

性状・物性

材質	水性エポキシ系
配合比（質量比）	2：1
混合粘度（mPa・s／20℃）	1,100
可使時間（時間／20℃）	5



サラセーヌAVボンド

AVシート張付け用接着材

- 色：グレー系
- 標準塗布量：0.25kg/m^2
- 荷姿：主剤8kg／硬化剤8kg

注意事項

液だまりのないように塗布し、塗布後20分以内にAVシートを張り付けてください。
＊張り付け後、AVシートは十分に転圧してください。

性状・物性

材質	ウレタン系
配合比（質量比）	1：1
混合粘度（mPa・s／20℃）	150
可使時間（分／20℃）	70



テープ類

スリットテープ（サラセーヌAVスリット）

AVシート突合せ部処理用自着層付きポリエステル不織布／ポリエチレンフィルムテープ

- AVシート突合せ部処理用。100mm間隔に切れ目があるので、切る手間が省けます。
- 横3m間隔、縦中間に1箇所ずつ点貼りしてください。
- 荷姿：（幅50mm×長さ100m）×1巻/箱

注意事項

水濡れ厳禁



上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

自着層付き通気緩衝シート

QV シート

無孔通気緩衝シート

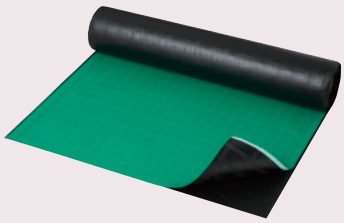
- 改質アスファルト／ポリエステルフィルム
- 脱気筒を取り付ける場合は、50～100m²に1箇所の割合で取り付けてください。脱気筒下は直径30mm程度切り抜いてください。
- 荷姿：(幅1.04m×長さ15m)×1巻
- シートの表層をテープ補強した商品が含まれる場合がありますが、品質に問題ありません。

注意事項

① 水濡れ厳禁
② 横積み厳禁

性状・物性

シート重量（g/m²）	1,180
シート厚み（mm）	粘着箇所：1.4　通気箇所：1.0
引張強さ（N/cm）	縦：218　横：183
伸び率（%）	縦：4.0　横：4.0
引裂強さ（N）	縦：42　横：49
通気量（ml/min）	600





長辺部のシートジョイントは、黄色線側を下にして、赤線側を黄色線に合わせて重ねてください。
短辺部のシートジョイントは、2mm程度離してください。

テープ類

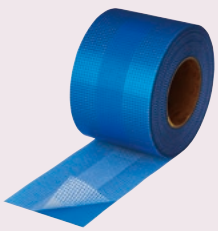
ジョイントテープ(QVテープ)

QVシートジョイント処理用テープ

- ガラス繊維織布／ポリエステルフィルム
- 荷姿：(幅100mm×長さ50m)×4巻/箱
- QVシートジョイントに全面張付けし、立上り用防水材などでシゴキ塗りしてください。

注意事項

水濡れ厳禁



MBテープ100

QVシートおよびMシート端末処理用

- 自着層付きブチルゴムテープ
- 成分がブリードしにくく、ウレタンが密着します。
- 荷姿：(厚み0.5mm、幅100mm×長さ20m)×8巻/箱
- 立上り用防水材などでシゴキ塗りして、十分に雨養生してください。

注意事項

水濡れ厳禁



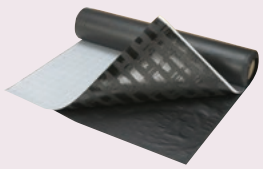
上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

通気緩衝シート

Mシート

機械的固定工法用絶縁シート

- 自着層付き改質アスファルト／ポリエステルフィルム
- 下地からの影響をMシートが絶縁し、耐下地亀裂性を高めます。
- 脱気筒を取り付ける場合には、50～100m^{2}に1箇所の割合で取り付けてください。脱気筒下は直径30mm程度切り抜いてください。
- 荷姿：(幅1.04m×長さ15m)×1巻



注意事項

① 水濡れ厳禁
② 横積み厳禁

性状・物性

シート重量 (g/m^2)	1,260
シート厚み (mm)	粘着箇所：1.4　通気箇所：1.0
引張強さ (N/5cm)	縦：826　横：889
伸び率 (%)	縦：3.7　横：4.1
引裂強さ (N)	縦：56　横：59
通気量 (ml/min)	1,000

テープ類

MLテープ

Mシートジョイント処理用テープ



- 自着層付きポリエステルフィルム
- 荷姿：(幅50mm×長さ50m)×10巻/箱

注意事項

水濡れ厳禁

クロス#5140N

Mシートジョイント補強用クロス



- 自着層付きポリエステル繊維織布
- 荷姿：(幅140mm×長さ50m)×7巻/箱

注意事項

水濡れ厳禁

MBテープ100

QVシートおよびMシート端末処理用



- 自着層付きブチルゴムテープ
- 成分がブリードしにくく、ウレタンが密着します。
- 荷姿：(厚み0.5mm、幅100mm×長さ20m)×8巻/箱
- 立上り用防水材などでシゴキ塗りして、十分に雨養生してください。

注意事項

水濡れ厳禁

Mテープ

断熱ボード・ジョイント処理用



- 自着層付きアルミテープ
- 荷姿：(幅50mm×長さ50m)×6巻/箱

注意事項

① ジョイント部全面に貼ってください。
② 水濡れ厳禁

上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

製品情報

固定金具類

MLアンカー　40／60／70／80

M シート用固定金具

- 耐食アルミ
- 荷姿：500本/箱
- 寸法：

	40	60	70	80
アンカー長	40mm	60mm	70mm	80mm
ドリル径	8～8.5mmφ	8～8.5mmφ	8～8.5mmφ	8～8.5mmφ

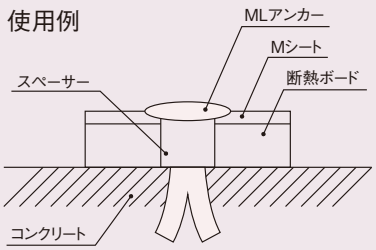
- ボード固定

最大厚み	不可	30mm	40mm	50mm



注意事項　MLアンカーは躯体に30mm以上深く入るものを選択してください。

使用例



スペーサー　20／30

- 荷姿：500本/箱
- 寸法：20　内径10mmφ×長さ20mm
  30　内径10mmφ×長さ30mm
- MLアンカーに挿入して使用することにより、打ち込みすぎを防止します。



注意事項　スペーサーは断熱材厚みに合わせて選択してください。

ディスク盤D

断熱ボード仮固定用ステンレス製ディスク盤

- 荷姿：100枚/箱
- 寸法：直径：60mmφ、
  穴径：6mmφ、厚み：0.5mm



Fプラグ・ビス（6mm）

ディスク盤 D 専用ステンレス皿ビス／ナイロン製プラグ

- 荷姿：100本/箱
- 寸法：

	6H60	6H90
ドリル径	6mmφ	6mmφ
プラグ長	60mm	73mm
ビス長	63mm	90mm

- ボード固定

最大厚み	30mm	55mm



ディスク盤S

高断熱仕様（ボード厚み大）対応、M シート固定用ステンレス製ディスク盤。

- 荷姿：100枚/箱
- 寸法：直径：35mmφ、
  穴径：8mmφ、厚み：1mm



Fプラグ・ビス（8mm）

ディスク盤 S 専用ステンレス皿ビス／ナイロン製プラグ

- 荷姿：100本/箱
- 寸法：

	8H100	8H120	8H150
ドリル径	8～8.5mmφ	8～8.5mmφ	8～8.5mmφ
プラグ長	100mm	120mm	150mm
ビス長	100mm	120mm	155mm

- ボード固定

最大厚み	60mm	80mm	110mm

注意事項
Fプラグ・ビスは躯体に40mm以上深く入るものを選択してください。



断熱ボード

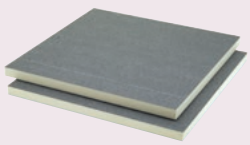
ウレタンボード

硬質ウレタンフォーム

- 気泡の中に熱伝導率の小さい発泡ガスを含んだ独立気泡構造により、優れた断熱効果を発揮します。
- 寸法：縦605mm×横910mm（1枚単位で出荷可能）
- 厚み：

品種	厚み
25t	25mm
30t	30mm
35t	35mm
40t	40mm
50t	50mm

注意事項
① 火気注意
② 水濡れ厳禁
③ 落下厳禁



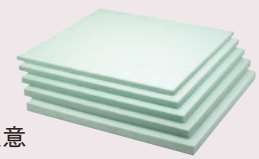
Sボード

押出法ポリスチレンフォーム

- 独立した無数の気泡で構成されるため、断熱効果を発揮します。
- 寸法：縦910mm×横910mm（1枚単位で出荷可能）
- 厚み：

品種	厚み
20t	20mm
M2-R 25t	25mm
M2-R 30t	30mm
M2-R 35t	35mm
M2-R 40t	40mm
M2-R 50t	50mm

注意事項
① 火気注意
② 紫外線注意
③ 有機溶剤注意



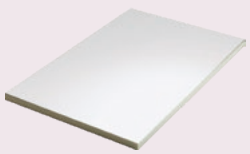
ウレタンボードAL

硬質ウレタンフォーム（両面：アルミ箔クラフト紙積層紙）

- 両面にアルミ箔面材付のため、防湿性に優れます。
- 寸法：1,000mm×1,800mm
- 厚み：

品種	厚み
25t	25mm
30t	30mm
35t	35mm
40t	40mm
50t	50mm

注意事項
① 火気注意
② 水濡れ厳禁
③ 落下厳禁



断熱ボードの性状

	ウレタンボード 硬質ウレタンフォーム （表裏層：ガラス不織布特殊面材）	S ボード 押出法ポリスチレンフォーム （スキンボード）※ 20mm 厚みは除く	ウレタンボード AL 硬質ウレタンフォーム断熱材 面材（両面）：アルミ箔クラフト紙積層紙
種　類	JIS A 9521：2017 硬質ウレタンフォーム 断熱材 3種1号	JIS A 9521：2017 押出法ポリスチレンフォーム 断熱材 3種bA	JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種2号AⅠ
密度（kg/m^3）	35	25	32
熱伝導率（W/m・K）	0.023	0.028	0.024
圧縮強さ（N/cm^2）	15	20	15
吸水量（g/100cm^2）	3.0	0.01 以下	3.0
熱貫流率（W/m^{2}K） 断熱ボード厚み30mmの場合	0.77	0.93	0.80
熱抵抗値（m^{2}K/W） 断熱ボード厚み30mmの場合	1.30	1.07	1.25

両面ブチル粘着テープ#718

断熱ボード仮固定用両面テープ

- 両面自着層テープ
- 荷姿：（幅50mm×長さ15m）×5巻/箱
- 接着面が乾燥していることを確認し、断熱ボードに対し、1～2本かかるように下地へ貼り付けてください。

注意事項
水濡れ厳禁



上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

製品一覧

製品名	荷姿(kg)				色(外観)	種類・成分
環境対応型特化則非該当防水材シリーズ						
サラセーヌEZ	主　剤	8	6	180	ブルーグレー	ウレタン防水材
	硬化剤	16	12	180×2		
サラセーヌEZ立上り用	主　剤	8	—	—	ブルーグレー	ウレタン防水材
	硬化剤	16	—	—		
サラセーヌEZ目止め	主　剤	8	—	—	ブルーグレー	ウレタン防水材
	硬化剤	16	—	—		
サラセーヌAZ	主剤	8	—	—	ブルーグレー	ウレタン防水材
	硬化剤	8	—	—		
サラセーヌAZ立上り用	主剤	8	—	—	ブルーグレー	ウレタン防水材
	硬化剤	8	—	—		
サラセーヌEQ	主　剤	6	—	—	(グレー系)	ウレタン防水材
	硬化剤	12	—	—		
サラセーヌEQノンサグ	主　剤	6	—	—	(グレー系)	ウレタン防水材
	硬化剤	12	—	—		
サラセーヌRWボンド	主　剤	—	—	10 / 5 15ポリペール	(乳白色)	水性エポキシ系
	硬化剤	—	—		(淡黄色透明)	
ウレタン硬化促進剤EX	(1成分)	4	—	—	(黄褐色液体)	
ECO用希釈剤	(1成分)	16L	—	—	(無色透明)	
ウレタン防水材						
サラセーヌK	主　剤	8	6	180	ライトグレー	ウレタン防水材
	硬化剤	16	12	180×2		
サラセーヌ立上り用	主　剤	8	—	—	ライトグレー	ウレタン防水材
	硬化剤	16	—	—		
サラセーヌA	主剤	8	—	180	ブルーグレー	ウレタン防水材
	硬化剤	8	—	180		
サラセーヌA立上り用	主剤	8	—	—	ブルーグレー	ウレタン防水材
	硬化剤	8	—	—		
サラセーヌAV-W	主　剤	8	—	—	(グレー系)	ウレタン防水材
	硬化剤	16	—	—		
サラセーヌGV	主　剤	6	—	—	ブルーグレー	ウレタン防水材
	硬化剤	12	—	—		
ウレタン硬化促進剤	(1成分)	4	—	—	(淡黄色透明)	
TKパウダー	(1成分)	5	—	—	(白色粉体)	
ウレタン希釈剤	(1成分)	16L	—	—	(無色透明)	
1液湿気硬化型ウレタン防水材						
サラセーヌSB	(1液)	16	9 (受注生産)	—	ブルーグレー	ウレタン防水材
サラセーヌSB立上り用	(1液)	5	—	—	ブルーグレー	ウレタン防水材
サラセーヌSB中粘度	(1液)	9	—	—	ブルーグレー	ウレタン防水材
1液防水材専用硬化促進剤	(1成分)	450ml×9		—		
プライマー						
PJプライマー	(1成分)	16	—	—	(淡黄色透明)	ウレタン系
PJ層間プライマー	(1成分)	5	—	—	(淡黄色透明)	ウレタン系
PW-100プライマー	主　剤	—	—	3 / 3 / 6 12ポリペール	(乳白色)	水性エポキシ系 (低臭タイプ)
	硬化剤	—	—		(淡黄色透明)	
	フィラー	—	—		(灰色粉体)	
PW-60プライマー	主　剤	—	—	0.5×2 / 5×2 11ポリペール	(無色透明)	水性ウレタン系 (低臭タイプ)
	硬化剤	—	—		(乳白色透明)	
サンPC-FV	(1成分)	17	1×10	—	(無色透明)	湿気硬化型ウレタン系
PW-700プライマー	主　剤	10	—	—	(白色)	水性エポキシ系 (低臭タイプ)
	硬化剤	5	—	—	(淡黄色透明)	
PW-500プライマー	主剤	12	−	−	(グレー系)	水性エポキシ系 (低臭タイプ)
	硬化剤	3	−	−	(黄褐色濁り)	
サラセーヌP	(1成分)	16	8	—	(淡黄色透明)	ウレタン系
PMプライマー	(1成分)	16	—	—	(淡黄色透明)	ウレタン系
P-60プライマー	(1成分)	5	—	—	(淡褐色透明)	ウレタン系
サンPC-U2	主　剤	9	—	—	(グレー系)	エポキシ変性ウレタン系
	硬化剤	9	—	—	(淡黄色透明)	
PE-670プライマー	主　剤	8	—	—	(赤錆色)	エポキシ系
	硬化剤	2	—	—	(褐色透明)	

がついている製品は、シックハウス症候群対策として、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの4VOCを含まない環境対応材料です。(副資材は対象となりません)
がついている製品は、特化則非該当製品です。(副資材は対象となりません)

用途・特長	消防法関係			
	危険物区分	水溶性	危険等級	液比重
平場用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形平場用認証製品	4類4石	—	Ⅲ	1.03
	4類4石	—	Ⅲ	1.60
立上り用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形立上がり用認証製品	4類4石	—	Ⅲ	1.03
	指定可燃物可燃性固体類	—	—	1.60
AVシート目止め用高粘度防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形共用認証製品	4類4石	—	Ⅲ	1.03
	指定可燃物可燃性固体類	—	—	1.60
平場用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形平場用認証製品	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.03
	4類4石	—	Ⅲ	1.45
立上り用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形立上がり用認証製品	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.03
	非危険物	—	—	1.50
平場用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形平場用認証製品	4類4石	—	Ⅲ	1.04
	指定可燃物可燃性液体類	—	—	1.60
立上り用 シート目止め用高粘度防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形共用認証製品	4類4石	—	Ⅲ	1.04
	指定可燃物可燃性固体類	—	—	—
AVシート張付け用接着材　環境対応型	非危険物	—	—	—
	非危険物	—	—	1.00
特化則非該当ウレタン防水材(EZ・AZ・EQ) 用硬化促進剤	4類4石	—	Ⅲ	0.99
ウレタン防水材の希釈・洗浄剤　低臭タイプ	4類1石	非水溶性	Ⅱ	0.77
平場用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形平場用認証製品	4類4石	—	Ⅲ	1.06
	指定可燃物可燃性液体類	—	—	1.60
立上り用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形立上がり用認証製品	4類4石	—	Ⅲ	1.06
	指定可燃物可燃性固体類	—	—	1.60
平場用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形平場用認証製品	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.05
	4類4石	—	Ⅲ	1.53
立上り用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形立上り用認証製品	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.05
	指定可燃物可燃性固体類	—	—	1.50
AVシート目止め用高粘度防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形共用認証製品	4類4石	—	Ⅲ	1.06
	指定可燃物可燃性固体類	—	—	1.50
勾配屋根用防水材　平場厚塗りタイプ JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形平場用認証製品	4類4石	—	Ⅲ	1.06
	指定可燃物可燃性固体類	—	—	1.60
ウレタン防水材用硬化促進剤	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.11
ウレタン防水材用の増粘剤　水性保護仕上材用の艶消し剤		—		
ウレタン防水材の希釈・洗浄剤	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.87
平場用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形平場用認証製品	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.31
立上り用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形立上がり用認証製品	指定可燃物可燃性固体類	—	—	1.30
中粘度タイプ防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形平場用認証製品	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.31
1液防水材専用硬化促進剤	4類1石	非水溶性	Ⅱ	0.89
一般モルタル・コンクリート用　環境対応型	4類1石	非水溶性	Ⅱ	1.01
塗り重ね用・層間プライマー　環境対応型	4類1石	非水溶性	Ⅱ	1.04
水性標準プライマー　一般モルタル・コンクリート用　環境対応型	非危険物	—	—	1.02
	非危険物	—	—	1.03
	非危険物	—	—	—
水性塗り重ね用・層間プライマー　環境対応型	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.10
	非危険物	—	—	1.01
異種部材用プライマー(塩ビシート・FRP下地用)	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.96
金属下地用水性プライマー　環境対応型	非危険物	—	—	1.06
	非危険物	—	—	1.03
異種部材用プライマー(ゴムシート用) 一般モルタル・コンクリート用　環境対応型	非危険物	−	−	1.10
	非危険物	−	−	1.00
標準プライマー　一般モルタル・コンクリート用	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.98
一般モルタル・コンクリート用	4類1石	非水溶性	Ⅱ	0.98
塗り重ね用・層間プライマー	4類1石	非水溶性	Ⅱ	0.89
金属下地用(2種ケレン)・新設コンクリート	4類1石	非水溶性	Ⅱ	1.28
	4類1石	非水溶性	Ⅱ	0.98
金属下地用　錆止め(3種ケレン)	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.50
	4類1石	非水溶性	Ⅱ	1.00

・認証製品とは、品質管理体制が基準に適合し、かつ JIS 規格に適合した製品をいいます。

製品一覧

製品名	荷姿(kg)				色(外観)	種類・成分
下地調整材						
ASベース	(1成分)	20	—	—	—	特殊アスファルト系
MDベース	原液	18	—	—	—	ポリマーセメント系
	混和材	7×2袋	—	—	—	
FCベース	主剤	1	—	—	—	水性エポキシ樹脂系
	硬化剤	3	—	—	—	
	粉体	15	—	—	—	
保護仕上材						
TJフッ素	主　剤	2	—	—	標準色58ページ参照	フッ素樹脂系
	硬化剤	6	—	—		
TJフッ素サーモ	主　剤	2	—	—	標準色58ページ参照	フッ素樹脂系
	硬化剤	6	—	—		
TSトップ	主　剤	6	—	—	標準色58ページ参照	アクリルシリコーン系
	硬化剤	9	—	—		
TSトップ半艶	主剤	6	—	—	標準色58ページ参照	アクリルシリコーン系
	硬化剤	9	—	—		
TSサーモ	主剤	6	—	—	標準色58ページ参照	アクリルシリコーン系
	硬化剤	9	—	—		
TJトップ	主　剤	6	—	—	標準色58ページ参照	アクリルウレタン系
	硬化剤	9	—	—		
TJトップ半艶	主剤	6	—	—	標準色58ページ参照	アクリルウレタン系
	硬化剤	9	—	—		
TJサーモ	主　剤	6	—	—	標準色59ページ参照	アクリルウレタン系
	硬化剤	9	—	—		
サラセーヌTフッ素	主　剤	2	—	—	標準色60ページ参照	フッ素樹脂系
	硬化剤	6	—	—		
サラセーヌTフッ素サーモ	主　剤	2	—	—	標準色60ページ参照	フッ素樹脂系
	硬化剤	6	—	—		
サラセーヌT	主　剤	6	2	—	標準色60ページ参照	アクリルウレタン系
	硬化剤	9	3	—		
サラセーヌT半艶	主　剤	6	—	—	標準色60ページ参照	アクリルウレタン系
	硬化剤	9	—	—		
サラセーヌTサーモ	主　剤	6	—	—	標準色60ページ参照	アクリルウレタン系
	硬化剤	9	—	—		
サラセーヌTフッ素水性	主　剤	1	—	—	標準色62ページ参照	水性フッ素樹脂系
	硬化剤	10	—	—		
サラセーヌTフッ素水性サーモ	主　剤	1	—	—	標準色(遮熱) 62ページ参照	水性フッ素樹脂系
	硬化剤	10	—	—		
TWトップ	主　剤	1	—	—	標準色62ページ参照	水性アクリルウレタン系
	硬化剤	10	—	—		
TWサーモ	主　剤	1	—	—	標準色(遮熱) 62ページ参照	水性アクリルウレタン系
	硬化剤	10	—	—		
FSトップ	(1成分)	20	—	—	グレー・グリーン	歩行用砂入りエチレン酢酸ビニル樹脂系
チップ#20	(1成分)	0.3×4袋	—	—	(灰色粉体)	無機系バルーン
通気緩衝AV工法						
サラセーヌAVボンド	主　剤	8	—	—	(グレー系)	ウレタン系
	硬化剤	8	—	—		
サラセーヌAVシート	幅1m×長さ20m				—	ポリエステル不織布
サラセーヌAVシートブルー	幅1m×長さ40m				—	ポリエステル不織布
スリットテープ (サラセーヌAVスリット)	幅50mm×長さ100m				—	自着層付きポリエステル不織布／ ポリエチレンテープ
通気緩衝QV工法						
QVシート	幅1.04m×長さ15m				(グリーン系)	改質アスファルト／ポリエステルフィルム
ジョイントテープ (QVテープ)	幅100mm×長さ50m×4巻				—	ガラス繊維織布／ポリエステルフィルム
ウィルサインシステム						
ウィルサイン用ベース	主　剤		2		WSグリーン (日塗工：49-40T近似)	弱溶剤アクリルシリコーン系
	硬化剤		3			
ウィルサイン用クリアコート	主　剤		2		クリア半艶	弱溶剤アクリルシリコーン系
	硬化剤		3			
ウィルサインフィルム	フィルムカット品　箱入り				標準色：イエロー (日塗工：19-75X近似)	広角反射フィルム (フッ素フィルム、粘着材、離形紙)
弾性Uマットシリーズ						
Uドレンタテ75	2個				—	—
Uドレンタテ100	2個				—	—
Uドレンヨコ75	2個				—	—
Uドレンヨコ100	2個				—	—
Uマットボンド	(1成分)	5	—	—	(灰褐色)	エポキシ変成ウレタン樹脂系
架台マットU-10	(厚み1mm×幅500mm×長さ10m)×1巻/箱				(グレー系)	自着層付き弾性マット
架台マットU-20	(厚み2mm×幅490mm×長さ10m)×1巻/箱				(グレー系)	自着層付き弾性マット
水切りテープ						
AG水切りテープ	幅50mm×長さ50m×4巻					ガラス繊維織布／ポリエステルフィルム

がついている製品は、シックハウス症候群対策として、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの4VOCを含まない環境対応材料です。(副資材は対象となりません)
がついている製品は、特化則非該当製品です。(副資材は対象となりません)

用途・特長	消防法関係			
	危険物区分	水溶性	危険等級	液比重
有機溶剤タイプ下地調整材	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.64
下地調整材	非危険物	—	—	1.00
	非危険物	—	—	2.00
エマルジョンタイプ下地調整材　速硬型	4類3石	非水溶性	Ⅲ	1.10
	非危険物	—	—	1.02
	非危険物	—	—	2.60
超耐候性保護仕上材　環境対応型	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.02
	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.10
超耐候性保護仕上材　環境対応型　遮熱用	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.02
	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.10
保護仕上材　環境対応型	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.99
	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.16
保護仕上材　環境対応型　艶消し仕上げ	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.99
	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.16
保護仕上材　環境対応型　遮熱用	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.99
	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.16
保護仕上材　環境対応型	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.99
	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.16
保護仕上材　環境対応型　艶消し仕上げ	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.99
	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.16
保護仕上材　環境対応型　遮熱用	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.99
	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.16
超耐候性保護仕上材	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.93
	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.10
超耐候性保護仕上材　遮熱用	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.93
	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.30
標準保護仕上材	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.93
	4類1石	非水溶性	Ⅱ	1.20
保護仕上材　艶消し仕上げ	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.94
	4類1石	非水溶性	Ⅱ	1.13
保護仕上材　遮熱用	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.92
	4類1石	非水溶性	Ⅱ	1.20
超耐候性保護仕上材　環境対応型	4類3石	非水溶性	Ⅲ	1.10
	非危険物	—	—	1.10
超耐候性保護仕上材　環境対応型　遮熱用	4類3石	非水溶性	Ⅲ	1.10
	非危険物	—	—	1.20
保護仕上材　環境対応型	指定可燃物可燃性液体類	—	—	1.09
	非危険物	—	—	1.14
保護仕上材　環境対応型　遮熱用	指定可燃物可燃性液体類	—	—	1.09
	非危険物	—	—	1.14
旧JIS A 1312「屋根の防火試験方法」合格(旧サラセーヌT難燃)(PJ層間プライマー必須)	非危険物	—	—	1.50
粗面仕上げ用添加剤	—			
AVシート張付け用接着材	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.98
	指定可燃物可燃性液体類	—	—	1.76
有孔通気緩衝シート	—			
有孔通気緩衝シート				
AVシート突合せ部処理用　100mm間隔に切り目あり				
無孔通気緩衝シート　自着層付き	—			
QVシートジョイント処理用テープ				
ウィルサイン用ベース材	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.99
	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.10
ウィルサイン用クリアコート材	4類2石	非水溶性	Ⅲ	0.98
	4類2石	非水溶性	Ⅲ	1.00
ウィルサイン用フィルム材	—			
弾性マット付　75mm径タテ用　改修用成形ドレン	—			
弾性マット付　100mm径タテ用　改修用成形ドレン				
弾性マット付　75mm径ヨコ用　改修用成形ドレン				
弾性マット付　100mm径ヨコ用　改修用成形ドレン				
Uドレン用接着材	2類引火性固体	—	Ⅲ	1.35
架台の下敷き用	—			
架台の下敷き用				
パラペットアゴ用水切りテープ	—			

製品一覧

製品名	荷　姿
機械的固定AM工法／外断熱・機械的固定AIM工法	
Mシート	幅1.04m×長さ15m
MLテープ	幅50mm×長さ50m×10巻
クロス#5140N	幅140mm×長さ50m×7巻
MLアンカー40(ディスク一体)	7.5mmφ(30mmφディスク)L：40mm(500本)
MLアンカー60(ディスク一体)	7.5mmφ(30mmφディスク)L：60mm(500本)
MLアンカー70(ディスク一体)	7.5mmφ(30mmφディスク)L：70mm(500本)
MLアンカー80(ディスク一体)	7.5mmφ(30mmφディスク)L：80mm(500本)
スペーサー 20	内径10mmφ×長さ20mm(500本)
スペーサー 30	内径10mmφ×長さ30mm(500本)
ウレタンボード　25t	縦605mm×横910mm
ウレタンボード　30t	縦605mm×横910mm
ウレタンボード　35t	縦605mm×横910mm
ウレタンボード　40t	縦605mm×横910mm
ウレタンボード　50t	縦605mm×横910mm
Sボード　20t	縦910mm×横910mm
Sボード　M2-R 25t	縦910mm×横910mm
Sボード　M2-R 30t	縦910mm×横910mm
Sボード　M2-R 35t	縦910mm×横910mm
Sボード　M2-R 40t	縦910mm×横910mm
Sボード　M2-R 50t	縦910mm×横910mm
ウレタンボードAL　25t	縦1,000mm×横1,800mm
ウレタンボードAL　30t	縦1,000mm×横1,800mm
ウレタンボードAL　35t	縦1,000mm×横1,800mm
ウレタンボードAL　40t	縦1,000mm×横1,800mm
ウレタンボードAL　50t	縦1,000mm×横1,800mm
両面ブチル粘着テープ#718	幅50mm×長さ15m×5巻
Mテープ	幅50mm×長さ50m×6巻
ディスク盤D	100枚
Fプラグ・ビス　6H60	100本
Fプラグ・ビス　6H90	100本
ディスク盤S	100枚
Fプラグ・ビス　8H100	100本
Fプラグ・ビス　8H120	100本
Fプラグ・ビス　8H150	100本
脱気装置	
SRステンレスベント	2個
SRパラベント	10個
サラセーヌSUS304脱気筒	2個
サラセーヌ立上り用脱気盤	5枚
補強用クロス	
サラセーヌクロス#2000	幅1m×長さ100m
サラセーヌクロス#4000	幅1m×長さ50m
サラセーヌクロス#4100	幅100mm×長さ50m×10巻
サラセーヌクロス#4200	幅200mm×長さ50m×5巻
クロステープ#100	幅100mm×長さ50m×4巻
クロステープ#200	幅200mm×長さ50m×2巻
端末処理用テープ	
MBテープ100	幅100mm×長さ20m×8巻

がついている製品は、シックハウス症候群対策として、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの4VOCを含まない環境対応材料です。(副資材は対象となりません)
がついている製品は、特化則非該当製品です。(副資材は対象となりません)

種類・成分	用途・特長
自着層付き改質アスファルト／ポリエステルフィルム	機械的固定工法用絶縁シート
自着層付きポリエステルフィルム	Mシートジョイント処理用テープ
自着層付きポリエステル繊維織布	Mシートジョイント補強用クロス
アルミ製	Mシート用固定金具
アルミ製	Mシート用固定金具
アルミ製	Mシート用固定金具
アルミ製	Mシート用固定金具
アルミ製	断熱ボード用スペーサー
アルミ製	断熱ボード用スペーサー
硬質ウレタンフォーム	25mm厚み断熱ボード（JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材 3種1号）
硬質ウレタンフォーム	30mm厚み断熱ボード（JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材 3種1号）
硬質ウレタンフォーム	35mm厚み断熱ボード（JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材 3種1号）
硬質ウレタンフォーム	40mm厚み断熱ボード（JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材 3種1号）
硬質ウレタンフォーム	50mm厚み断熱ボード（JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材 3種1号）
押出法ポリスチレンフォーム（カットボード）	20mm厚み断熱ボード（JIS A 9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 1種bC）
押出法ポリスチレンフォーム	25mm厚み断熱ボード（JIS A 9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種bA）
押出法ポリスチレンフォーム	30mm厚み断熱ボード（JIS A 9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種bA）
押出法ポリスチレンフォーム	35mm厚み断熱ボード（JIS A 9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種bA）
押出法ポリスチレンフォーム	40mm厚み断熱ボード（JIS A 9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種bA）
押出法ポリスチレンフォーム	50mm厚み断熱ボード（JIS A 9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種bA）
硬質ウレタンフォーム／面材（両面）：アルミ箔クラフト紙積層紙	25mm厚み断熱ボード（JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種2号AⅠ）
硬質ウレタンフォーム／面材（両面）：アルミ箔クラフト紙積層紙	30mm厚み断熱ボード（JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種2号AⅠ）
硬質ウレタンフォーム／面材（両面）：アルミ箔クラフト紙積層紙	35mm厚み断熱ボード（JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種2号AⅠ）
硬質ウレタンフォーム／面材（両面）：アルミ箔クラフト紙積層紙	40mm厚み断熱ボード（JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種2号AⅠ）
硬質ウレタンフォーム／面材（両面）：アルミ箔クラフト紙積層紙	50mm厚み断熱ボード（JIS A 9521 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種2号AⅠ）
両面自着層テープ	断熱ボード仮固定用両面テープ
自着層付きアルミテープ	50mm幅、断熱ボード・ジョイント処理用
ステンレス製	断熱ボード仮固定用ディスク盤
ステンレス皿ビス／ナイロンプラグ	6mm径、ディスク盤D専用
ステンレス皿ビス／ナイロンプラグ	6mm径、ディスク盤D専用
ステンレス製	高断熱仕様（ボード厚み大）対応、Mシート固定用ステンレス製ディスク盤
ステンレス皿ビス／ナイロンプラグ	8mm径、高断熱仕様ディスク盤S用
ステンレス皿ビス／ナイロンプラグ	8mm径、高断熱仕様ディスク盤S用
ステンレス皿ビス／ナイロンプラグ	8mm径、高断熱仕様ディスク盤S用
ステンレス製	逆流防止弁付き脱気筒
ステンレス製	逆流防止弁付き立上り用脱気盤
ステンレス製	平場用脱気筒
ステンレス製	立上り用脱気盤
ガラス繊維織布	補強用クロス（平場用および立上り部用）
ポリエステル繊維織布	補強用クロス（平場用および立上り部用）
ポリエステル繊維織布	補強用クロス（クラック・出入隅など）
ポリエステル繊維織布	補強用クロス（AVシート端末部処理など）
ガラス繊維織布	補強用クロス（クラック・出入隅など）
ガラス繊維織布	補強用クロス（AVシート端末部処理など）
自着層付きブチルゴムテープ	QVシートおよびMシート端末処理用テープ

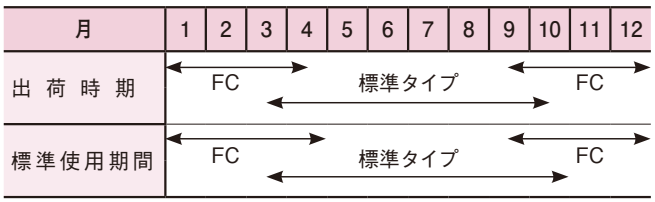
製品取り扱い上のご注意

施工に先立ち、使用する材料について製品安全データシート(SDS) を事前に入手し、貯蔵・保管方法、取扱い方法および事故が発生した場合の応急処置などを作業者に周知徹底させてください。ラベルに記載された労働安全に係わる事項も併せて確認してください。製品安全データシート(SDS) については、当社にお問い合わせください。

■ 季節性

防水材をはじめ2成分形の一部の製品は、ご使用いただく時期が異なる「硬化促進タイプ」と「標準タイプ」を用意しています。「硬化促進タイプ」は硬化剤ラベルにFCと表示しています。下記に、各タイプの使用時期の目安を示します。

標準使用期間の目安



対象製品：サラセーヌK、サラセーヌ立上り用、サラセーヌAVボンド、サラセーヌEZ、サラセーヌEZ立上り用

■ 施工時の安全と注意

- 危険防止のため，荷揚げ設備周辺や作業現場周辺には他の作業員を近づけないようにしてください。
- 作業時には服装を整え，ヘルメット、保護手袋を正しく着用し、吹付け時には保護マスク、保護眼鏡を着用してください。
- 換気の悪い所で施工する場合は、保護マスクを着用するほか、換気に注意し、また監視員を置くなどの安全対策を講じてください。
- 火災予防のため、作業現場には火気を近づけないようにし、消火器を設置するなどの安全対策を講じてください。
- 材料が皮膚に付着した場合は、せっけん水でよく洗ってください。施工後はよく手を洗い、十分にうがいをしてください。
- 特定化学物質障害予防規則(特化則) 該当の製品を扱う場合は、同規則に従い、必要な処置を行ってください。処置については、一般社団法人全国防水工事業協会および日本ウレタン建材工業会発行の「MOCAを含むウレタン防水材の取扱いについて」、または日本ウレタン建材工業会のホームページをご参照ください。

■ 施工時の環境と養生

- 標準施工温度は次のとおりです。

標準施工温度	最低施工温度
10～30℃	5℃

- 温度が低いとき(10℃以下) は硬化遅延を起こすので、材料自体を暖かい部屋に置くなど、使用に先立って温めておいてください。必要に応じ、硬化促進剤を使用してください。詳細は69～70ページをご参照ください。
- 相対湿度80%以上の高湿度下では、密着不良、ふくれを起こすことがあるため、施工を避けてください。
- 初期硬化前後から軽歩行程度は可能ですが、重量物を持ち込むにはさらに2～3日養生を続けてください。

■ 容器の取り扱い上の注意

1. 容器を吊り上げる際は一缶ずつとしてください。
2. 取っ手を利用して治具で吊り上げる場合は、適切な吊り具を使用し、斜めに吊り上げないでください。(偏荷重になると取っ手が座金から外れ、落下事故が発生する危険性があります)
3. 取っ手はグリップ部を正しく持ち、垂直に持ち上げるように取り扱ってください。

■ 現場保管時の安全と注意

- 一部の材料を除き、消防法の規制を受けます。製品一覧表(84～87ページ) の危険物区分に従い、取り扱ってください。指定数量を超える場合は所定の手続きを踏んだ上で貯蔵してください。(「消防法の規制について」参照)
- 火災予防のため、材料貯蔵所には火気は近づけないようにし、消火器などの消火装置を設置してください。
- 使用材料の貯蔵には、他の作業や通行に支障　のない場所を選び、直射日光を避け、雨水がかからない対策を講じるとともに、立入り禁止・火気厳禁の掲示を行い、ロープで四周を囲み、安全を確保してください。
- 水性の製品は冬季に凍結の恐れがありますので、屋内に貯蔵するなど、凍結に注意してください。

■ 材料保管時の安全と注意

1. 乾燥した冷暗所に置いてください。
2. 子供の手の届かないところに保管してください。
3. 容器は密閉したままで保管し、火気に注意してください。
4. 上記1および3を条件として、防水材などの液状製品の安定貯蔵期間は製造後12ヵ月ですが、一部の製品は6ヵ月となります。ラベルの製造年月日を確認してください。ウレタン防水材主剤もしくはプライマーは缶の中でゲル化していないもの、硬化剤は液分離していても再撹拌すれば元の状態に戻るものは、安定貯蔵期間を過ぎても使用できます。
5. 水性の製品は凍結の恐れがありますので、保管に注意してください。
6. 紙包装や段ボール入りの製品は、水に濡れないよう保管に注意してください。
7. 一度開缶したもので、やむを得ず残った材料は、必ず密栓し、できるだけ早く使い切ってください。

■ 産業廃棄物処理について

- 施工後の廃材（材料が付着した廃缶、洗浄用の廃溶剤、使用済み用具など）は、まとめて産業廃棄物処理会社に委託して適切に処理してください。
- 水性の製品で使用した工具類を洗浄した水は、廃液として産業廃棄物処理してください。

■ 消防法の規制について

危険物区分

種　別	区　分	指定数量
第四類　第一石油類	4類1石（非水溶性）	200リットル
	4類1石（水溶性）	400リットル
第四類　第二石油類	4類2石（非水溶性）	1,000リットル
	4類2石（水溶性）	2,000リットル
第四類　第三石油類	4類3石（非水溶性）	2,000リットル
	4類3石（水溶性）	4,000リットル
第四類　第四石油類	4類4石	6,000リットル

種　別	区　分	指定数量
第二類　第一種可燃性固体	2類1固	100kg
第二類　第二種可燃性固体	2類2固	500kg
第二類　引火性固体	2類引固	1,000kg

指定可燃物

指定可燃物　可燃性液体類	指・液	2m^3
指定可燃物　可燃性固体類	指・固	3,000kg

危険物の取り扱い

- 指定数量以上の危険物を作業現場で臨時に貯蔵したり取り扱う場合には、所轄の消防本部または消防署長に、また消防本部などのない市町村では市町村長に申請して、仮貯蔵や取扱いの承認を受ける必要があります。
- 危険物品名を異にする2以上の危険物を同一の場所で貯蔵したり取り扱う場合にも、品名ごとの総数量をそれぞれの指定数量で割り、その合計が1以上になるときは、指定数量以上危険物を貯蔵し、または取り扱っているものとみなされます。
- 危険物品名を異にする2以上の危険物の貯蔵も、類別ごとにまとめて、それぞれ1m以上の間隔を置けば同時に貯蔵することができます。
- 指定数量の1/5以上、1未満の危険物の貯蔵取扱いは、市町村の火災予防条例により規制の対象となるため、所轄の消防署に届け出る必要があります。
- 指定可燃物が指定数量1以上の場合には、市町村条例により、所轄の消防本部または消防署長に届け出る必要があります。
- 詳細については、所轄の消防本部または消防署長にご確認ください。

計算例

サラセーヌSD-KK20T工法で3,000m^{2}の施工現場に使用材料を搬入し貯蔵する場合

商品名		区分	使用量(kg)	液比重	貯蔵量(L)※1
サラセーヌP		4類2石（非水溶性）	600	0.98	612
サラセーヌK	主　剤	4類4石	2,600	1.06	2,452
	硬化剤	（指・液）	5,200	1.60	3,250
サラセーヌT	主　剤	4類2石（非水溶性）	240	0.93	258
	硬化剤	4類1石（非水溶性）	360	1.20	300
ウレタン希釈剤		4類2石（非水溶性）	20缶	−	320

※1：貯蔵量（L）＝使用量（kg）÷液比重

（4類1石）300L（貯蔵量）÷200L（指定数量）＝1.50
（4類2石）612L＋258L＋320L（貯蔵量）÷1,000L（指定数量）＝1.19
（4類4石）2,452L（貯蔵量）÷6,000L（指定数量）＝0.408
指定数量合計　3.098
（指・液）3,250L（貯蔵量）÷2,000L（指定数量）＝1.625

以上の計算から、指定数量の合計が1以上となり、指定数量以上となります。指定数量以上の貯蔵・取扱いは、甲種または乙種危険物取扱者を任命し、危険物の取扱いに関し、保安監督させる必要があります。

サラセーヌの施工

新設・防水下地

1. コンクリート下地

1）下地の乾燥が十分であること。

下地打設後の養生期間

下　地	養生期間の目安
コンクリート	打設後３週間以上
モルタル	打設後２週間以上

※冬期においては倍の養生が必要

2）ひび割れの少ない下地となるようなコンクリート配合にし、適切な配筋を行う。

3）平場面は金ごて押えとし、平滑で浮き、レイタンス、脆弱部および目違い、段差などの欠陥がないこと。

4）立上り面はポリマーセメントモルタルを金ごてで塗布し、平滑に仕上げる。

5）屋根スラブ、ベランダ、開放廊下の床などは指定の勾配になっていること。

一般的な勾配

下　　地	勾　配
歩行用陸屋根スラブ	1/100以上
ベランダ・開放廊下床	1/50以上

6）立上り上端部および軒先部の水切りが良好であること。

7）ルーフドレンや配水落とし口はサラセーヌ防水層に適したもので、その周囲の水はけが良く、低く堅固に取り付けてあり、欠陥のないこと。

8）貫通パイプ、取付け金物および衛生器具などは所定の場所に堅固に取り付けてあり、欠損がないこと。

9）出隅部は通りよく、面取りとなっていること。

10）入隅部は通りよく、直角になっていること。

2. ALC、PCa 下地

1）部材は、梁への固定および部材間の接合を十分に行い、ジョイントに生ずる動きをできるだけ小さくすること。

2）部材にはひび割れ、欠損がないこと。

3）水勾配は構造躯体でとり、部分的な手直しはポリマーセメントモルタルで行うこと。

4）部材間接合部の目違い、段差がある場合は、なだらかになるようにポリマーセメントモルタルで下地ごしらえする。

5）部材の目地充填材は、部材表面のレベルと平坦で平滑になるよう仕上げる。

6）部材表面はポリマーセメントモルタルで平滑に仕上げる。

7）部材の表面に付着したポリマーセメントモルタルなどの突起物はケレン、サンダーなどで取り除き、平滑な面にする。

改修・防水下地

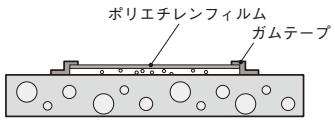
1. 下地の乾燥

改修工事の際は、押え層の有無、既存下地の種類や劣化状態、欠陥部の状態、また、サラセーヌ防水工法などによって下地処理が異なる。

乾燥が不十分な場合、下地と防水層の接着不良、ピンホール、ふくれなどの原因となる。

降雨後の乾燥期間

既設下地	乾燥の目安
コンクリート・PCa	1日以上
モルタル	
ALC	2日以上



●水分チェック方法

1) 水分計で含水率が10%以下を目安とすること。

2) 透明なシート（約1m^{2}程度）を下地面に密着させ、シートの回りをテープで貼り付ける。日照時に数時間放置して、シート内部に水滴の付着が認められないこと。

＊含水率が低い場合でも、気温が急上昇するときは、水蒸気の突上げがあるので注意すること。

2. 下地のひび割れ

モルタル、コンクリートのひび割れは、材料、施工、環境、構造上の原因で発生し、美観の低下、錆の発生、凍結、漏水を引き起こし、構造上の障害となる。

1) 乾燥収縮によるモルタルのひび割れ
- 1mm未満のひび割れは、ゴム刷毛、金ゴテで下地調整材などをすり込むように処理する。
- 1mm以上のひび割れは、VまたはUカットしてウレタンシーリング材を充填する。

2) コンクリートの打ち継ぎで発生するコールドジョイントは、電動ピックではつり取り、エポキシ樹脂注入を併用し、樹脂モルタルなどで平滑にする。

3) デッキプレートコンクリート上のひび割れ
- 乾燥収縮による1mm未満のひび割れは、ゴム刷毛、金ゴテで、下地調整材などをすり込むように処理する。1mm以上のひび割れは、VまたはUカットしてウレタンシーリング材を充填する。
- 構造上のひび割れは、VまたはUに欠き込み、ウレタンシーリング材やウレタンモルタル*で処理する。また必要に応じて誘発目地を設け、ウレタンシーリング材やウレタンモルタルで処理する。

＊ウレタンモルタル配合　平場用ウレタン：硅砂4または5号＝1：5

3. 押えモルタルの浮き

浮きの程度が小さい場合にはエポキシ樹脂注入を行い、必要に応じてピンニングを併用して、平滑に仕上げる。
浮きの程度が大きい場合には撤去し、樹脂モルタルなどで平滑に仕上げる。

4. 欠損部

内部鉄筋の腐食膨張などで欠損した場合には、鉄筋部の錆びた箇所をケレン除去し、PE-670プライマーを塗布して防錆処理を行い、樹脂モルタルなどで平滑に処理する。

5. 脆弱部分

皮スキ、ワイヤーブラシ、高圧水洗浄などで除去し、下地調整材などで平滑に処理する。

6. 不陸・凹凸

目違い、段差は前もってサンダーなどで平坦にし、凹部はパテ材などで処理し、全体を下地調整材などで平滑に仕上げる。
既存ウレタン防水上はウレタンモルタルで調整する。
＊ウレタンモルタル配合
　平場用ウレタン：硅砂4または5号＝1：5

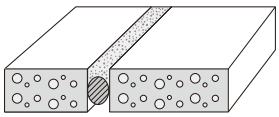
7. 勾配

この項は新設・防水下地（92ページ）に準ずる。
既存ウレタン防水上はウレタンモルタルで調整する。
＊ウレタンモルタル配合
　平場用ウレタン：硅砂4または5号＝1：5

8. 伸縮目地

既存目地材は撤去、清掃後、バックアップ材を押入し、下記のシーリング材で平滑に仕上げる。

工　法	シーリング材
密着工法※1	ウレタンシーリング材
通気緩衝工法※2	ウレタンシーリング材､ウレタンモルタル※3



※1：密着工法の場合は、さらにその上部を補強用クロスを用いて補強塗りする。
　　（納まり図101ページを参照）
※2：通気緩衝工法で伸縮目地が平滑に仕上がらなかった場合は、さらに
　　その上部を補強用クロスを用いて補強塗りする。
※3：ウレタンモルタル配合
　　平場用ウレタン：硅砂4または5号＝1：5

9. 防水層端末

壁、塔屋回りの立上り端末の納まりは、防水性能を確実にするため、ダイヤモンドカッターで躯体まで欠き込みを入れ、ポリマーセメントで調整する。

10. ルーフドレン

既存ドレンのストレーナーキャップや防水層の押さえ皿を取り外し､錆、タール、油脂などの付着物を取り除き、下皿のモルタルとの取合い箇所は､VまたはUカット処理後、ウレタンシーリング材を充填する。また、下皿面にはPE-670プライマーを塗布する。
・改修用Uドレンの下地処理は納まり図（100ページ）参照。

11. パイプ類

・貫通パイプ
　パイプの基礎回りは欠き込みを入れ、パイプの種類に応じてプライマーを塗布してウレタンシーリング材で処理する。
・貫通していないパイプ
　パイプの基礎回りはプライマーを塗布してウレタンシーリング材で処理する。

材　質	プライマーの種類
硬質塩ビ	P-60プライマー、PW-60プライマー
鉄・ステンレス	PE-670プライマー、PW-700プライマー

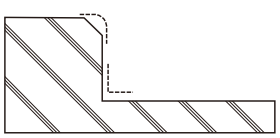
（納まり図102ページを参照）

12. 汚れ

・表面に付着したモルタルのこぼれなどはケレン棒、皮スキ、サンダーなどで除去する。
・表面の油分はデッキブラシ、ポリッシャーを使用して中性洗剤で洗った後、水洗いを十分に行う。
・浸み込んだ油分ははつり取り、ポリマーセメントモルタルなどで平滑に仕上げる。

13. 出入隅

・出隅部は通りよく45°の面取りにする。
・入隅部は通りよく直角にする。



14. 鋼板

錆部分をブラスト、サンダー、ワイヤーブラシなどで十分に取り除き、清掃後PE-670プライマーまたはPW-700プライマーを塗布する。

15. クリンカータイル

タイルの浮き、不具合部は撤去し、ポリマーセメントモルタルなどで補修してから、全面を下地調整材で平滑に処理する。

16. 特殊下地

プライマーラインナップの「下地への適合性」(66〜67ページ) 参照

17. 既存露出防水層の下地処理

●塗膜防水材

1) ウレタン塗膜の塗替え

防水材の種類によっては接着不良をおこす危険があるため、事前にプライマーで接着試験を行うこと。

a) 既存塗膜が下地と密着不良の場合

カッター、サンダーで除去し、下地調整材やウレタンシーリングなどで平滑にする。

b) 既存塗膜が下地に十分密着している場合

表面の汚れを高圧水洗浄(14.7MPa[150kg/cm^2] 以下) や溶剤拭きで除去し、十分に乾燥してから、P-60プライマーまたはPW-60プライマーを塗布する。

2) ポリエステル樹脂系(FRP)

a) AV工法での改修

・立上り端部、浮き部、ドレン回りは撤去し、下地調整材などで平滑にする。
・平場の接着不良箇所は撤去し、下地調整材などで平滑にする。
＊FRP上は研磨し、サンPC-FV、P-60プライマー、またはPW-60プライマーを塗布する。
(事前に接着試験などを行って接着を確認する)

b) AM工法での改修

・立上り端部、ドレン回りは状況に応じて撤去し、下地調整材などで平滑にする。
・平場部は、ふくれ部分のみ撤去し、下地調整材などで平滑にする。

3) ポリマーセメント系

・全面撤去し、下地調整材などで平滑にする。
・小面積の庇など非歩行用の部位に限っては浮き、剥がれなどを撤去し、下地調整材などで平滑にする。さらにPW-100プライマーを2回以上塗布する。

●砂付きアスファルト防水材

a) AV工法、QV工法、SD工法での改修

・全面撤去の上、アスファルトコンパウンドをできるだけ除去し、下地調整材などで平滑にする。

b) AM工法での改修

・立上り部(入隅コーナー面含む)、ドレン回りは撤去の上、アスファルトコンパウンドをできるだけ除去し、下地調整材などで平滑にする。
・平場部は、ふくれ部分のみ撤去し、下地調整材などで補修するか、または切開してプロパンバーナーで張り戻し、平滑にする。

c) AS工法での改修

・別カタログ「サラセーヌAS工法」をご参照ください。

●シート防水材

1) 軟質塩ビ

a) AV工法での改修

・立上り部、ドレン回りは、接着材まで除去し、下地調整材などで平滑にする。
・平場部の接着不良部分は、接着材まで撤去し、下地調整材などで平滑にする。

AM工法での改修

・立上り部、ドレン回りは、接着材まで除去し、下地調整材などで平滑にする。
・平場部はふくれ部分は、下地調整材などで平滑にする。
＊塩ビシート上のプライマーには、サンPC-FV、P-60プライマー、またはPW-60プライマーを塗布する。
(事前に接着試験などを行って接着を確認する)

2) 加硫ゴム

a) AV工法、QV工法、SD工法での改修

・接着材まで全面除去し、下地調整材などで平滑にする。

b) AM工法での改修

・立上り部、ドレン回りは、接着材まで除去し、下地調整材などで平滑にする。
・平場部のふくれ部分は、下地調整材などで平滑にする。
＊シート防水端部は、浮き上がらないようにし、必要に応じて固定金具などで押さえる。

工法別施工上のご注意

→ は一般工法、→ は環境対応工法です。

通気緩衝AV工法

■AVボンド／AVシート（AVシートブルー）張り付け

●AVボンドを塗りながら、追いかけでAVシートを張る。

■RWボンド／AVシート（AVシートブルー）張り付け

●RWボンドを塗りながら、追いかけでAVシートを張る。

■スリットテープの貼り付け

●横3m間隔、縦中間に1箇所貼り付ける。

■AVシートの転圧

■脱気装置の設置

●脱気筒は50～100m²に1箇所。
立上りに設置する場合は、脱気盤は10m間隔で。

■サラセーヌAV-W塗布

●「AVシート」の張込み面は、その日のうちに塗布。
●シゴキ過ぎに注意。（AV-W、1セットで20m²目安）

■サラセーヌK塗布（下塗り・上塗り）

●希釈剤は、「ウレタン希釈剤」。

■指定の保護仕上材塗布

●丁寧に縦横十字に均一に塗布。
●希釈厳禁。

■サラセーヌEZ目止め塗布

●「AVシート」の張込み面は、その日のうちに塗布。
●シゴキ過ぎに注意。（EZ目止め、1セットで20m²目安）

■サラセーヌEZ塗布（下塗り・上塗り）

●希釈剤は、「ECO用希釈剤」。

■指定の保護仕上材塗布

●丁寧に縦横十字に均一に塗布。
●希釈厳禁。

養　生

通気緩衝QV工法

■サラセーヌP塗布

●必ず「QVシート」前日に塗布する。

■PJプライマー塗布

●必ず「QVシート」前日に塗布する。

■QVシート張り付け

●長辺は重ね目安線（黄色の線）に合わせて張り合わせる。
●短辺は2mm程度の間隔を開けて張り合わせる。

■QVシートのジョイント処理

●「ジョイントテープ」（QVテープ）をジョイント部全面に貼り付ける。

■QVシートの端末処理

●「MBテープ100」を貼り付ける。

■QVシートの転圧

●10kg以上の荷重のかかる転圧ローラーで転圧する。

■脱気装置の設置

●脱気筒は50～100m²に1箇所。（粘着層のない溝の部分を30mm程度くり抜く）
立上りに設置する場合は、脱気盤は10m間隔で。

■QVシートのジョイントおよび端部の目止め

●「サラセーヌ立上り用」でシゴキ塗り。

■サラセーヌK塗布（下塗り・上塗り）

●希釈剤は、「ウレタン希釈剤」。

■指定の保護仕上材塗布

●丁寧に縦横十字に均一に塗布。
●希釈厳禁。

■QVシートのジョイントおよび端部の目止め

●「サラセーヌEZ立上り用」でシゴキ塗り。

■サラセーヌEZ塗布（下塗り・上塗り）

●希釈剤は、「ECO用希釈剤」。

■指定の保護仕上材塗布

●丁寧に縦横十字に均一に塗布。
●希釈厳禁。

養　生

密着SD工法

■サラセーヌP塗布

●液だまりができないよう、均一に塗布。

■クロスの張り付け

●クロス張りの目安

1. サラセーヌK	0.3kg/m²
2. 補強用クロス	—
3. サラセーヌK	0.5kg/m²

■サラセーヌK塗布（下塗り・上塗り）

●希釈剤は、「ウレタン希釈剤」。

■指定の保護仕上材塗布

●丁寧に縦横十字に均一に塗布。
●希釈厳禁。

■PJプライマーまたはPW-100プライマー塗布

●液だまりができないよう、均一に塗布。

■クロスの張り付け

●クロス張りの目安

1. サラセーヌEZ	0.3kg/m²
2. 補強用クロス	—
3. サラセーヌEZ	0.5kg/m²

■サラセーヌEZ塗布（下塗り・上塗り）

●希釈剤は、「ECO用希釈剤」。

■指定の保護仕上材塗布

●丁寧に縦横十字に均一に塗布。
●希釈厳禁。

養　生

機械的固定AM工法

■Mシートの敷設

●チョークリールなどで「Mシート」の墨出し、割付けを行う。
●長辺は重ね目安線（緑色の線）に合わせて張り合わせ。
●短辺は突き付けで張り合わせ。

■Mシートのジョイント処理

●「MLテープ」を貼り付ける。

■MLアンカーの取り付け

●取り付け箇所の割付け・墨出しを行う。
●取付け箇所（Mシートの端部、中央部、重ね合わせ部）に電動ハンマーなどで穴をあける。
●穴あけで発生したコンクリートの切り粉は、掃除機などで吸い取る。
●スペーサーをつけて「MLアンカー」を打ち込む。
●凸部がないようにハンマーで折り込む。

■Mシートのジョイント・MLアンカー上の処理

●「クロス#5140N」を貼り付け。

■Mシート端部の処理

●「MBテープ100」を貼り付けて、転圧する。

■脱気装置の設置

●脱気筒は、50～100m²に1箇所。（粘着層のない溝の部分を30mm程度くり抜く）
立上りに設置する場合は、脱気盤は10m間隔で。

■Mシートのジョイントおよび端部・MLアンカー上の目止め

●「サラセーヌ立上り用」でシゴキ塗り。

■Mシート端部の目止め

●「サラセーヌ立上り用」でシゴキ塗り。

■サラセーヌK塗布（下塗り・上塗り）

●希釈剤は、「ウレタン希釈剤」。

■指定の保護仕上材塗布

●丁寧に縦横十字に均一に塗布。
●希釈厳禁。

■Mシートのジョイントおよび端部・MLアンカー上の目止め

●「サラセーヌEZ立上り用」でシゴキ塗り。

■Mシート端部の目止め

●「サラセーヌEZ立上り用」でシゴキ塗り。

■サラセーヌEZ塗布（下塗り・上塗り）

●希釈剤は、「ECO用希釈剤」。

■指定の保護仕上材塗布

●丁寧に縦横十字に均一に塗布。
●希釈厳禁。

養　生

外断熱・機械的固定AIM工法

■断熱材の敷設

●水上側から張り付ける。

■断熱材の固定

●断熱材の四隅に電動ハンマードリルで穴を開ける。(ビット径6～6.5mm／深さ70mm<Fプラグ・ビス6H60の場合>)
●穴開けの際に発生したコンクリートの切り粉は、掃除機などで吸い取る。
●「ディスク盤D」および「Fプラグ・ビス」で固定する。(両面ブチル粘着テープ#718に代えることができる)

■断熱材のジョイント処理

●「Mテープ」を貼り付ける。

■Mシートの敷設

●チョークリールなどで「Mシート」の墨出し、割付けを行う。
●長辺は、重ね目安線(緑色の線)に合わせて張り付ける。
●短辺は、突き付けで貼り付ける。

■Mシートのジョイント処理

●「MLテープ」を貼り付ける。

■MLアンカーの取り付け

●取付け箇所の割付け、墨出し。
●電動ハンマードリルで穴を開ける。(ビット径8～8.5mm／深さ70mm<MLアンカー60の場合>)
●穴開けの際に発生したコンクリートの切り粉は、掃除機などで吸い取る。
●スペーサーをつけて「MLアンカー」を打ち込む。
●凸がないようにハンマーで打ち込む。

■Mシートのジョイントおよびアンカー上の処理

●「クロス#5140N」を貼り付ける。

■Mシートの端末処理

●「MBテープ100」を貼り付けて、転圧する。
●入隅は、ウレタンシーリング材を三角打ち。

■脱気装置の設置

●脱気筒は、50～100m²に1箇所。(粘着層のない溝の部分を30mm径程度くり抜く)
立上りに設置する場合は、脱気盤は10m間隔で。

■Mシートのジョイントおよび端部・MLアンカーの目止め

●「サラセーヌ立上り用」でシゴキ塗り。

■サラセーヌK塗布(下塗り・上塗り)

●希釈剤は、「ウレタン希釈剤」。
●下塗りから上塗りまで3日以上開いた場合は、
「P-60プライマー」を塗布。

■指定の保護仕上材塗布

●丁寧に縦横十字に均一に塗布。
●希釈厳禁。

■Mシートのジョイントおよび端部・MLアンカーの目止め

●「サラセーヌEZ立上り用」でシゴキ塗り。

■サラセーヌEZ塗布(下塗り・上塗り)

●希釈剤は、「ECO用希釈剤」。
●下塗りから上塗りまで3日以上開いた場合は、
「PJ層間プライマー」を塗布。

■指定の保護仕上材塗布

●丁寧に縦横十字に均一に塗布。
●希釈厳禁。
●水性の保護仕上材は開缶したら使い切る。

養　生

スポーツ床兼用HD工法

■サラセーヌP塗布
●液だまりができないよう、均一に塗布。

■サラセーヌK塗布（下塗り・中塗り・上塗り）
●希釈剤は、「ウレタン希釈剤」。

■指定の保護仕上材塗布
●丁寧に縦横十字に均一に塗布。
●希釈厳禁。

■PJプライマー塗布
●液だまりができないよう、均一に塗布。

■サラセーヌEZ塗布（下塗り・中塗り・上塗り）
●希釈剤は、「ECO用希釈剤」。

■指定の保護仕上材塗布
●丁寧に縦横十字に均一に塗布。
●希釈厳禁。

養　生

共通立上り仕様

■指定のプライマー塗布
●液だまりができないよう、均一に塗布。

■クロスの張り付け
●クロス張りの目安

1.サラセーヌ立上り用	0.3kg/m²
2.補強用クロス	—
3.サラセーヌ立上り用	0.5kg/m²

■サラセーヌ立上り用塗布（下塗り・上塗り）
●希釈剤は、「ウレタン希釈剤」。

■指定の保護仕上材塗布
●丁寧に縦横十時に均一に塗布。
●希釈厳禁。

■指定のプライマー塗布
●液だまりができないよう、均一に塗布。

■クロスの張り付け
●クロス張りの目安

1.サラセーヌEZ立上り用	0.3kg/m²
2.補強用クロス	—
3.サラセーヌEZ立上り用	0.5kg/m²

■サラセーヌEZ立上り用塗布（下塗り・上塗り）
●希釈剤は、「ECO用希釈剤」。

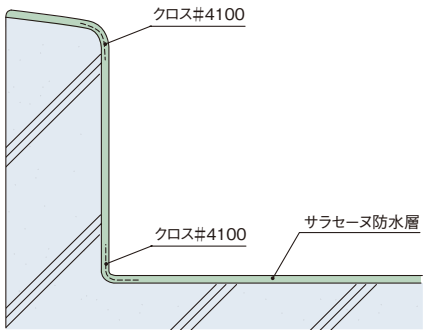
■指定の保護仕上材塗布
●丁寧に縦横十時に均一に塗布。
●希釈厳禁。

養　生

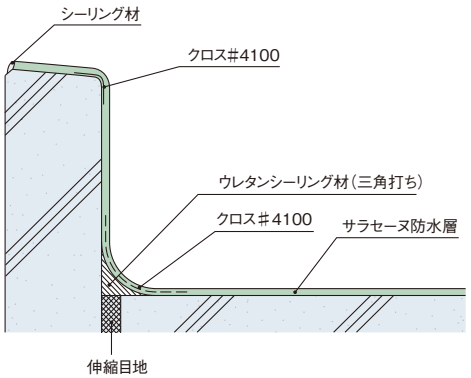
各部の納まり図（代表例）

納まり図はあくまで構成概念図であり、塗膜厚みなどを強調して表現しているため、
必ずしも正確な縮尺でない点をご了承ください。

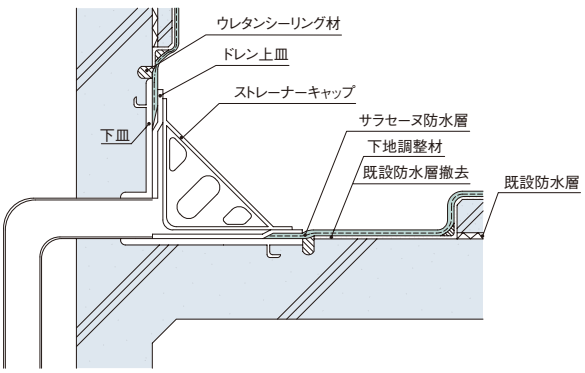
出隅・入隅



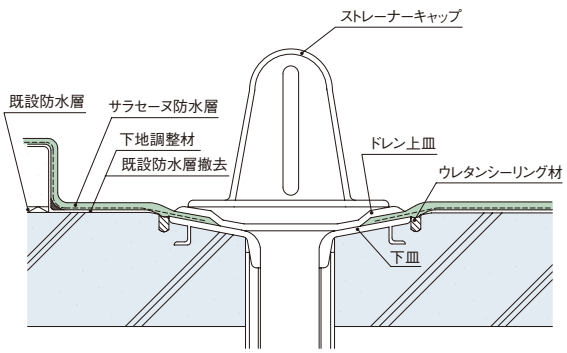
出隅・入隅



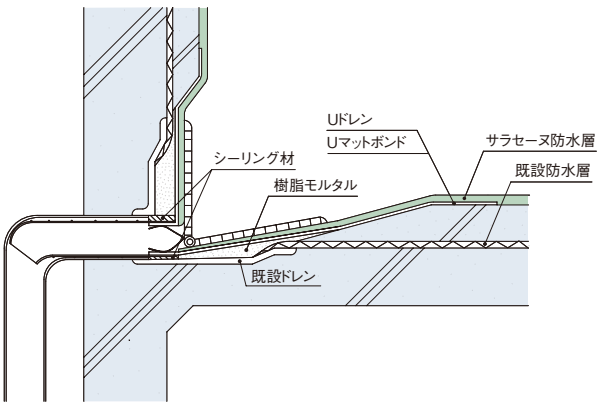
横引きドレン



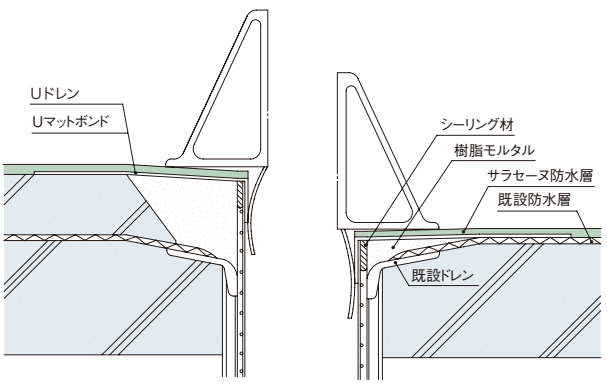
縦引きドレン



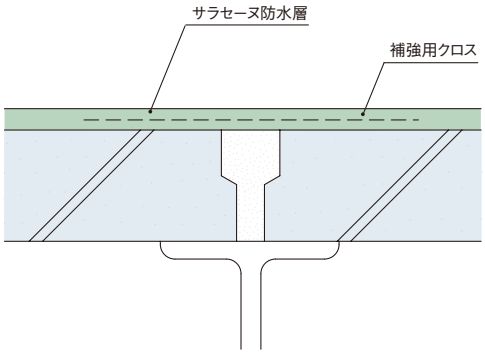
横引き改修用ドレン「U ドレン ヨコ」



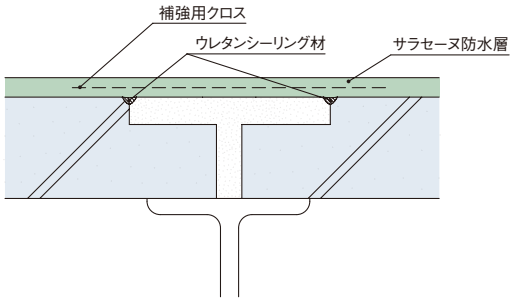
縦引き改修用ドレン「U ドレン タテ」



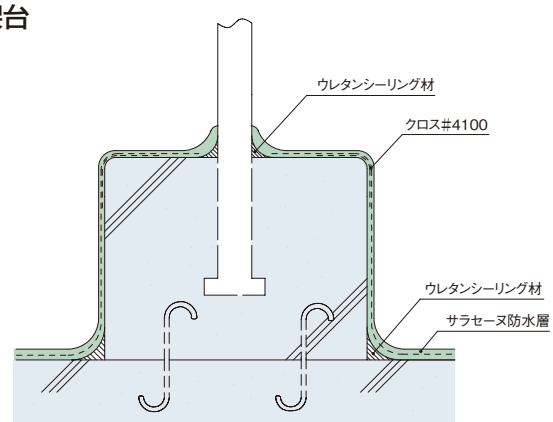
PCa 接合部（ベランダなど）



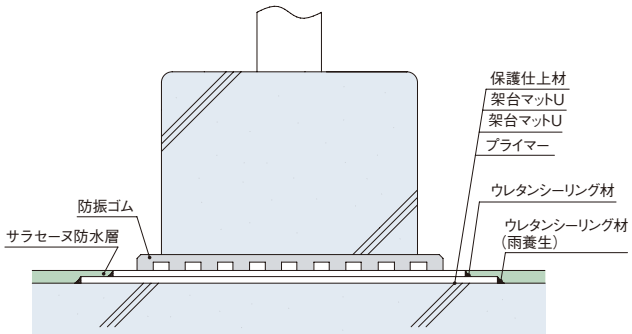
PCa 接合部（ベランダなど）



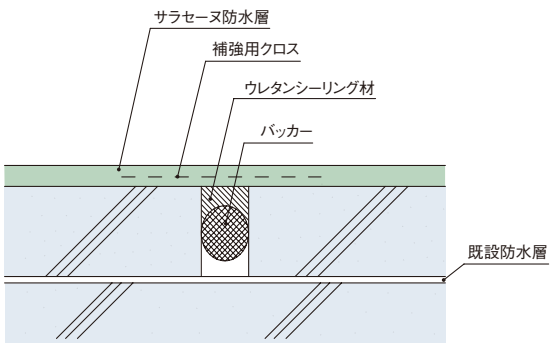
架台



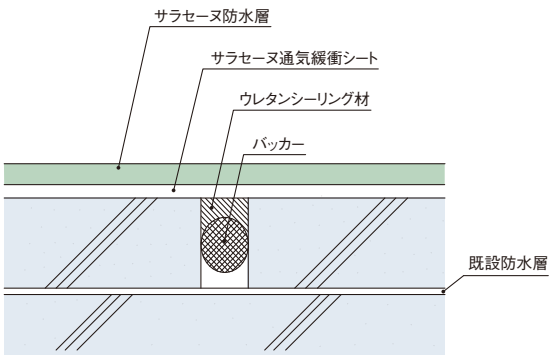
仮設架台「架台マット U」



伸縮目地（密着工法）



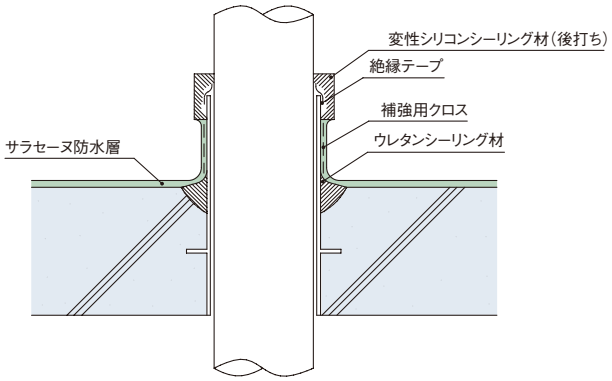
伸縮目地（通気緩衝工法）



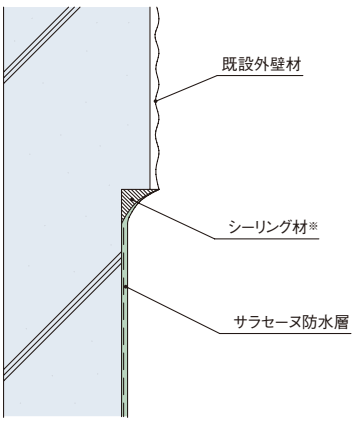
各部の納まり図（代表例）

納まり図はあくまで構成概念図であり、塗膜厚みなどを強調して表現しているため、
必ずしも正確な縮尺でない点をご了承ください。

貫通パイプ

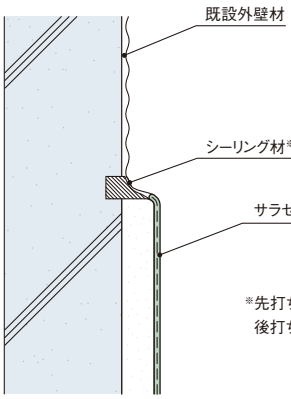


入り巾木



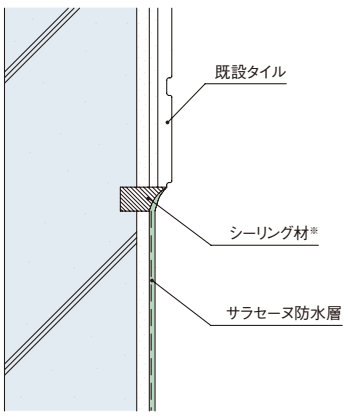
※先打ち:ウレタンシーリング材
後打ち:変性シリコンシーリング材

出巾木



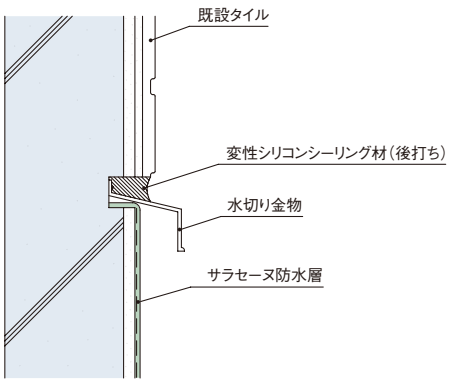
※先打ち:ウレタンシーリング材
後打ち:変性シリコンシーリング材

壁面取り合い - 1

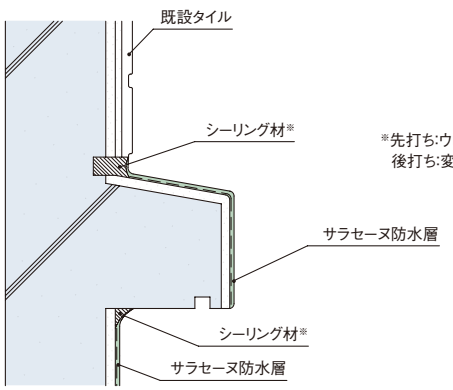


※先打ち:ウレタンシーリング材
後打ち:変性シリコンシーリング材

壁面取り合い - 2

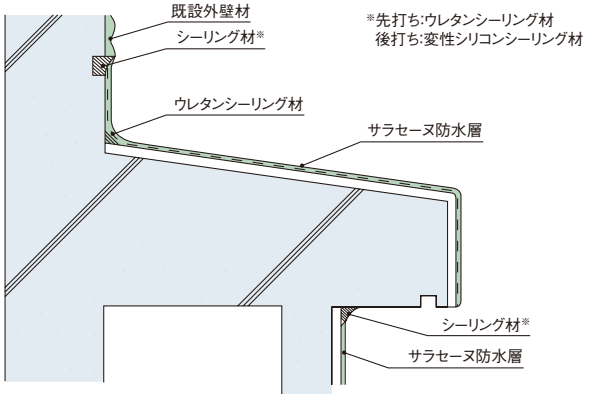


壁面取り合い - 3

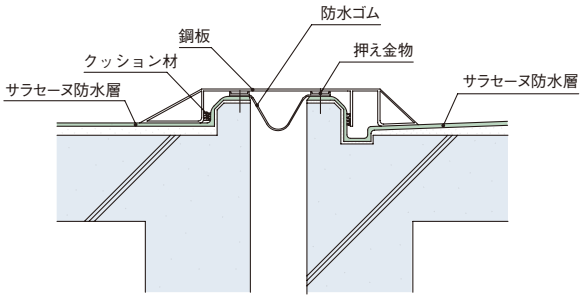


※先打ち:ウレタンシーリング材
後打ち:変性シリコンシーリング材

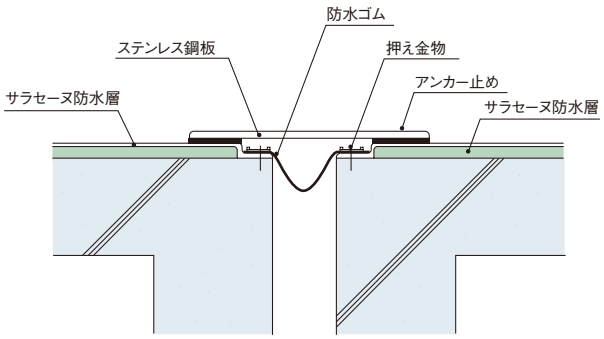
外壁鳩小屋取り合い



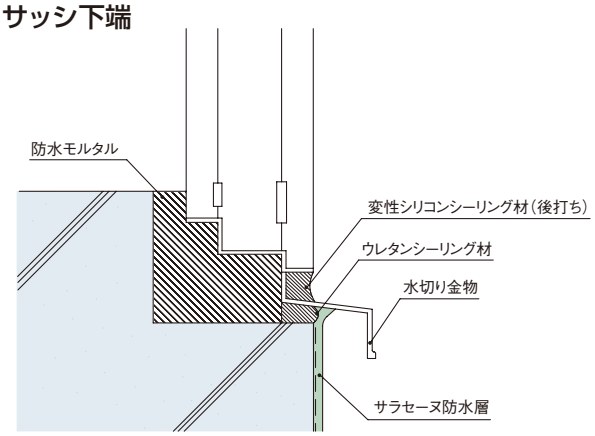
開放廊下などエキスパンション-1



開放廊下などエキスパンション-2



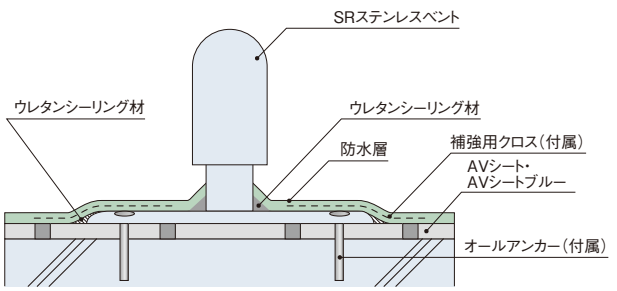
サッシ下端



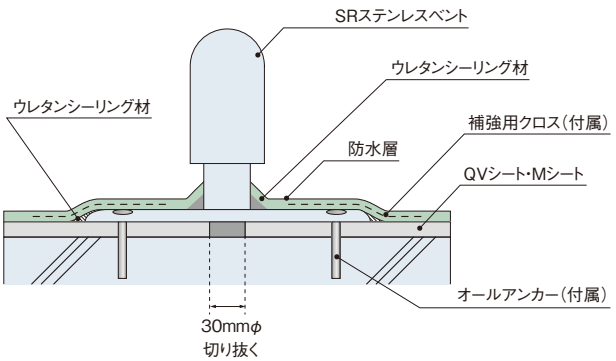
各部の納まり図（代表例）

納まり図はあくまで構成概念図であり、塗膜厚みなどを強調して表現しているため、
必ずしも正確な縮尺でない点をご了承ください。

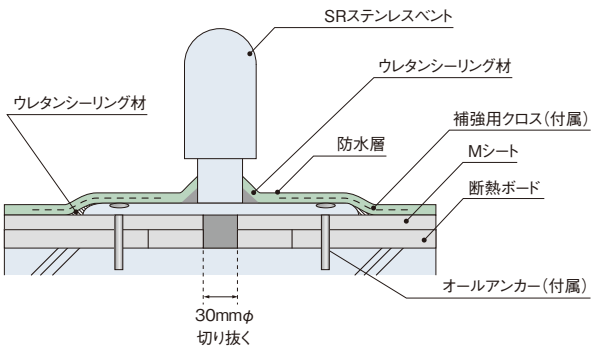
脱気筒 -1（AV シート・AV シートブルーの場合）



脱気筒 -2（QV シート・M シートの場合）



脱気筒 -3（断熱ボート＋ Mシートの場合）



ご採用いただいたお客様へ

■ 施工中のお願い

- 工事現場や資材置き場は危険ですので、工事中は近寄らないでください。材料や工具に手を触れないようにしてください。特に小さなお子様には注意をお願いします。
- 慣れない臭気が発生する場合があります。施工中はなるべく窓を閉めるなど、直接外気に接しないようご協力をお願いします。
- 施工終了後でも数日間の養生が必要です。施工管理者の指示に従って、養生期間中は水をこぼしたり、歩いたり、重いものを置いたりしないようご協力をお願いします。

■ 屋根用ウレタン塗膜防水材(露出工法)の使用上の注意事項

- 防水層の上を歩行する場合は、ハイヒール、スパイクシューズ等、防水層を損傷する恐れのある履き物で歩かないでください。
- 防水層の表面が水などで濡れている場合は、滑りやすい履き物で歩かないでください。
- 防水層の上で火気は使用しないでください。
  バーベキュー、花火、煙草の吸い殻の投げ捨てや溶接作業等はしないでください。
- 防水層の上に溶剤、ガソリン、灯油、不凍液等、有機薬品をこぼさないでください。
- 重量物や鋭利な道・工具、硬いブラシ等を取り扱う場合は、必ず防水層の上を養生してください。
  防水層の上で重い箱等を引張ったり、角材等を落としたりすると防水層が剥離する、穴があくといった損傷を受けます。
- 防水層の上にイス、テーブル等を置く場合は、脚の接地面をゴムキャップ、マット等で保護してください。
- 防水層の上でゴルフの練習や一輪車、ローラースケート等のスポーツや運動をしないでください。
  クラブや車輪、ローラー等で防水層を傷つけることがあります。
- 防水層の上で犬、猫等ペットを飼わないでください。犬、猫等の糞尿を流したり付着させたりしないでください。
- 防水層の上に草花や野菜等の植物を直接植えないでください。
- 防水層の清掃には中性洗剤を使用してください。
- クーリングタワー防藻剤、殺菌剤等は、防水層に損傷を与えない適切なものを使用してください。

■ 屋根用ウレタン塗膜防水材の維持管理のお願い

屋根用ウレタン塗膜防水材の防水性能を長期にわたって維持するために、次の維持管理をお願いします。

- 定期的に防水層の清掃を行ってください。特にドレンまわり、排水溝の泥、枯葉等をよく除去してください。
- 数年毎に次のように表面状態の点検を行ってください。異常が認められた場合は請負業者に連絡し、補修してください。
  ・保護仕上材が薄くなっている個所がないか、剥離している個所がないか。
  ・保護仕上材にひび割れが生じていないか。
  ・防水層の浮き、ふくれがないか。
  ・防水層にカラス、鳥類の穴あけの被害はないか。
- 使用頻度や歩行状況により、保護仕上材が著しく摩耗や損傷し、耐久性、防滑性、安全性に支障をきたす場合があります。異常が認められた場合は、請負会社に連絡し、補修してください(有償)。
- 保護仕上材は定期的に塗り替えてください(有償)。
- 保護仕上材の維持管理の詳細については「保護仕上材のメンテナンス」(61ページ)をご覧ください。

■ 防水保証の考え方

防水工事に関し保証期間中に漏水事故が生じた場合には、次の責任範囲により防水層に限り補修致します。

(責任範囲)

- 施工に起因する場合は、工事を請け負った元請会社ならびに施工会社の責任とします。
- 材料品質に起因する場合は、材料製造会社の責任とします。

(免責事項)

下記の場合は、本保証の対象外となります。

- 天災地変等不可抗力と認められる場合
- 工事対象物の構造上又は設計上の欠陥に起因する場合
- 防水施工箇所以外からの漏水の場合
- 過失又は故意による防水層損傷の場合
- 増改築や屋上設置物の工事等を行って、保証対象部分に手を加えた場合
- 漏水を伴わない経年劣化(フクレ、シワ、変色、保護仕上材の劣化、等)の場合
- 注意事項及び維持管理のお願いを遵守されていることが確認できない場合
- 漏水を知ってから1年以内に通知をいただけなかった場合[民法第637条][住宅品確法94条]
- 債権等の消滅時効[民法第166条]※品確法で定める新築住宅は対象外
  ・漏水を知ってから5年間、権利を行使しない場合
  ・漏水を知らず引渡しから10年間、権利を行使しない場合
- 防水保証の詳細については当社にお問い合わせください。

MEMO

MEMO

SARACENU

AGCポリマー建材株式会社

首都圏支店 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-3-8(沢の鶴人形町ビル) TEL:03-6667-8421
仙台営業所 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡2-2-10(セントールビル) TEL:022-299-6371
名古屋営業所 〒460-0003 名古屋市中区錦2-19-25(日本生命広小路ビル) TEL:052-219-5491
大阪営業所 〒550-0013 大阪市西区新町3-11-3(高六大阪ビル) TEL:06-6606-9910
九州営業所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-12-10(第7グリーンビル) TEL:092-431-5154
北海道出張所 〒060-0061 札幌市中央区南1条西9丁目(株式会社三田商店内) TEL:011-241-5120

サラセーヌ公式サイトへはこちらから

VEGETABLE OIL INK

250110-19TF